

愛知県美術館年報

目次

収集・保存・管理

1	収集	4
	収集方針	
	収集委員会	
	美術品等収集状況 購入／受贈／管理換え等	
	所蔵作品全体の状況	
	美術品等取得基金について	
	新収蔵作品	
	収集作品一覧	
	寄託	
2	保存	12
	保存事業の実施状況	
3	管理	14
	所蔵作品の管理状況	
	作品の管理	
	作品の貸出	
	貸出の概要	
	木村定三コレクションの調査と整理並びに報告	
	藤井達吉関係資料の調査と整理	

展示・教育普及

1	コレクション展	15
	展示の概要	
	コレクション展の開催状況と入場者数	
	コレクション展 展示作品リスト	
	コレクション企画、特集展示	
	APMoA Project, ARCH	
	移動美術館	
	サテライト展示	
	愛知県陶磁美術館における長期展示	
2	企画展	37
	企画展の入場者数	
	企画展の開催状況	
3	映像事業	49
4	教育普及	50
	教育普及事業の実施状況	
	出版・発行	
	講演会・シンポジウム・展示説明会・関連イベント等	
	各種教育プログラム	
	各種団体鑑賞への対応	
	美術館研修生の受け入れ指導	
	美術館友の会との協力	

調査研究	58
------	----

防災	61
----	----

ギャラリー（貸館）

美術館ギャラリー利用状況	62
利用団体一覧	

組織および職員構成	65
-----------	----

関係委員会名簿	66
---------	----

収集・保存・管理

1 収集

収集方針

- ・20世紀の優れた国内外の作品及び20世紀の美術動向を理解する上で役立つ作品
- ・現在を刻印するにふさわしい作品
- ・愛知県としての位置をふまえた特色あるコレクションを形成する作品
- ・上記の作品・作家を理解する上で役立つ資料

美術品等収集状況

種別	購入		受贈 件数	管理換え等 件数
	件数	金額(円・税込)		
日本画	1	5,400,000	1	3
絵画	6	42,377,807	4	0
立体	0	0	1	0
版画	0	0	0	1
水彩・素描	0	0	5	0
写真	0	0	0	0
インスタレーション	0	0	0	0
映像	0	0	0	23
工芸	0	0	0	5
資料	0	0	0	13
計	7	47,777,807	11	45

収集委員会（委員名簿は66頁）

開催日：2014年12月16日

新収蔵品と収集の状況

上記の収集方針にそって7件の作品を購入し、11件の作品の寄贈を受け、また45件の管理換え等を行い、合計63件の作品を新たに収集した。

所蔵作品全体の状況（2015（平成27）年3月末現在／単位：件）

区分		工芸	書	水彩・素描	写真	インスタレーション	日本画	資料	絵画	版画	考古遺物	立体・彫刻	映像	計
		FA/JA	FC/JC	FD/JD	FF/JF	FI/JI	FJ/JJ	FM/JM	FO/JO	FP/JP	FR/JR	FS/JS	FV/JV	
旧館（愛知県文化会館）から引き継いだもの	購入	0	0	238	0	0	101	43	321	64	0	26	0	793
	受贈	0	0	72	0	0	30	23	57	34	0	3	0	219
	移管	0	0	0	0	0	18	8	14	0	0	0	0	40
	小計	0	0	310	0	0	149	74	392	98	0	29	0	1052
愛知県美術館がH26年度までに収集したもの	基金購入	1	0	141	4	3	40	1	142	320	0	80	3	735
	寄付金購入	0	0	0	0	0	1	0	5	2	0	0	0	8
	一般財源購入	0	0	14	0	0	0	0	15	6	0	12	0	47
	受贈	4	0	258	204	0	59	20	172	262	0	18	1	998
	移管	0	0	0	0	0	9	3	5	2	0	2	0	21
	小計	5	0	413	208	3	109	24	339	592	0	112	4	1809
文化情報センターから	移管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	23
以上合計	購入	1	0	393	4	3	142	44	483	392	0	118	3	1583
	受贈	4	0	330	204	0	89	43	229	296	0	21	1	1217
	移管	0	0	0	0	0	27	11	19	2	0	2	23	84
	計	5	0	723	208	3	258	98	731	690	0	141	27	2884
藤井達吉コレクション	旧館で受贈	952	70	3	0	0	405	9	10	10	0	0	0	1459
	H26年度移管	5	0	0	0	0	3	10	0	0	0	0	0	18
	合計	957	70	3	0	0	408	19	10	10	0	0	0	1477
木村定三コレクション	木村定三氏・美保子氏から受贈	1231	217	186	0	0	582	207	252	148	239	228	0	3290
以上全合計	購入	1	0	393	4	3	142	44	483	392	0	118	3	1583
	受贈	2187	287	519	204	0	1076	259	491	454	239	249	1	5966
	移管	5	0	0	0	0	30	21	19	2	0	2	23	102
総計		2193	287	912	208	3	1248	324	993	848	239	369	27	7651

※点数と件数で異なっていた作品数について、2014（平成26）年度末に件数で統一した。

美術品等取得基金について

愛知県美術館と愛知県陶磁資料館（現愛知県陶磁美術館）が、芸術的価値の高い美術品等を機動的、継続的に収集するための財源として1988（昭和63）年4月に設置された。基金には、県からの積立金のほかに、美術品等の収集を支援する民間からの寄附金が含まれている。

運用状況（2015（平成27）年3月31日末現在）

基金総額		117億1,669万1,611円
運用内訳	美術品	103億2,666万1,327円
	現金	13億9,003万2,84円

*内、美術館所蔵作品は761件

新収蔵作品

美術品等取得基金による購入は、2007～2009（平成19～21）年度に3ヶ年で陶磁資料館（現：陶磁美術館）と合わせ1億2千万円（内、美術館9千万円）という執行枠が設けられ、2010～2012（平成22～24）年度、2013～2015（平成25～27）年度の各3ヶ年についても同様となっている。この金額で収集方針に則した中心的な作品の購入は容易でないが、2008（平成20）年度に安井曾太郎、2011（平成23）年度に梅原龍三郎の絵画を購入し、さらに2011（平成23）年度には企業からの寄附金2億円によってフェルナン・レジェの油彩を、2012（平成24）年度には個人からの3億円の寄附金によりポール・ゴーギャンの油彩と版画を購入することができた。

2014（平成26）年度の基金による購入では、特にこの3ヶ年の核となる作品として、現在世界的に最も評価されている日本人作家の一人で愛知県にもゆかりのある奈良美智の新作を選んだ。このほか2010年代の日本画と絵画各1件と、愛知関係の物故作家4件の計7件を購入した。受贈作品11件は6人の作家遺族からのもので、うち2人は購入に合わせての寄贈である。また管理換え等として、2014（平成26）年度から映像部門が美術館に移管された愛知県文化情報センターがこれまでに制作してきた「愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品」23件や、愛知県文化会館から引き継いだ未登録資料で「藤井達吉コレクション」に含めるべきと判断した18件などがある。

収集作品一覧

購入作品（7件）

1 日本画

濱田樹里
時空霊 TOKIDAMA

2013年
紙本着色、パネル
200.0×1680.0cm

HAMADA Juri
TOKIDAMA : spirit of time
2013

color on paper, panel
200.0×1680.0cm
JJ201400001000

2 絵画

市野長之介
カフェー

1931年
油彩、画布
72.8×91.3cm

ICHINO Chonosuke
Café
1931

oil on canvas
72.8×91.3cm
JO201400001000

3 絵画

伊藤高義
粘土採掘場

1954年
油彩、画布
162.1×130.3cm

ITO Takayoshi
Clay Stope
1954

oil on canvas
162.1×130.3cm
JO201400002000



4 絵画

小川佳夫
乳と蜜の流れる

2011年
油彩、画布
133.0×160.0cm

OGAWA Yoshio
Flowing with Milk and Honey
2011

oil on canvas
133.0×160.0cm
JO201400003000

5 絵画

奈良美智
Girl From the North Country

2014年
アクリル、画布
100.3×90.8cm

NARA Yoshitomo
Girl From the North Country
2014

acrylic on canvas
100.3×90.8cm
JO201400004000

6 絵画

西村千太郎
郊外風景

1929年
油彩、画布
50.4×61.0cm

NISHIMURA Sentaro
Suburb Landscape
1929

oil on canvas
50.4×61.0cm
JO201400005000

7 絵画

吉川三伸
家族会議A

1951年
油彩、画布
90.6×114.9cm

YOSHIKAWA Sanshin
Family Conference A
1951

oil on canvas
90.6×114.9cm
JO201400006000

寄贈作品（11件）

8 日本画

下村良之介

咏

1960年
紙粘土・紙・苧（藁）・顔料、板
90.3×160.2cm

SHIMOMURA Ryonosuke
Ei
1960

paper clay, paper, straw and pigment on
panel
90.3×160.2cm
JJ201400002000
藤本志津&氏寄贈



9 絵画

市野長之介
花屋

1930年
油彩、画布
72.8×91.3cm

ICHINO Chonosuke
Florist
1930

oil on canvas
72.8×91.3cm
JO201400007000
山川恵美子氏寄贈



10 絵画

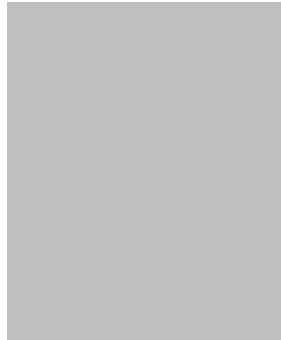
伊藤利彦

CUSTOM 13

1968年
ガラス用パテ・エナメル、画布
162×130.3cm

ITO Toshihiko
CUSTOM 13
1968

putty and enamel on canvas
162×130.3cm
JO201400008000
水谷玲氏寄贈



11 水彩・素描

瀬藤敏郎

農袋シリーズ一足

1966年
コンテ、紙
37.6×53.7cm

KOKETSU Toshiro
Blain Series-the feet
1966

crayon on paper
37.6×53.7cm
JD201400001000
ノロ燐（瀬藤倫子）氏寄贈



12 水彩・素描

瀬藤敏郎

墨シリーズ（人物顔）

1971年
水彩絵具、紙
53.7×77.7cm

KOKETSU Toshiro
Black Ink Series-the face
1971

color on paper
53.7×77.7cm
JD201400002000
ノロ燐（瀬藤倫子）氏寄贈



13 水彩・素描

瀬藤敏郎

墨シリーズ（宙吊り）

1971年
水彩絵具、紙
53.7×77.8cm

KOKETSU Toshiro
Black Ink Series-hanged
1971

color on paper
53.7×77.8cm
JD201400003000
ノロ燐（瀬藤倫子）氏寄贈



14 水彩・素描

瀬藤敏郎

墨シリーズ（人体台）

1971年
水彩絵具、紙
53.7×77.8cm

KOKETSU Toshiro
Black Ink Series-bodies on boards
1971

color on paper
53.7×77.8cm
JD201400004000
ノロ燐（瀬藤倫子）氏寄贈



15 水彩・素描

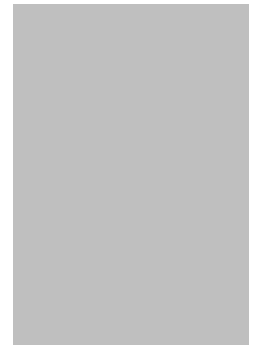
瀬藤敏郎

墨シリーズ（車椅子）

1971年
水彩絵具、紙
76.5×52.7cm

KOKETSU Toshiro
Black Ink Series-the wheelchair
1971

color on paper
76.5×52.7cm
JD201400005000
ノロ燐（瀬藤倫子）氏寄贈



16 絵画

西村千太郎

工場

1930年
油彩、画布
53.0×65.3cm

NISHIMURA Sentaro
Factory
1930

oil on canvas
53.0×65.3cm
JO201400009000
西村眞孝氏寄贈



17 絵画

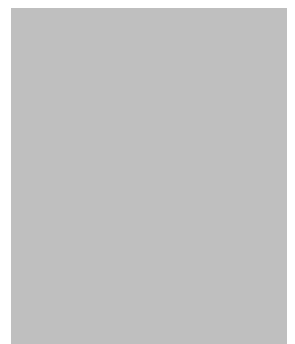
吉川三伸

一九四〇年・追想 No.6

1977年
油彩、画布
162.2×130.4cm

YOSHIKAWA Sanshin
Recollection of the Year 1940 No. 6
1977

oil on canvas
162.2×130.4cm
JO201400010000
吉川了悟氏寄贈



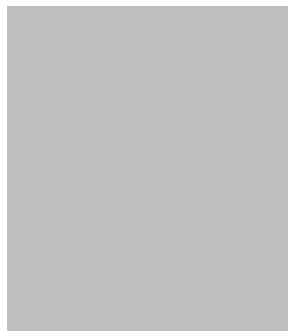
18 彫刻・立体

伊藤利彦
箱の中の空'93

1993年
紐・ラッカー、木
180.5×157×4.5cm

ITO Toshihiko
Sky in the Box'93
1993

cord, lacquer on wood
180.5×157×4.5cm
JS201400001000
水谷玲氏寄贈



22 版画

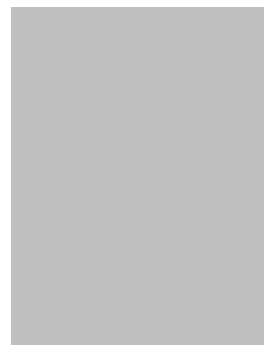
ジョアン・ミロ
スペインを救え

1937年
ステンシル・リトグラフ、紙
31×24.5cm

Joan MIRÓ
Help Spain
1937

pochoir with lithographic inscription on paper

31×24.5cm
FP201400001000
愛知芸術文化センター アートライブラリーからの移管



管理換え等作品（45件）

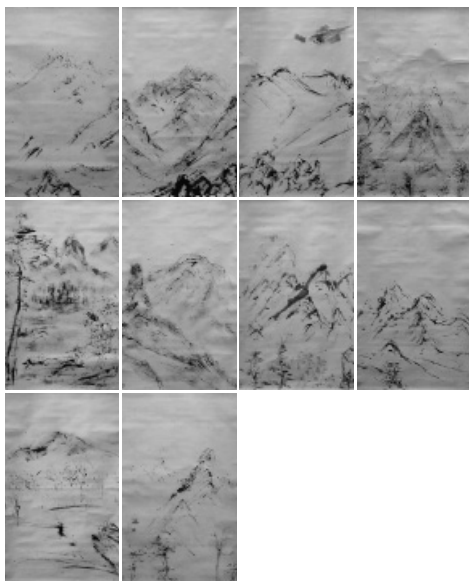
19 日本画

藤井達吉
山十題

1964年
紙本墨画
各86.5×58.8cm

FUJII Tatsukichi
Ten Mountains
1964

ink on paper
86.5×58.8cm each
JJ201400003000
愛知県文化会館
美術館の保管品



23 資料

戸張孤雁
煌めく嫉妬

1924年 / 1995年铸造
ブロンズ
34.7×20×18.9cm

TOHARI kogan
Glittering Jealousy
1924 / cast 1995

blonze
34.7×20×18.9cm
JM201400001000
愛知県美術館所蔵 石膏原型により铸造



24 資料

戸張孤雁
立てる女

不詳 / 1995年铸造
ブロンズ
23.3×10.1×12.2cm

TOHARI kogan
Standing Woman
unknown / cast 1995

blonze
23.3×10.1×12.2cm
JM201400002000
愛知県美術館所蔵 石膏原型により铸造



20 日本画

藤井達吉
日の出（夢にみし山）

不詳
紙本着色
74.3×121.9cm

FUJII Tatsukichi
Sunrise (The Mountains in a Dream)
unknown

ink and colors on paper
74.3×121.9cm
JJ201400004000
愛知県文化会館美術館の保管品



25 映像

岩井俊雄
シンボル映像

1992年
ビデオ (LD)
シンボル映像35秒、時報映像20秒、
インフォメーション演出映像3分

IWAI Toshio
Symbol Image of Aichi Arts Center
1992

Video (LD)
Symbol Image Video 35"
Time Inform Video 20"
Background Video 3"
JV201400001000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



26 映像

勅使川原三郎
T-CITY

1993年
35mmフィルム、βカム・ビデオ
28分

TESHIGAWARA Saburo
T-CITY
1993

35mm film, β-cam video
28'
JV201400002000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



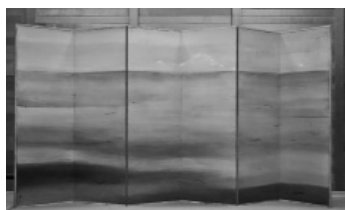
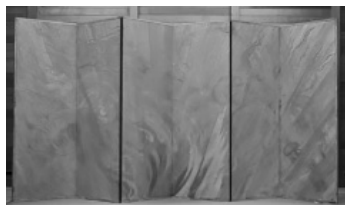
21 日本画

藤井達吉
動中静 静中動

不詳
紙本着色
（動中静）169.8×363cm
（静中動）169.8×366cm

FUJII Tatsukichi
Stillness within Movement,
Movement within Stillness
unknown

ink and colors on paper
(Stillness within Movement) 169.8×363cm
(Movement within Stillness) 169.8×366cm
JJ201400005000
愛知県文化会館美術館の保管品



27 映像

天野天街
トワイライツ

1994年
16mmフィルム、βカム・ビデオ
33分

AMANO Tengai
Twilights
1994

16mm film, β-cam video
33'
JV201400003000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



32 映像

園子温
うつしみ

1999年
16mmフィルム、βカム・ビデオ
116分

SONO Shion
UTU-SHIMI
1999

16mm film, β-cam video
116'
JV201400006000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



28 映像

ダニエル・シュミット
KAZUO OHNO

1995年
35mmフィルム、βカム・ビデオ
15分

Daniel SCHMID
KAZUO OHNO
1995

35mm film, β-cam video
15'
FV201400001000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



33 映像

和田淳子
ボディドロップアスファルト

2000年
デジタル・ビデオ
96分

WADA Junko
Body Drop Asphalt
2000

digital video
96'
JV201400007000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



29 映像

キドラット・タヒミック
フィリピンふんどし 日本の夏

1996年
16mmフィルム、βカム・ビデオ
39分

Kidlat TAHIMIK
Japanese Summers of a Filipino Fundoshi
1996

16mm film, β-cam video
39'
FV201400002000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



34 映像

石田尚志
フーガの技法

2001年
16mmフィルム、βカム・ビデオ
20分

ISHIDA Takashi
The Art of Fugue
2001

16mm film, β-cam video
20'
JV201400008000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



30 映像

大木裕之
3+1

1997年
16mmフィルム、βカム・ビデオ
82分

OKI Hiroyuki
3+1
1997

16mm film, β-cam video
82'
JV201400004000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



35 映像

白川幸司
眠る右手を

2002年
デジタル・ビデオ
240分

SHIRAKAWA Koji
While the Right Hand is Sleeping
2002

digital video
240'
JV201400009000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



31 映像

前田真二郎
王様の子供

1998年
16mmフィルム、βカム・ビデオ
40分

MAEDA Sinjiro
The King's Children
1998

16mm film, β-cam video
40'
JV201400005000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



36 映像

帯谷有理
サイケデリック・オルガン・パンダ

2003年
デジタル・ビデオ
110分

OBITANI Yuri
Psychedelic Organ Panda
2003

digital video
110'
JV201400010000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



37 映像
槌橋雅博
勳・響・光 (Ugoki・Hibiki・Hikari)
2004年
デジタル・ビデオ
180分
TSUCHIHASHI Masahiro
Sound, Movement and Light
2004
digital video
180'
JV201400011000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



42 映像
寺嶋真里
アリスが落ちた穴の中
Dark Märchen Show!
2009年
デジタル・ビデオ
58分
TERASHIMA Mari
Alice in the Underworld, Dark Märchen
Show!
2009
digital video
58'
JV201400016000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



38 映像
七里圭
ホッテントットエプロンスケッチ
2005年
デジタル・ビデオ
70分
SHICHIRI Kei
Hottentot Apron - A sketch
2005
digital video
70'
JV201400012000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



43 映像
柴田剛
ギ・あいうえおスーずばぬけたかえうたー
2010年
デジタル・ビデオ
56分
SHIBATA Go
Gui aiueo・S
2010
digital video
56'
JV201400017000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



39 映像
辻直之
影の子供
2006年
16mmフィルム、βカム・ビデオ
18分
TSUJI Naoyuki
Children of Shadows
2006
16mm film, β-cam video
18'
JV201400013000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



44 映像
牧野貴
Generator
2011年
デジタル・ビデオ (HDCAM)
20分
MAKINO Takashi
Generator
2011
digital video (HDCAM)
20'
JV201400018000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



40 映像
三宅流
究竟の地—岩崎鬼剣舞の一年
2007年
デジタル・ビデオ
161分
MIYAKE Nagaru
Ultimate Stage - One year of Iwasaki-
onikenbai
2007
digital video
161'
JV201400014000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



45 映像
森弘治
Case Study
2012年
デジタル・ビデオ
9分
MORI Hiroharu
Case Study
2012
digital video
9'
JV201400019000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



41 映像
大山慶
HAND SOAP
2008年
35mmフィルム、デジタル・ビデオ
15分
OYAMA Kei
HAND SOAP
2008
35mm film, digital video
15'
JV201400015000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



46 映像
松橋淳
放射能
2013年
デジタル・ビデオ
35分
HUNAHASHI Atsushi
Nuclear Nation
2013
digital video
35'
JV201400020000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



47 映像
三宅唱
THE COCPIT

2014年
デジタル・ビデオ
64分

MIYAKE Sho
THE COCPIT
2014

digital video
64'
JV201400021000
愛知芸術文化センター文化情報センターの
委託制作



52 工芸
不詳
汲出

不詳
陶器
5点 各口径約10.7cm×高4.7cm

unknown
Tea Cup
unknown
pottery
5pieces md 10.7cm×h 4.7cm each
JA201400005000
愛知県文化会館美術館の保管品

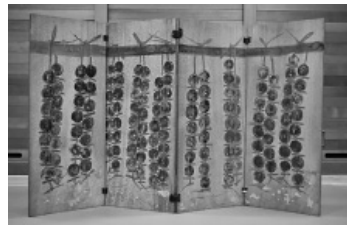


48 工芸
藤井達吉
干柿

不詳
着色、木
98.2×168cm

FUJII Tatsukichi
Dried Persimmons
unknown

colors on wood
98.2×168cm
JA201400001000
愛知県文化会館美術館の保管品



53 資料
グスタフ・クリムト
『第18回ウィーン分離派展』カタログ

1903年
印刷、紙
24.3×23.4cm

Gustav KLIMT
Catalogue for the 18th Secession Exhibition of
the Vienna Secession
1903

printing on paper
24.3×23.4cm
FM201400001000
愛知芸術文化センター アートライブラリーからの移管



49 工芸
藤井篠
むらさき（松竹梅）

不詳
刺繍、布
139.5×141cm

FUJII Suzu
Pine, Bamboo and Plum Blossoms designs
on Purple Cloth
unknown

embroidery on cloth
139.5×141cm
JA201400002000
愛知県文化会館美術館の保管品

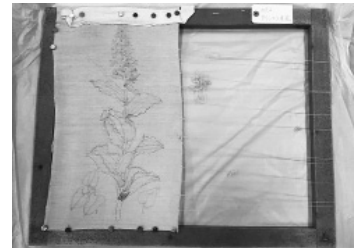


54 資料
藤井篠
刺繍（未完）

1965年頃
刺繍、布
62.8×51×2.3cm

FUJII Suzu
Embroidery (Unfinished)
c. 1965

embroidery on cloth
62.8×51×2.3cm
JM201400003000
愛知県文化会館美術館の保管品



50 工芸
藤井篠
鳥毛壁掛草花

不詳
羽毛・刺繍、布
153×48.5cm

FUJII Suzu
Tapestry with designs of Flowering Plants
unknown

feather appliqué and embroidery on cloth
153×48.5cm
JA201400003000
愛知県文化会館美術館の保管品



55 資料
不詳
矢作堤（写し）

不詳
紙本墨書
34×32.3×16cm

unknown
Fuji Tatsukichi's Autobiography
(Reproduction)
unknown

ink on paper
34×32.3×16cm
JM201400004000
愛知県文化会館美術館の保管品



51 工芸
藤井悦子、藤井達吉
練上手茶碗

不詳
陶器
口径13.3cm×高6.2cm

FUJII Etsuko・FUJII Tatsukichi
Marbling Tea Bowl
unknown

pottery
md 13.3cm×h 6.2cm
JA201400004000
愛知県文化会館美術館の保管品



56 資料
不詳
鉞

不詳
①竹・木 ②竹
2点 ①130.9×1.2cm ②116×1.1cm

unknown
Harpoons
unknown
bamboo and wood
bamboo
2pieces ①130.9×1.2cm ②116×1.1cm
JM201400005000
愛知県文化会館美術館の保管品



57 資料

御下賜品 銀盃

1898年
銀
3点 径15×高5.9cm 径13×高5.3cm
径11×高4.5cm

An Imperial Gift of Silver Cups

1898

silver

3pieces md 15×h 5.9cm md 13×h 5.3cm
md 11×h 4.5cm

JM20140006000

愛知県文化会館美術館の保管品



62 資料

藤井篠遺品 (裁縫道具類)

—

—

—

Belongings of Fujii Suzu (Sewing Set)

—

—

JM201400011000

愛知県文化会館美術館の保管品



58 資料

御下賜品 銀盃

1924年
銀
径12.8cm×高4.6cm

An Imperial Gift of a Silver Cup

1924

silver

md 12.8cm×h 4.6cm

JM20140007000

愛知県文化会館美術館の保管品



63 資料

藤井篠肖像写真

不詳
写真
56×35cm

Portrait of Fujii Suzu

unknown

print on paper

56×35cm

JM201400012000

愛知県文化会館美術館の保管品



59 資料

藤井達吉遺品 (文房具)

—

—

—

Belongings of Fujii Tatsukichi (Stationery)

—

—

JM20140008000

愛知県文化会館美術館の保管品



60 資料

印刷原版『孤高の芸術家 藤井達吉翁』

1965年頃
紙

Printing Plates of a biography: Fujii
Tatsukichi, a Proudly Independent Artist
c. 1965

paper

JM20140009000

愛知県文化会館美術館の保管品



61 資料

印刷原版『藤井達吉翁作品集』

1970年頃
亜鉛版

Plats of Catalog of Fujii Tatsukichi

c. 1970

zincograph

JM201400010000

愛知県文化会館美術館の保管品



寄託

新規寄託品

2014（平成26）年度には既寄託者から岸田劉生の日本画2件と
絵画1件の追加寄託を受けた。

寄託品の状況（2015（平成27）年3月末現在）

分類	件数
日本画	49
絵画	115
立体	70
版画	123
水彩・素描	90
写真	92
資料	14
計	40所蔵者553件

2 保存

保存事業の実施状況（平成26（2014）年度）

前年度に引き続き木村定三コレクションの調査、保存処置を行ったが、その他の所蔵作品については、新収蔵作品と貸出作品を優先して行った。

2014（平成26）年度 外部委託による保存処置作品一覧

No.	作家名	制作年（時代）	作品名 (技法材料)	種別	処置前の状態	処置内容	処置者
1	江戸時代	18世紀-19世紀	黒漆鈴虫図螺鈿香合 木村定三コレクション M1495	工芸	剥離・剥落片有	剥落留、クリーニング	北村昭斎 北村繁
2	江戸時代	17世紀-18世紀	黒漆散蓮華文螺鈿蒔絵盤架 木村定三コレクション M1495	工芸	汚れ・亀裂 剥離・剥離 構造体の欠失	剥落留、クリーニング 接続部分の補強	北村昭斎 北村繁
3	進藤 博	1971年	くわい (油彩画布)	洋画	剥離、剥落、汚損	剥落留、洗浄 充填、補彩	杉並絵画修復工房 (館内処置)
4	進藤 博	1971年	ドライブフラワー (油彩画布)	洋画	剥離、剥落、汚損	剥落留、洗浄 充填、補彩	杉並絵画修復工房 (館内処置)
5	進藤 博	1971年	蓮 (油彩画布)	洋画	剥離、剥落、汚損	剥落留、洗浄 充填、補彩	杉並絵画修復工房 (館内処置)
6	鬼頭鍋三郎	1925年	閑日前庭図 (油彩画布)	洋画	剥離、剥落、汚損	剥落留、洗浄 充填、補彩	杉並絵画修復工房 (館内処置)
7	鬼頭鍋三郎	1930年頃	手鏡を持つ裸婦 (油彩画布)	洋画	剥離、剥落、汚損	剥落留、洗浄	杉並絵画修復工房 (館内処置)
8	鬼頭鍋三郎	1931-1932年	赤い実とガラス瓶 (油彩画布)	洋画	剥離、剥落、汚損	剥落留、洗浄 充填、補彩	杉並絵画修復工房 (館内処置)
9	鬼頭鍋三郎	1937-1938年	新聞を読む女 (油彩画布)	洋画	汚損	洗浄	杉並絵画修復工房 (館内処置)
10	鬼頭鍋三郎	1954年	黒衣のM嬢 (油彩画布)	洋画	剥離、剥落、汚損 カビ除去	剥落留、洗浄	杉並絵画修復工房 (館内処置)
11	鬼頭鍋三郎	1954年	巴里の街 (油彩画布)	洋画	剥離、剥落、汚損	剥落留、洗浄	杉並絵画修復工房 (館内処置)

2014（平成26）年度 外部に委託した詳細状態調査作品一覧（学術調査を目的とした調査研究を含む）

No.	製作年代	作品名（現在の公開名）	種別	調査項目	目的	依頼先
1	江戸（17-18世紀）	黒漆小棗 宗旦好 木村定三コレクション M-1438	工芸	C T撮影、X線撮影・ 実体顕微鏡観察	調査	鶴見大学文化財学科
2	中国・東南アジア（18-19世紀）	蒟馬鳥文八稜花型盆 木村定三コレクション M-1391	工芸	X線撮影・ 実体顕微鏡観察	調査	鶴見大学文化財学科
3	江戸（17世紀）	牡丹文堆朱模香合 木村定三コレクション M-1396	工芸	X線撮影・ 実体顕微鏡観察	調査	鶴見大学文化財学科
4	江戸（17-18世紀）	蜻蛉蜘蛛巣図蒔絵太鼓胴 木村定三コレクション M-1250	工芸	ソフトX線撮影	調査	鶴見大学文化財学科
5	近代（20世紀）	錫地秋草に虫蒔絵棗 木村定三コレクション M-1422	工芸	蛍光X線反射(金属成分)	調査	鶴見大学文化財学科
6	元（14世紀）	黒漆八宝文螺鈿盆 木村定三コレクション M-1386	工芸	C T撮影、X線撮影・ 実体顕微鏡観察	調査	鶴見大学文化財学科
7	明～清（16-17世紀）	黒漆椿捻文螺鈿香合 (銘 市女笠) 木村定三コレクション M-1505	工芸	C T撮影、X線撮影・ 実体顕微鏡観察	調査	鶴見大学文化財学科
8	元～明（14-15世紀）	木目塗盆 木村定三コレクション M1590	工芸	蛍光X線分析 ソフトX線分析	調査	鶴見大学文化財学科
9	元～明（14-15世紀）	木目塗盆（剥落片） 木村定三コレクション M1590	工芸	塗膜観察 顔料分析 (エネルギー分散型 蛍光X線分析)	調査	京都造形芸術大学 岡田文男
10	明（16-17世紀）	黒漆蓮池鴛鴦図螺鈿卓 木村定三コレクション M622	工芸	状態詳細調査	修理	北村昭斎 北村繁
11	江戸（17-18世紀）	黒漆澤瀉紋松竹鶴蒔絵文机 木村定三コレクション M633	工芸	状態詳細調査	修理	北村昭斎 北村繁
12	朝鮮（19-20世紀）	黒漆草花文螺鈿机 木村定三コレクション M634	工芸	状態詳細調査	修理	北村昭斎 北村繁

No.	製作年代	作品名 (現在の公開名)	種別	調査項目	目的	依頼先
13	明～清 (16-17世紀)	黒漆鈴虫図螺鈿香合 木村定三コレクション M1495	工芸	状態詳細調査	修理	北村昭斎 北村繁
14	江戸 (17-18世紀)	黒漆桐紋牡丹唐草文螺鈿鞍 木村定三コレクション M1731	工芸	状態詳細調査	修理	北村昭斎 北村繁
15	江戸 (17-18世紀)	黒漆散蓮華文螺鈿時絵磐架 木村定三コレクション M2481	工芸	状態詳細調査	修理	北村昭斎 北村繁
16	作者不詳 (鎌倉-南北朝 14世紀)	黒漆厨子 木村定三コレクション M616	工芸	修理方針に関する 専門委員会*1の設置	修理	文化財保存 (株)
17	作者不詳 (鎌倉-南北朝 14世紀)	黒漆厨子 木村定三コレクション M616	工芸	テラヘルツ 分光イメージング法準備	修理	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所

*1 黒漆厨子修理方針のための専門委員会委員

谷口耕生 (奈良国立博物館)・・・絵画史専門
大原嘉豊 (京都国立博物館)・・・絵画史専門
久保智康 (京都国立博物館名誉研究員)・金工史専門
伊藤鉄夫 (文化庁工芸部門調査官)・・・金工史専門

吉岡宏 今田淳 (文化財保存)
選定保存技術「装こう修理技術」団体認定
北村昭斎 北村繁
選定保存技術「漆工芸修理」個人認定
雨森久晃
有形民俗資料修理技術者 元興寺文化財研究所
川本耕三
保存科学 (分析化学) 元興寺文化財研究所

2014 (平成26) 年度 新規額・保存箱製作作品一覧

No.	作家名	作品名	種別	製作物	製作者
1	ポール・ゴーギャン	海岸の岩／木靴職人 (両面油彩)	絵画	新規額の制作	ACS佐藤
2	進藤 博	ドライフラワー	絵画	額の改造	ACS佐藤
3	進藤 博	蓮	絵画	額の改造	ACS佐藤
4	麻生三郎	人 (1994年)	水彩・素描	新規額の制作	ACS佐藤
5	斎藤吾郎	御殿万歳<上町> 版画集「西尾のまつり」	版画	マット装 (汎用大全紙)	ACS佐藤
6	斎藤吾郎	てんてこ祭<熱池田八幡宮> 版画集「西尾のまつり」	版画	マット装 (汎用大全紙)	ACS佐藤
7	斎藤吾郎	おかげん<下知町養寿寺> 版画集「西尾のまつり」	版画	マット装 (汎用大全紙)	ACS佐藤
8	斎藤吾郎	大名行列<希町> 版画集「西尾のまつり」	版画	マット装 (汎用大全紙)	ACS佐藤
9	斎藤吾郎	鉤万燈<貝吹町長円寺山> 版画集「西尾のまつり」	版画	マット装 (汎用大全紙)	ACS佐藤
10	斎藤吾郎	万燈流し<米津町矢作川> 版画集「西尾のまつり」	版画	マット装 (汎用大全紙)	ACS佐藤
11	斎藤吾郎	棒の手<田貫町神明社> 版画集「西尾のまつり」	版画	マット装 (汎用大全紙)	ACS佐藤
12	斎藤吾郎	御櫃割り<室町神明社> 版画集「西尾のまつり」	版画	マット装 (汎用大全紙)	ACS佐藤
13	小山田二郎	ロマンス	水彩・素描	額の改造	ACS佐藤
14	小山田二郎	夏の虫	水彩・素描	額の改造	ACS佐藤
15	伊藤廉	水牛の喧嘩下絵	水彩・素描	額の改造	ACS佐藤
16	伊藤廉	裸婦習作 JD198700001000	水彩・素描	額の改造	ACS佐藤
17	伊藤廉	群像 JD198700005000	水彩・素描	額の改造	ACS佐藤
18	伊藤廉	風景 JD198700002000	水彩・素描	額の改造	ACS佐藤
19	伊藤廉	風景 JD198700004000	水彩・素描	額の改造	ACS佐藤
20	伊藤廉	仏頭 JD198700013000	水彩・素描	額の改造	ACS佐藤
21	伊藤廉	仏頭 JD198700015000	水彩・素描	額の改造	ACS佐藤
22	伊藤廉	仏頭 JD198700016000	水彩・素描	額の改造	ACS佐藤
23	伊藤廉	風景 JD198700009000	水彩・素描	額の改造	ACS佐藤
24	伊藤廉	静物 JD198700023000	水彩・素描	額の改造	ACS佐藤
25	伊藤廉	静物 JD198700019000	水彩・素描	額の改造	ACS佐藤

○保存環境の整備等

引き続き、生物被害対策のために、生物調査を行った。友の会サポート事業の協力を得て、作品環境の清浄化に関する諸処の作業を行った。

3 管理

所蔵作品の管理状況（2014（平成26）年度）

作品の管理

「愛知県美術館所蔵作品点検要領」に基づき、作品を8分類し毎年1分類ずつ行う管理状況の確認として、藤井達吉コレクションの工芸その他の点検を行うとともに、愛知県財務規則第118条に基づく年1回の全作品所在確認作業を実施した。

作品の貸出

他の美術館等からの展覧会等への貸出要請に対して、作品の保存状態が比較的良好で、コレクション展の展示計画に支障がないものについて、展覧会の内容やその意義を勘案し、展示施設・設備の状況を確認した上で、所蔵作品貸出要領に則し貸出を行った。

また、このような館外への貸出も所蔵作品公開の機会と位置付け、各会場での入場者状況を調査した。

貸出の概要（貸出期間 2014（平成26）年4月1日～2015（平成27）年3月31日）

貸出先		件数	点数	総入場者数（うち小中生）※
国内	美術館・博物館	42件	334点	1,097,124人（44,535人）
	県関係機関	5件	46点	
国外	美術館・博物館	0件	0点	
計		47件	380点	

※データは2014（平成27）年6月12日現在。一部、年度をまたいで開催した展覧会を含むが、昨年度報告分は含まない。また、入場者区分・集計範囲は貸出先によって異なるため、小中生数については報告があったものの合計。

木村定三コレクションの調査と整理並びに報告

2012（平成24）年度から始まった5カ年計画に基づき、同コレクションの調査研究保存事業を実施した。作品調査研究の重点を漆工芸品、煎茶道具、硯、金属工芸において進めた。そのうち、本年度は、漆工芸についてまとめ、『研究紀要第21号木村定三コレクション編』において、調査研究成果として公開に努めた。

藤井達吉関係資料の調査と整理

愛知県文化会館美術館から引き継いだ「藤井達吉コレクション」及びその他の資料について、全品の所在確認を行った。

1 コレクション展

(1) 展示の概要 (2014 (平成26) 年度)

コレクション展では、主に20世紀以降の美術の展開やその特質に触れることができる展示を行うと同時に、来館者の関心の多様化を考慮して、各期に、企画展と関連する時代や作家、あるいは一つのまとまりのある美術動向や作品群に焦点をあてた特集展示を行っている。2014年度は年間を5期に分けてコレクション展を開催。各期に作品を入れ替え、幅広い作品の紹介に努めた。

2014年度のコレクション企画は、「あなたのリアル、わたしのリアル。」展を開催した。同展では、「リアル」とは何かという問題をさまざまな角度から所蔵作品を通して考察した。

また、新収蔵の志賀理江子作品と鬼頭鍋三郎作品を、それぞれ一室を使って特集を組んで公開した。そのほか、所蔵作品と寄託作品を組み合わせて舟越桂の特集をするなど、当館の多様なコレクションを大いに活用した展示を行った。

さらに企画展「これからの写真」に合わせ、富士フィルム株式会社の特別協力を得て、フジフィルム・フォトコレクションによる特集展示を行った。

コレクション展の開催状況

		総入場者数	一日平均
2014年度 第1期	2014年4月17日-6月8日 特集等：日本近代洋画 20世紀の美術 木村定三コレクション 小川芋銭 ノクターン一夜に誘われて APMoA Project, ARCH vol. 9 山内崇嗣「くるみの部屋」	10,030人	(46日間) 218人
	内訳		
	企画展「シャガール展」共通入場者数	9,575人	212人
	コレクション展のみの入場者数	273人	6人
2014年度 第2期	2014年6月20日-7月21日 特集等：舟越桂 20世紀の美術 木村定三コレクション 風外、白隠、仙厓一禅画のユーモア 創作版画—近代を刻んだ作家たち APMoA Project, ARCH vol. 10 丹羽康博「詩としての行為」	6,731人	(28日間) 240人
	内訳		
	コレクション企画「あなたのリアル、わたしのリアル。」展（展示室2-3）と 展示室4-8のコレクション展入場者の区別なし	6,731人	240人
2014年度 第3期	2014年8月1日-9月28日 特集等：特集展示 日本の写真史を飾った写真家の「私の1枚」—フジフィルム・フォトコレクションによる— ミニマル／マキシマル 木村定三コレクション 掛軸—表具の美— 新収蔵 志賀理江子「螺旋海岸」 20世紀の美術 APMoA Project, ARCH vol. 11 末永史尚「ミュージアムピース」	13,716人	(51日間) 269人
	内訳		
	企画展「これからの写真」展	12,868人	252人
	コレクション展のみの入場者数	848人	16人
2014年度 第4期	2014年10月9日-2015年1月12日 特集等：20世紀の美術 夭折の画家たち 木村定三コレクション 茶釜 APMoA Project, ARCH vol. 12 占部史人「7つの夜の海」	31,387人	(52日間) 430人
	内訳		
	企画展「デュフィ展」展共通入場者数	31,074人	598人
	コレクション展のみの入場者数	313人	6人
2014年度 第5期	2015年2月3日-4月5日 特集等：グロテスク・モデルヌ 20世紀の美術 新収蔵 鬼頭鍋三郎 木村定三コレクション めでたきもの APMoA Project, ARCH vol. 13 伊東宣明「アート」	35,561人	(51日間) 697人
	内訳		
	企画展「ロイヤル・アカデミー展」共通入場者数	35,315人	692人
	コレクション展のみの入場者数	246人	5人
2014年度 合 計		97,425人	(228日間) 427人

2014年度第1期コレクション展展示作品リスト〔2014年4月17日(木)ー6月8日(日)〕

展示室4では、明治時代から第二次世界大戦前までの日本近代洋画の作品を展示した。展示室5では、西洋の20世紀の名品を紹介した。展示室7では、木村定三コレクションから、小川芋銭の作品を展示した。展示室8では、「夜」をモチーフにしたさまざまな作品を紹介した。

前室1			水彩画	鬘光 自画像	1934年	絵画	ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海I	1927年
絵画	川島理一郎 伎場の囃	秋田利松氏寄贈 1925年	絵画	古賀春江 夏山	1927年	絵画	ベン・ニコルソン 1933(スペインの絵葉書のあるコラージュ)	1933年
絵画	木下孝則 読書	1931年	絵画	神原泰 生命の流動	1924年	絵画	サム・フランシス 消失に向かう地点の青	1958年
水彩画	中西利雄 帽子の婦人像	2012年度 新収蔵作品 1939年頃	絵画	村井正誠 ゴルフジュアンの船	1929年	絵画	アド・ラインハート No.114	1950年
展示室4 日本近代洋画			絵画	梅原龍三郎 北京紫禁城	1939年	絵画	アントニ・タピエス コンポジション	1977年
絵画	高橋由一 不忍池	1880年頃	展示室5 20世紀の美術			絵画	ジャン・デュビュッフェ 二人の脱走兵	1953年
絵画	浅井忠 八王子付近の街	1887年	絵画	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	(株) 東海銀行寄贈 1902年	絵画	モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61年
絵画	久米桂一郎 秋景	1892年	絵画	アルベール・マルケ ノートルダムの後陣	1902年	版画	シェパード・フェアリー Power, HPM	寄託作品 2011-12年
絵画	山下新太郎 白耳義の少女	1909年	彫刻・立体	メダルド・ロソフ 病める子	1893年	素描	ロバート・ラウシェンバーク コース	1958年
絵画	安井曾太郎 婦人像	1912年頃	絵画	グスタフ・クリムト 人生は戦いなり(黄金の騎士)	トヨタ自動車株式会社からの寄附金による購入 1903年	絵画	アンディ・ウォーホル レディース・アンド・ジェントルメン	1975年
絵画	梅原龍三郎 横顔裸婦	1908年	彫刻・立体	ジョルジュ・ミンヌ 聖遺物箱を担ぐ少年	1897年	版画	ジャスパー・ジョーンズ 出足の遅れI	寄託作品 1962年
絵画	小出檜重 N婦人像	1918年	彫刻・立体	ケーテ・コルヴィッツ 恋人たちII	1913年(1973年頃鑄造)	版画	ジャスパー・ジョーンズ エール缶	寄託作品 1964年
絵画	中村彝 少女裸像	1914年	彫刻・立体	ヴァイルヘルム・レームブルック 立ち上がる青年	1913年	彫刻・立体	イヴ・クライン アルマン	1962年
絵画	岸田劉生 高須光治君之肖像	1915年	絵画	フランティシエク・クプカ 灰色と金色の展開	1919年	彫刻・立体	ジョージ・シーガル ロバート&エセル・スカルの肖像	1965年
絵画	木村荘八 壺を持つ女	1915年	水彩画	ジャーコモ・バッラ 太陽の前を通過する水星(習作)	1914年	彫刻・立体	ジム・ダイン 芝刈機	1962年
絵画	河野通勢 自画像	1917年	彫刻・立体	オシップ・ザツキン チェロのトルソ	1956-57年	素描	クリスト 包まれた旧ドイツ帝国国会議事堂、 ベルリンのためのプロジェクト	1986年
絵画	前田寛治 褐衣婦人像	1925年	水彩画	フランシス・ピカビア 糸巻き	1921-22年	展示室6 APMoA Project, ARCH vol. 9 山内崇嗣「くるみの部屋」		
絵画	里見勝蔵 裸婦	1928-29年頃	絵画	クルト・シュヴィッターズ メルツ絵画52、美容	1920年	絵画	山内崇嗣 727×727mm 24/12/2005	作者蔵 2005年
絵画	藤田嗣治 青衣の少女	トヨタ自動車株式会社からの寄附金による購入 1925年	絵画	クルト・シュヴィッターズ メルツ絵画305、ロボジッツ	1921年	絵画	山内崇嗣 727×500mm 15/06/2012	作者蔵 2012年
絵画	海老原喜之助 雪山と樵	1930年	絵画	ジョルジュ・パバゾフ 無題	1928年頃	絵画	山内崇嗣 727×606mm 19/09/2008	作者蔵 2008年
水彩画	鬘光 編み物をする女	1934年	絵画	マックス・エルンスト ポーランドの騎士	1954年	絵画	山内崇嗣 727×606mm 05/10/2010	作者蔵 2010年

絵画	山内崇嗣 727×606mm 05/04/2013	作者蔵 2013年
絵画	山内崇嗣 727×727mm 21/02/2014	作者蔵 2014年
絵画	山内崇嗣 727×606mm 01/04/2013	作者蔵 2013年
絵画	山内崇嗣 selfport (1994)	作者蔵 1994年
工芸	不詳 アフリカ御面	個人蔵 不詳
工芸	山内崇嗣 南蛮人男面	作者蔵 2009年
工芸	山内崇嗣 210×145×25mm 09/09/2011	作者蔵 2011年
工芸	山内崇嗣 140×130×20mm 02/09/2013	作者蔵 2013年
絵画	山内崇嗣 1820×7280mm 01/01/2014	作者蔵 2014年
絵画	山内崇嗣 くるみの世界	作者蔵 2014年
絵画	山内崇嗣 くるみの暮らしと生き物 愛知県 東谷山地図	作者蔵 2014年
工芸	山内崇嗣 胡桃の皮籠	作者蔵 2014年
絵画	山内崇嗣 二〇一三年四月八日 二尺四寸 一尺六寸五分	作者蔵 2013年
工芸	山内崇嗣 木造鬼胡桃坐像	作者蔵 2009年
工芸	山内崇嗣 木造鬼胡桃立像	作者蔵 2010年
工芸	川端健夫 スコーンプレート9寸ほか	個人蔵 2014年

展示室7 木村定三コレクション 小川芋銭

日本画	小川芋銭 人事如夢浮藻世界	木村定三コレクション M1822 不詳
日本画	小川芋銭 桃花源	木村定三コレクション M1840 1935年頃
日本画	小川芋銭 水郷	木村定三コレクション M1847 1937年頃
日本画	小川芋銭 登龍門	木村定三コレクション JJ2002.14.0 1937年
日本画	小川芋銭 鳥貝から生れるカッパ	木村定三コレクション JJ2002.13.0 1937年
日本画	小川芋銭 若葉に蒸さるる木精	木村定三コレクション JJ2002.30 1921年

日本画	小川芋銭 山彦の谷	木村定三コレクション JJ2002.4.0 1921年
日本画	小川芋銭 水虎と其眷属	木村定三コレクション JJ2002.5.0 1921年
日本画	小川芋銭 金太郎	木村定三コレクション JJ2002.20.0 不詳
日本画	小川芋銭 桃花流水送漁夫	木村定三コレクション JJ2002.10.0 1924年
日本画	小川芋銭 闘鶏村	木村定三コレクション JJ2002.9.0 1933年
日本画	小川芋銭 眺山雲	木村定三コレクション JJ2002.6.0 1923年
日本画	小川芋銭 緑陰鈴草	木村定三コレクション M1843 1937年頃
日本画	小川芋銭 水郷春日	木村定三コレクション JJ2002.12.0 1936年頃

展示室8 ノクターン一夜に誘われて

日本画	登内微笑 武蔵野の月	木村定三コレクション M1782 1937年頃
絵画	矢橋六郎 月夜のピサ	1970年
絵画	立松富雄 ねむり	1972年
絵画	山本芳翠 月下の裸婦	1882-86年頃
版画	ヴァンリー・カンデンスキー 夕暮れ	1903年
版画	オスカー・ココシュカ 夢みる少年たち 第1集 眠れる女	1907年(1908年刊行)
絵画	ポール・デルヴォー こだま (あるいは「街路の神秘」)	1943年
絵画	パウル・クレー 女の館	1921年
水彩画	パウル・クレー 蛾の踊り	1923年
日本画	岡本柳南 暗香浮動	木村定三コレクション M503 1931年
日本画	田中訥言 雪月花図	木村定三コレクション M1972 江戸時代後期 (19世紀前半)
日本画	喜田華堂 月に秋野図	木村定三コレクション M1945 江戸時代後期-明治時代(19世紀)
絵画	杉本健吉 玉葱と白小鉢	作者遺族寄贈 1920-25年

前室2

絵画	杉本健吉 冬瓜とわさび	作者遺族寄贈 1927-30年代
工芸	不詳 朱漆塗胡桃三足丸盆	木村定三コレクション M1390 昭和時代 (20世紀)
工芸	不詳 黒漆五三桐紋牡丹唐草文靴	木村定三コレクション M1731 江戸時代(17-18世紀)
絵画	山内崇嗣 1620×920mm 11/04/2010	作者蔵 APMoA Project, ARCH 2010年
絵画	山内崇嗣 1620×920mm 28/07/2010	作者蔵 APMoA Project, ARCH 2010年
絵画	山内崇嗣 1620×1620mm 29/07/2010	作者蔵 APMoA Project, ARCH 2010年
立体	山内崇嗣 420×180×150mm 27/11/2011	作者蔵 APMoA Project, ARCH 2011年
工芸	山内崇嗣 185×80×65mm 01/08/2010	作者蔵 APMoA Project, ARCH 2010年
工芸	山内崇嗣 300×145×165mm 10/09/2011	作者蔵 APMoA Project, ARCH 2011年

ビデオテーク

映像	田中功起 買物袋、ビール、鳩にキャビアほか	平成25年度 新収蔵作品 2004年
----	--------------------------	-----------------------

10階屋上庭園 (レストラン脇)

彫刻・立体	アルナルド・ボモドーロ 財団法人日本宝くじ協会寄贈 飛躍の瞬間	1984年
-------	------------------------------------	-------

屋外展示スペースI (12階屋上)

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
彫刻・立体	加藤昭男 大地	1986年
彫刻・立体	小田 襄 円柱の構造	1988年

屋外展示スペースII (10階)

彫刻・立体	今井瑾郎 大地	1992年
-------	------------	-------

12階アートスペースロビー

彫刻・立体	舟越保武 花を持つ少女	1966年
-------	----------------	-------

「あなたのリアル、わたしのリアル。」展／2014年度第2期コレクション展展示作品リスト (2014年6月20日(金)ー7月21日(月・祝))

展示室4では所蔵作品と寄託作品を組み合わせて、舟越桂の彫刻作品を特集展示した。展示室5では、西洋の20世紀の名品を紹介した。また、同室の最後のセクションでは、新収蔵の吉川民仁作品を含む現代日本の抽象絵画を展示した。展示室8では、木村定三コレクションから風外慧薫、白隠慧鶴、仙厓義梵による禅画を紹介した。

展示室2 「あなたのリアル、わたしのリアル。」展

絵画	上田薫 なま玉子G	1976年
絵画	小松崎邦雄 ゲット・バック	1977年
絵画	三尾公三 鏡の前	1982年
絵画	稲垣考二 陽光	名古屋名城ライオンズクラブ寄贈 1990年
絵画	進藤博 くわい	木村定三コレクション M2526 1971年
絵画	進藤博 はす	木村定三コレクション M2527 1971年
絵画	進藤博 ドライブラワー	木村定三コレクション M2528 1971年
絵画	高橋由一 不忍池	1880年頃
絵画	岸田劉生 高須光治君之肖像	1915年
絵画	河野通勢 自画像	1917年
絵画	宮脇晴 自画像	1920年
絵画	大沢鉦一郎 自画像	1919年
絵画	三尾公三 Palm Beach 昼下り	三尾啓氏寄贈 1989年
絵画	國領経郎 風	1981年
絵画	立松富雄 ねむり	1972年
絵画	松樹路人 去りゆく夏に	1985年
絵画	斎藤真一 メリーゴーランド	木村定三コレクション M2603 花の回転木馬 1965年
絵画	真野広 パムック・カレー	吉原一之氏寄贈 (綿の砦) 1973年
絵画	中島大三 マネキン	1972年
絵画	小林孝亘 Stairs	株式会社カサハラ画廊寄贈 2008年

絵画	小林研三 春の夕	木村定三コレクション M2537 1970年
絵画	小林研三 羊たちのいる幸せな風景	木村定三コレクション M2538 1970年
絵画	小林研三 雪の朝	木村定三コレクション M2529 1973年
絵画	杉戸洋 the Rainbow Wall	2002年
絵画	設楽知昭 ノーザンステーション	作者寄贈 2001年
絵画	設楽知昭 レセプション	作者寄贈 2001年
絵画	設楽知昭 ホテルバシフィカ	作者寄贈 2001年
絵画	設楽知昭 母子手帳をください	作者寄贈 2001年
絵画	設楽知昭 こんにちとはさようなら	作者寄贈 2001年
絵画	設楽知昭 男、女、子供	作者寄贈 2001年
絵画	設楽知昭 バーン	作者寄贈 2001年
絵画	設楽知昭 駆ける	作者寄贈 2001年
絵画	ポール・デルヴォー こだま (あるいは「街路の神秘」)	1943年
絵画	アラン・デュケ ジョルジュ・サンドからの手紙	木村定三コレクション M2590 制作年不詳
絵画	アラン・デュケ バスのチケット	木村定三コレクション M2591 1970年
絵画	クルト・シュヴァイツァース メルツ絵画52、美容	1920年
絵画	クルト・シュヴァイツァース メルツ絵画305、ロボジツ	1921年
絵画	黄世眞 2 (Jealousy)	寄託作品 2012年
絵画	ジョルジュ・フェール 白い壁	桑原幹根氏寄贈 1967年頃
日本画	星野真吾 喪中の作品 (昇天)	1965年
日本画	松井和弘 宙仰	作者寄贈 2000年

水彩画	アンドリュー・ワイエス 氷塊 I	アンドリュー・ワイエス夫妻寄贈 1968年
彫刻・立体	イ・ファン=クオン A Wondering Man	寄託作品 2012年
彫刻・立体	オーギュスト・ロダン 歩く人	1900年
彫刻・立体	ジョージ・シーガル ロバート&エセル・スカルの肖像	1965年
彫刻・立体	イヴ・クライン アルマン	1962年
彫刻・立体	ジム・ダイン 芝刈機	1962年
版画	長谷川潔 飼い馴らされた小鳥 (西洋将棋など)	1962年
版画	長谷川潔 骰子独楽と幸福の星	1961年
版画	長谷川潔 ジロスコープのある静物画	1966年
版画	二見彰一 不安な夜 (2)	木村定三コレクション M2564 1974年
版画	二見彰一 青い椅子	木村定三コレクション M2563 1975年
版画	二見彰一 とぎれたフーガ	木村定三コレクション M2801 1972年
版画	フランツ・ゲルチュ ナターシャ IV	1987-88年
版画	クリスト 包まれたビル、ニューヨーク タイムズスクエア1番地 アライドケミカルタワーのためのプロジェクト	寄託作品 1968年
写真	杉本博司 Henry VIII	寄託作品 2000年

展示室3 「あなたのリアル、わたしのリアル。」展

映像	さわひらき Going Places Sitting Down	2004年
----	------------------------------------	-------

前室1

彫刻・立体	舟越保武 花を持つ少女	1966年
彫刻・立体	舟越保武 シオン	1979年

展示室4 舟越桂

彫刻・立体	舟越桂	寄託作品
	つばさを拡げる鳥がみえた	1985年
彫刻・立体	舟越桂	寄託作品
	砂と街と	1986年
彫刻・立体	舟越桂	寄託作品
	教会とカフェ	1988年
彫刻・立体	舟越桂	
	肩で眠る月	1996年
彫刻・立体	舟越桂	寄託作品
	山を包む私	2000年
彫刻・立体	舟越桂	寄託作品
	戦争をみるスフィンクスII	2006年

展示室5 20世紀の美術

絵画	パブロ・ピカソ	(株) 東海銀行寄贈
	青い肩かけの女	1902年
絵画	アルベール・マルケ	
	ノートルダムの後陣	1902年
絵画	アンリ・マティス	中部電力(株) 寄贈
	待つ	1921-22年
絵画	エミール・ノルデ	
	静物L (アマゾン、能面等)	1915年
絵画	グスタフ・クリムト	トヨタ自動車株式会社からの寄附金による購入
	人生は戦いなり (黄金の騎士)	1903年
絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	
	グラスのある静物	1912年
彫刻・立体	エルンスト・バルラッハ	
	母なる大地 II	1921年
版画	パブロ・ピカソ	
	果物皿のある静物	1909年
版画	ジョルジュ・ブラック	
	小さなキュビズム的ギター1909年(1954年)	
素描	ロベール・ドロローネー	
	カーディフ・チーム習作	1913-22年頃
版画	カミール・マレーヴィチ	
	飛行機と汽車によるひとりの人間の同時的な死	1913年
版画	ヴァシリー・カンディンスキー	
	たのしき飛翔(バウハウス・マイスター版画作品集)	1923年
絵画	フランティシェク・クプカ	
	灰色と金色の展開	1919年
絵画	ジャック・ヴィヨン	
	存在	1920年
彫刻・立体	ジャン・アルプ	
	森	1917年頃
絵画	ジョアン・ミロ	
	絵画	1925年

絵画	フェルナン・レジェ	カニエプロバン株式会社からの寄附金による購入
	緑の背景のコンポジション(葉のあるコンポジション)	1931年
絵画	ジョージア・オキーフ	
	抽象 第6番	1928年
絵画	ニコラ・ド・スタール	
	コンポジション	1948年
絵画	サム・フランシス	
	消失に向かう地点の青	1958年
絵画	アド・ラインハート	
	No.114	1950年
絵画	ジョーゼフ・アルパース	
	正方形頰	1962年
絵画	ルーチョ・フォンターナ	
	空間概念	1960年
絵画	モーリス・ルイス	
	デルタ・ミュー	1960-61年
絵画	中村功	
	Surface/Figaro 意勢V-1	2008年
絵画	吉川民仁	2013年度 新収蔵作品
	対話	2010年
絵画	館勝生	
	her sins	1999年
絵画	中村一美	脇田チエ子氏寄贈
	破舎仏涅槃図 I	1993-95年
絵画	辰野登恵子	
	Untitled 95-1	1995年

展示室6 APMoA Project, ARCH vol. 10 丹羽康博「詩としての行為」

彫刻・立体	丹羽康博	愛知県立芸術大学蔵
	〈詩としての彫刻〉より 石と発泡材	2007年
彫刻・立体	丹羽康博	愛知県立芸術大学蔵
	〈詩としての彫刻〉より I caught a falling-leaf	2008年
彫刻・立体	丹羽康博	愛知県立芸術大学蔵
	〈詩としての彫刻〉より Möbius score	2008年
彫刻・立体	丹羽康博	愛知県立芸術大学蔵
	〈詩としての彫刻〉より Drops of leaf	2008-2009年
彫刻・立体	丹羽康博	作者蔵
	burn off	2011年
彫刻・立体	丹羽康博	作者蔵
	Ray	2013年
彫刻・立体	丹羽康博	作者蔵
	double	2014年
彫刻・立体	丹羽康博	
	untitled (carpet)	2014年

展示室7 木村定三コレクション 風外、白隠、仙厓——禅画のユーモア

日本画	風外慧薫	木村定三コレクション M1982
	指月布袋図 自賛	桃山-江戸時代前期(16世紀後半-17世紀)

日本画	風外慧薫	木村定三コレクション M1983
	半身達磨図 自賛	桃山-江戸時代前期(16世紀後半-17世紀)
日本画	風外慧薫	木村定三コレクション M2131
	芦葉達磨図 自賛	桃山-江戸時代前期(16世紀後半-17世紀)
日本画	白隠慧鶴	木村定三コレクション M1988
	吉田猿猴図 自賛	江戸時代中期(18世紀)
日本画	白隠慧鶴	木村定三コレクション M1984
	渡唐天神図 自賛	江戸時代中期(18世紀)
日本画	白隠慧鶴	木村定三コレクション M1985
	遠羅天釜図 自賛	江戸時代中期(18世紀)
日本画	白隠慧鶴	木村定三コレクション M1986
	寿老人図	江戸時代中期(18世紀)
日本画	白隠慧鶴	木村定三コレクション M1989
	布袋図	江戸時代中期(18世紀)
日本画	白隠慧鶴	木村定三コレクション M1987
	五位鶯団扇図 自賛	江戸時代中期(18世紀)
日本画	仙厓義梵	木村定三コレクション M1981
	若水図 自賛	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀前半)
日本画	仙厓義梵	木村定三コレクション M1980
	姫御前図 自賛	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀前半)
日本画	仙厓義梵	木村定三コレクション M1978
	寒山拾得図 自賛	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀前半)
日本画	仙厓義梵	木村定三コレクション M1974
	趙州狗子図 自賛	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀前半)
日本画	仙厓義梵	木村定三コレクション M1975
	豊年図 自賛	江戸時代中期-後期(18世紀後半-19世紀前半)

展示室8 創作版画—近代を刻んだ作家たち

版画	山本鼎	
	漁夫	1904年
版画	戸張孤雁	
	十二階	1913年頃
版画	太田三郎	
	カフェーの女	1914年
版画	山本鼎	
	フランス田園の春	1917年
版画	藤森静雄	
	失題	1914年
版画	恩地孝四郎	
	丘頂	1917年
版画	恩地孝四郎	
	卓上静物	1918年頃
版画	恩地孝四郎	
	リリックNo.2: 楽曲によせる抒情、山田耕筰“おやすみなさい”	1934年
版画	恩地孝四郎	
	花	1928年
版画	小泉癸巳男	2013年度 新収蔵作品 安井俊夫氏寄贈
	かき舟 (小泉癸巳男版画集)	1923年

版画	小泉癸巳男 2013年度 新収蔵作品 安井俊夫氏寄贈 不忍の梅雨(小泉癸巳男版画集) 1923年
版画	小泉癸巳男 2013年度 新収蔵作品 安井俊夫氏寄贈 三条大橋(小泉癸巳男版画集) 1923年
版画	小泉癸巳男 2013年度 新収蔵作品 安井俊夫氏寄贈 秋(小泉癸巳男版画集) 1923年
版画	小泉癸巳男 2013年度 新収蔵作品 安井俊夫氏寄贈 道(小泉癸巳男版画集) 1923年
版画	平川清蔵 風景 1925年
版画	川上澄生 異国雨の夕景 1925年(1924年)
版画	深沢索一 丘上走土 1925年
版画	永瀬義郎 香港夜景 1930年
版画	前川千帆 神田青物市場『新東京百景』より 1930年
版画	前川千帆 新宿夜景『新東京百景』より 1931年
版画	谷中安規 虎ねむる 1933年
版画	谷中安規 自画像 1932年
版画	谷中安規 蝶を吐く人 1933年
版画	谷中安規 ゴンドラの月 1936年
版画	谷中安規 童子騎象 1939年

版画	藤牧義夫 銀行 1933年
版画	藤牧義夫 まくら橋 1934年
版画	青木繁(画) 山本鼎(彫) 錆斧(『春鳥集』口絵) 1905年
資料	版画誌『詩と版画』 1922年-1925年
資料	佃秀實氏寄贈 版画誌『版芸術』 1932年-1936年
資料	佃秀實氏寄贈 版画誌(同人誌)『白と黒』 1931年-1934年
資料	戸張孤雁 愛知芸術文化センターアートライブラリー蔵 『創作版画と版画の作り方』 1922年
資料	小泉癸巳男 愛知芸術文化センターアートライブラリー蔵 『木版画の彫り方と刷り方』 1924年

前室2

版画	荒川修作 それはその中に(1) 1978年
版画	荒川修作 それはその中に(2) 1978年
版画	荒川修作 それはその中に(3) 1978年
絵画	岡崎乾二郎 作者寄贈 過呼吸(唇に歯を押し、忘る) 2009年
絵画	岡崎乾二郎 作者寄贈 眉をひそめる間柄(ヨソヨソシイ耳許) 2009年
彫刻・立体	丹羽康博 作者蔵 APMoA Project, ARCH Wall on canvas 2011年

彫刻・立体	丹羽康博 作者蔵 APMoA Project, ARCH public power 2014年
イラストレーション	丹羽康博 APMoA Project, ARCH I can't draw the perfect circle. 2010/2014年

ロビー

彫刻・立体	丹羽康博 作者蔵 APMoA Project, ARCH Three minutes breathing 2011年-
-------	--

ビデオテーク

映像	奥村雄樹 2013年度 新収蔵作品 ジュンヤン 忘却と記憶についての短いレクチャー 2011年
----	--

10階屋上庭園(レストラン脇)

彫刻・立体	アルナルド・ボモドーロ 財団法人日本宝くじ協会寄贈 飛躍の瞬間 1984年
-------	--

屋外展示スペースII(10階)

彫刻・立体	今井瑾郎 大地 1992年
-------	------------------

屋外展示スペースI(12階屋上)

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女 1983年
彫刻・立体	加藤昭男 大地 1986年
彫刻・立体	小田 襄 円柱の構造 1988年

2014年度第3期コレクション展展示作品リスト(2014年8月1日(金)ー9月28日(日))

展示室4では、企画展「これからの写真」に対応する意味も込めて、富士フィルム株式会社蔵の日本の写真作品を展示した。展示室5では「ミニマル」な表現と「マキシマル」な表現の相違性と共通性について考察する展示を行った。前室2では木村定三コレクションから、APMoA Project, ARCHの末永史尚「ミュージアムピース」と関連付けて、掛軸の表具に着目した展示を行った。展示室7では、新収蔵の志賀理江子の写真作品全25点を紹介した。展示室8では西洋の20世紀の名品を展示した。

前室1

彫刻・立体	オシップ・ザツキン チェロのトルソ 1956-57年
-------	-------------------------------

展示室4 特集展示 日本の写真史を飾った写真家の「私の1枚」ーフジフィルム・フォトコレクションによるー

写真	フェリーチェ・ベアト 鶏卵紙 長崎、中島川 1865年頃
----	---------------------------------

写真	上野彦馬 鶏卵紙 長崎、中島川 1872年頃
写真	下岡蓮杖 鶏卵紙 〈The Far East〉より「果物売り」 1860年代半ば

写真	下岡蓮杖 (The Far East)より「籠売り」	鶏卵紙 1860年代半ば
写真	下岡蓮杖 (The Far East)より「プリキ職人」	鶏卵紙 1860年代半ば
写真	下岡蓮杖 (The Far East)より「蕎麦売り」	鶏卵紙 1860年代半ば
写真	内田九一 隅田川の舟遊び	ゼラチン・シルバー・プリント (複製) 1872年
写真	日下部金兵衛 三保の松原の人力車	鶏卵紙に手彩色 1880年代
写真	小川一真 百美人	鶏卵紙に手彩色 1891年
写真	鹿島清兵衛 ボン太	鶏卵紙に手彩色 1895年頃
写真	福原信三 釣り〈巴里とセイヌ〉より	発色現像方式印画 (複製) 1913年
写真	塩谷定好 破船	ゼラチン・シルバー・プリント 1929年
写真	桑原甲子雄 麹町区馬場先門(現・千代田区)	ゼラチン・シルバー・プリント 1936年2月27日
写真	安井仲治 海濱	ゼラチン・シルバー・プリント 1936年
写真	福原路草 不詳 新潟・関温泉にて	発色現像方式印画 (複製) 1938年
写真	田淵行男 初冬の浅間 黒斑山の中腹より	ゼラチン・シルバー・プリント 1940年
写真	濱谷浩 歌ってゆく鳥追い 新潟(雪国)より	ゼラチン・シルバー・プリント 1940年
写真	岡田紅陽 東海の松 毘沙門 静岡県	ゼラチン・シルバー・プリント 1944年頃
写真	影山光洋 手作りの小麦の収穫祝いの食卓	ゼラチン・シルバー・プリント 1946年6月25日
写真	林忠彦 太宰治	ゼラチン・シルバー・プリント 1946年
写真	植田正治 パパとママとコドモたち	ゼラチン・シルバー・プリント 1949年
写真	木村伊兵衛 秋田おばこ 秋田・大曲	ゼラチン・シルバー・プリント 1953年
写真	渡辺義雄 内宮正殿北西側全景(伊勢神宮)より	ゼラチン・シルバー・プリント 1953年
写真	大竹省二 ヘルベルト・フォン・カラヤン	ゼラチン・シルバー・プリント 1954年
写真	岩宮武二 マスカン	発色現像方式印画 1954年
写真	大辻清司 陳列窓	ゼラチン・シルバー・プリント 1955年
写真	田沼武能 真知子巻きでお使い、東京・佃島	ゼラチン・シルバー・プリント 1955年

写真	鋤田正義 母	ゼラチン・シルバー・プリント 1958年
写真	長野重一 5時のサラーマン 東京丸の内(トリム・エイジ)より	ゼラチン・シルバー・プリント 1959年
写真	石元泰博 シカゴ 子供(シカゴ・シカゴ)より	ゼラチン・シルバー・プリント 1958-61年
写真	川田喜久治 日の丸〈地図〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1960年
写真	杵島隆 恋人たち	発色現像方式印画 1961年頃
写真	細江英公 薔薇刑 #32	ゼラチン・シルバー・プリント 1961年
写真	緑川洋一 瀬戸内海・島と灯台	発色現像方式印画 1962年頃
写真	芳賀日出男 正月と盆 横手万歳	ゼラチン・シルバー・プリント 1962年
写真	富山治夫 過密〈現代語感〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1964年
写真	白旗史朗 冬の晨 箱根姥子	ゼラチン・シルバー・プリント 1965年
写真	高梨豊 〈東京人〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1965年
写真	立木義浩 〈舌出し天使〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1965年
写真	桑原史成 “生ける人形”とも言われた少女(水俣)より	ゼラチン・シルバー・プリント 1966年
写真	坂田栄一郎 〈Just Wait〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1966年
写真	篠山紀信 〈誕生〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1967年
写真	土門拳 弥勒堂釈迦如来坐像左半面相(室生寺)より	ゼラチン・シルバー・プリント 1967年
写真	広田尚敬 C57 動輪 秋田・土崎	ゼラチン・シルバー・プリント 1967年
写真	小川隆之 〈New York Is〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1968年
写真	久保田博二 沖縄	ゼラチン・シルバー・プリント 1969年
写真	土田ヒロミ 愛知 一色黒沢〈俗神〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1969年
写真	荒木経惟 〈センチメンタルな旅〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1971年
写真	沢渡朔 〈NADIA〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1971年
写真	十文字美信 Untitled〈首なし〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1971年
写真	鈴木清 女、川崎〈流れの歌〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1971年

写真	東松照明 波照間島	ゼラチン・シルバー・プリント 1971年
写真	森山大道 三沢の犬	ゼラチン・シルバー・プリント 1971年
写真	田村彰英 YOKOHAMA〈午後〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1972年
写真	奈良原一高 アメリカ・インディアン村の二つの ゴミ缶(消滅した時間)より	ゼラチン・シルバー・プリント 1972年
写真	森永純 福岡県能古島〈波-海〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1972年
写真	有田泰而 First Born	ゼラチン・シルバー・プリント 1973年
写真	木之下晃 Alfred Brendel〈世界の音楽家〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1974年
写真	原直久 レ・アール市場跡〈Paris〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1974年
写真	江成常夫 スラムのアパートの三人家族 7ストリート, 東111 番地 New York(ニューヨークの百家族)より	ゼラチン・シルバー・プリント 1975年
写真	倉田精二 池袋・光町大橋近く 東京・池袋〈FLASH UP〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1975年
写真	杉山守 ベンジンボトル〈STILL LIFE〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1975年
写真	秋山亮二 〈津軽 聊爾先生行状記〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1976年
写真	北井一夫 長崎・平戸〈村へ〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1972年(リズ発表年:1976年)
写真	操上和美 海を見る〈陽と骨〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1976年
写真	須田一政 山形・銀山温泉〈風姿花伝〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1976年
写真	南川三治郎 ジョアン・ミロ(アトリエの巨匠たち)より	発色現像方式印画 1976年
写真	石内都 絶唱・横須賀ストーリー	ゼラチン・シルバー・プリント 1977年
写真	牛腸茂雄 〈SELF AND OTHERS〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1977年
写真	深瀬昌久 鴉 金沢〈鴉〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1977年
写真	前田真三 麦秋鮮烈	ダイ・トランスファー・プリント 1977年
写真	中村征夫 海軍コマンドに憑かれた男たち	発色現像方式印画 1978年
写真	山崎博 〈HELIOGRAPHY〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1978年
写真	北島敬三 新宿二丁目のゲイボーイ(東京 1979)より	ゼラチン・シルバー・プリント 1979年
写真	水越武 天に登る光跡 カラコルム、パキスタン	ゼラチン・シルバー・プリント 1979年

写真	入江泰吉 斑鳩の里落陽 法隆寺塔	発色現像方式印画 1980年頃
写真	大西みつぐ 根津〈Wonderland 1980~1989〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1980年
写真	鳥尾伸三 〈生活〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1980年
写真	普後均 「暗転」シリーズより	ゼラチン・シルバー・プリント 1980年
写真	ハービー山口 GALAXY, London	ゼラチン・シルバー・プリント 1981年
写真	伊藤義彦 Imagery 72-82011, 1982	ゼラチン・シルバー・プリント 1982年
写真	山沢栄子 What I'm doing #24 (What I'm doing)より	発色現像方式印画 1982年
写真	清家富夫 〈Portrait of ZOE〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1983年
写真	長倉洋海 一人、山上で本を読む戦士 マスード アフガニスタン	発色現像方式印画 1983年
写真	築地仁 写真像 #55 〈写真像〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1984年
写真	水谷章人 〈白銀の閃光〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1984年
写真	宮本隆司 解体中の有楽座、日比谷映画劇場から 三信ビルを見る 〈建築の黙示録〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1984年
写真	伊奈英次 在日沖縄米軍楚辺通信所(ZONE)より	発色現像方式印画 1986年
写真	上田義彦 Robert Mapplethorpe	ゼラチン・シルバー・プリント 1986年
写真	三好耕三 本荘(Picture Show 傍観)より	ゼラチン・シルバー・プリント 1986年
写真	竹内敏信 ファイヤーカーテン 三原山	発色現像方式印画 1986年
写真	広川泰士 sonomama sonomama #26	ゼラチン・シルバー・プリント 1985年(シリーズ発表年:1987年)
写真	星野道夫 夕暮れの河を渡るカブー	発色現像方式印画 1988年頃
写真	今道子 タコ+メロン	ゼラチン・シルバー・プリント 1989年
写真	柴田敏雄 新潟県北魚沼郡湯之谷村(日本典型)より	ゼラチン・シルバー・プリント 1989年
写真	田中光常 オウサマベンギン サウスジョージア島	発色現像方式印画 1992年
写真	齋藤亮一 スズグリ ロシア共和国 (NOSTALGIA)より	ゼラチン・シルバー・プリント 1993年
写真	潮田登久子 東京 世田谷 〈冷蔵庫/Ice Box〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1994年
写真	瀬戸正人 渋谷 〈Silent Mode〉より	ゼラチン・シルバー・プリント 1995年

写真	野町和嘉 ライトル・カドルの礼拝 メッカ	発色現像方式印画 1995年
写真	秋山庄太郎 薔薇	発色現像方式印画 1996年頃
写真	佐藤時啓 光一呼吸#275 Koto-ku Aomi	ゼラチン・シルバー・プリント 1996年
写真	白岡順 フランス、ニーム 1999年7月13日	ゼラチン・シルバー・プリント 1999年
写真	鬼海弘雄 歳の祝いの日(PERSONA)より	ゼラチン・シルバー・プリント 2001年

展示室5 ミニマル／マキシマル

絵画	アド・ラインハート No.114	1950年
絵画	アグネス・マーティン Untitled #3	寄託作品 1991年
絵画	山田正亮 株式会社カサハラ画廊寄贈 2013年度 新収蔵作品 Work C.33	1960年
彫刻・立体	袴田京太郎 ハルガ	2013年度 新収蔵作品 2008-09年
彫刻・立体	袴田京太郎 Inner Hulga	2013年度 新収蔵作品 2011年
絵画	フランク・ステラ リヴァー・オヴ・ボンズ IV	1969年
彫刻・立体	戸谷成雄 地霊I	1990年
絵画	山村國晶 Work 91-2	作者寄贈 1991年
絵画	山村國晶 Work 91-21	作者寄贈 1991年
絵画	山村國晶 Work 91-32	作者寄贈 1991年
素描	真島直子 地ごく楽2003-2	2003年
写真	澤田知子 ID400 (#201-300)	寄託作品 1998年
絵画	斎藤吾朗 描けば描くほど	味岡源太郎氏寄贈 2002年
絵画	吉川家永 方式 '68-16	作者寄贈 1968年
彫刻・立体	湯原和夫 作品No. 4 - 68	作者寄贈 1968年
絵画	モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61年
絵画	デヴィッド・シャピロ マントラ12	磯山都子氏寄贈 1992年
絵画	デヴィッド・シャピロ マントラ6	磯山都子氏寄贈 1992年

絵画	デヴィッド・シャピロ マントラ24	磯山都子氏寄贈 1993年
彫刻・立体	桑山忠明 untitled	2001年
絵画	桑山忠明 茶白青	1968年
彫刻・立体	伊藤公象 木の肉・土の刃 II (a)	1993年
彫刻・立体	伊藤公象 木の肉・土の刃 II (b)	作者寄贈 1993年

展示室6 APMoA Project, ARCH vol.11 末永史尚「ミュージアムピース」

絵画	末永史尚 ピクチャーフレーム	作者蔵 2014年
絵画	末永史尚 ピクチャーフレーム	作者蔵 2014年
絵画	末永史尚 ピクチャーフレーム	作者蔵 2014年
絵画	末永史尚 ピクチャーフレーム	作者蔵 2014年
絵画	末永史尚 ピクチャーフレーム	作者蔵 2014年
絵画	末永史尚 ピクチャーフレーム	作者蔵 2014年
絵画	末永史尚 ピクチャーフレーム	作者蔵 2014年
絵画	末永史尚 ピクチャーフレーム	作者蔵 2014年
絵画	末永史尚 ピクチャーフレーム	作者蔵 2014年
絵画	末永史尚 ピクチャーフレーム	作者蔵 2014年
絵画	末永史尚 表装	作者蔵 2014年
絵画	末永史尚 ピクチャーフレーム	作者蔵 2014年
絵画	末永史尚 図録の束	作者蔵 2014年
絵画	末永史尚 A5判の雑誌	作者蔵 2014年
絵画	末永史尚 段ボール箱	See Saw gallery + cafe 蔵 2013年
絵画	末永史尚 スポットライト	作者蔵 2014年
絵画	末永史尚 キャプション (15点組)	作者蔵 2014年

前室2 木村定三コレクション 掛軸 ―表具の美―

資料	表具裂	木村定三コレクション M2878
絵画	熊谷守一 鯨に虻	木村定三コレクション M196 1939 (昭和14) 年

絵画	竹内栖鳳 炎暑	木村定三コレクション M1880 1930（昭和5）年
絵画	土田麦僊 揚巻	木村定三コレクション M1964 1935（昭和10）年頃
絵画	岡田東虎 立美人図	木村定三コレクション M2012 江戸時代 18世紀後半-19世紀前半
絵画	酒井抱一 鳴子に雀図	木村定三コレクション M2005 江戸時代 19世紀前半
絵画	英 一蝶 王子喬図	木村定三コレクション M1904 江戸時代 18世紀前半
絵画	浦上玉堂 雲山模糊図	木村定三コレクション M1769 江戸時代 19世紀初頭
絵画	呉春 蛙図扇面	木村定三コレクション M2032 江戸時代 18世紀末-19世紀初頭
絵画	与謝蕪村 紫陽花にほとどぎす図	木村定三コレクション 江戸時代 18世紀後半
絵画	末永史尚 表装	作者蔵 APMoA Project, ARCH 2014年

展示室7 新収蔵 志賀理江子「螺旋海岸」

写真	志賀理江子 昏睡	2013年度 新収蔵作品 2012年
写真	志賀理江子 いまださめぬ	2013年度 新収蔵作品 2010年
写真	志賀理江子 誘導灯	2013年度 新収蔵作品 2012年
写真	志賀理江子 二つの星	2013年度 新収蔵作品 2012年
写真	志賀理江子 私には角が生えた	2013年度 新収蔵作品 2012年
写真	志賀理江子 私	2013年度 新収蔵作品 2012年
写真	志賀理江子 螺旋海岸14	2013年度 新収蔵作品 2012年
写真	志賀理江子 宇宙人だった1	2013年度 新収蔵作品 2012年
写真	志賀理江子 349243	2013年度 新収蔵作品 2012年
写真	志賀理江子 朝いきなり死んだ	2013年度 新収蔵作品 2011年

写真	志賀理江子 シロツメクサ	2013年度 新収蔵作品 2012年
写真	志賀理江子 62359	2013年度 新収蔵作品 2011年
写真	志賀理江子 一匹のオオカミ	2013年度 新収蔵作品 2011年
写真	志賀理江子 クジラのこども2	2013年度 新収蔵作品 2012年
写真	志賀理江子 肉は肉、魚は魚	2013年度 新収蔵作品 2010年
写真	志賀理江子 ヤマツツジ食べながら帰った	2013年度 新収蔵作品 2010年
写真	志賀理江子 葬儀	2013年度 新収蔵作品 2009年
写真	志賀理江子 ちよこちゃん、ちよこちゃん	2013年度 新収蔵作品 2010年
写真	志賀理江子 開墾の肖像	2013年度 新収蔵作品 2009年
写真	志賀理江子 螺旋海岸34	2013年度 新収蔵作品 2010年
写真	志賀理江子 兄ちゃんの春	2013年度 新収蔵作品 2012年
写真	志賀理江子 ばけものと暮した	2013年度 新収蔵作品 2012年
写真	志賀理江子 螺旋海岸45	2013年度 新収蔵作品 2012年
写真	志賀理江子 さようなら	2013年度 新収蔵作品 2012年
写真	志賀理江子 螺旋海岸46	2013年度 新収蔵作品 2011年

展示室8 20世紀の美術

絵画	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	(株) 東海銀行寄贈 1902年
絵画	アンリ・マティス 待つ	中部電力(株) 寄贈 1921-22年
絵画	エドゥワール・ヴェイヤール 窓辺の女	1898年
絵画	ピエール・ラブラード バルコニー	制作年不詳

絵画	アルベール・マルケ ノートルダムの後陣	1902年
絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物	1912年
絵画	グスタフ・クリムト 人生は戦いなり（黄金の騎士）	トヨタ自動車株式会社からの寄附金による購入 1903年
絵画	エミール・ノルデ 静物L（アマゾン、能面等）	1915年
絵画	マックス・エルンスト ポーランドの騎士	1954年
絵画	ジョアン・ミロ 絵画	1925年

ロビー

彫刻・立体	ふじい忠一 Untitled	2013年度 新収蔵作品 作者寄贈
彫刻・立体	ふじい忠一 Untitled	2013年度 新収蔵作品 作者寄贈
イラスト	末永史尚 掲示	作者蔵 APMoA Project, ARCH 2013年

ビデオテーク

映像	牧野貴 Generator	愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品第21弾 2011年
----	------------------	-----------------------------------

10階屋上庭園（レストラン脇）

彫刻・立体	アルナルド・ポモドーロ 飛躍の瞬間	財団法人日本宝くじ協会寄贈 1984年
-------	----------------------	------------------------

屋外展示スペースI（12階屋上）

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
彫刻・立体	加藤昭男 大地	1986年
彫刻・立体	小田 襄 円柱の構造	1988年

屋外展示スペースII（10階）

彫刻・立体	今井瑾郎 大地	1992年
-------	------------	-------

2014年度第4期コレクション展展示作品リスト〔2014年10月9日(木)–2015年1月12日(月)〕

展示室5では、西洋の20世紀の作品を展示した。また、同室の最後のセクションでは、新収蔵の原裕治作品をまじえて、原裕治と戸谷成雄という愛知ゆかりの二人の彫刻家の仕事の特集した。展示室7では、40歳未満で早世した日本近代の画家や彫刻家たちの作品を紹介した。展示室8では、木村定三コレクションから茶釜を中心とする茶道具を展示し、担当学芸員が茶釜のペーパークラフトを作成するという工夫も加え親しみやすく紹介した。

展示室5 20世紀の美術

彫刻・立体	メダルド・ロソ 病める子	展示期間：2014年12月16日～2015年1月12日 1893年
絵画	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	(株) 東海銀行寄贈 1902年
絵画	アメデオ・モディリアーニ カリアティード	1911-13年
版画	アルブレヒト・デューラー 騎士と死と悪魔	2013年度 新収蔵 1513年
絵画	グスタフ・クリムト 人生は戦いなり(黄金の騎士)	トヨタ自動車株式会社からの寄附金による購入 1903年
版画	(不詳) 第6回ウィーン分離派展ポスター	2013年度 新収蔵作品 1900年頃
版画	オスカー・ココシユカ 夢みる少年たち 表紙カット	1907年(1908年刊行)
版画	オスカー・ココシユカ 夢みる少年たち 口絵	1907年(1908年刊行)
版画	オスカー・ココシユカ 夢みる少年たち 眠れる女	1907年(1908年刊行)
版画	オスカー・ココシユカ 夢みる少年たち 帆船	1907年(1908年刊行)
版画	オスカー・ココシユカ 夢みる少年たち 船乗りが呼ばれる	1907年(1908年刊行)
版画	オスカー・ココシユカ 夢みる少年たち 遠い島	1907年(1908年刊行)
版画	オスカー・ココシユカ 夢みる少年たち 語るうふたり	1907年(1908年刊行)
版画	オスカー・ココシユカ 夢みる少年たち 眠れる人びと	1907年(1908年刊行)
版画	オスカー・ココシユカ 夢みる少年たち 目覚める人びと	1907年(1908年刊行)
版画	オスカー・ココシユカ 夢みる少年たち 少女りと僕	1907年(1908年刊行)
彫刻・立体	ケーテ・コルヴィッツ 恋人たちII	1913年 (1973年頃鑄造)
彫刻・立体	ヴィルヘルム・レームブルック 立ち上がる青年	1913年
彫刻・立体	エルンスト・バルラッハ 忘我	1911-12年
絵画	エミール・ノルデ 静物L (アマゾン、能面等)	1915年

絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物	1912年
絵画	パウル・クレー 女の館	1921年
絵画	マックス・エルンスト ポーランドの騎士	1954年
絵画	ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海I	1927年
版画	ヴィルヘルム・レームブルック 母と子 (幻影II)	1913年
絵画	サム・フランシス 消失に向かう地点の青	1958年
絵画	アド・ラインハート No.114	1950年
絵画	モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61年
素描	ロバート・ラウシェンバーク コース	1958年
絵画	アンディ・ウォーホル レディース・アンド・ジェントルメン	1975年
彫刻・立体	原裕治 マンデリオン No. 2	2013年度 新収蔵作品 1997/2007年
絵画	原裕治 アポクリファ No. 1	1994年
絵画	原裕治 アポクリファ No. 2	作者寄贈 1994年
彫刻・立体	戸谷成雄 森化III	寄託作品 2003年
彫刻・立体	戸谷成雄 森	1992年

展示室6 APMoA Project, ARCH vol.12 占部史人「7つの夜の海」

イラストレーション	占部史人 7つの夜の海	作者蔵 2014年
-----------	----------------	--------------

展示室7 夭折の画家たち

絵画	関根正二 チューリップ	寄託作品 1918年
絵画	佐伯祐三 自画像	1917年
絵画	岸田劉生 斎藤与里氏像	1913年

絵画	中村彝 少女裸像	1914年
絵画	岸田劉生 高須光治君之肖像	1915年
絵画	前田寛治 褐衣婦人像	1925年
絵画	松下春雄 女と子	1932年
絵画	佐分真 印度の女	1930年
絵画	松下春雄 二人のポーズ	1933年
絵画	佐分真 ステッキの老人	1932年
版画	田中恭吉 そここのみかがやくひかり『月映II』より	1914年
版画	田中恭吉 冬蟲夏草『月映III』より	1914年
版画	田中恭吉 埋葬の日『月映IV』より	1915年
素描	村山槐多 信州風景	1914-15年頃
版画	藤牧義夫 まくら橋	1934年
版画	藤牧義夫 銀行	1933年
彫刻・立体	荻原守衛 女の胴	1907年 (1993年鑄造)
彫刻・立体	中原悌二郎 憩える女	1919年

展示室8 木村定三コレクション 茶釜

工芸	木村定三コレクション M1155 手取釜 室町～桃山時代 (16世紀)
工芸	木村定三コレクション M1153 十牛図霰釜 室町時代 (15-16世紀)
工芸	木村定三コレクション M1149 梅樹竹虎図釜 室町末～桃山時代 (16世紀)
工芸	木村定三コレクション M1158 肩霰松竹図真形釜 桃山時代 (16-17世紀)
工芸	木村定三コレクション M1156 梅網干図釜 桃山時代 (16-17世紀)

工芸	木村定三コレクション M1166 肩衝霰釜 桃山～江戸時代初期 (16-17世紀)
工芸	木村定三コレクション M1248 大耳釜 桃山時代 (16世紀)
工芸	木村定三コレクション M1165 阿弥陀堂釜 桃山時代 (16-17世紀)
工芸	木村定三コレクション M1247 四方釜 桃山～江戸時代前期 (17世紀)
工芸	木村定三コレクション M1160 富士釜 江戸時代前期 (17世紀)
工芸	木村定三コレクション M1162 月形釜 江戸時代前期 (17世紀)
工芸	木村定三コレクション M1154 富士形釜 桃山時代 (16-17世紀)
工芸	木村定三コレクション M1249 雲龍釜 江戸時代 (17-18世紀)
工芸	木村定三コレクション M2488 千利休 茶杓 桃山時代 (16世紀)
工芸	木村定三コレクション M2487 瀬田掃部 茶杓 桃山時代 (16世紀)
工芸	木村定三コレクション M2834 杉木普斎 茶杓 銘「カマキリ」 江戸時代前期(17世紀)
工芸	木村定三コレクション M2491 杉木普斎 茶杓 銘「水仙」 江戸時代前期(17世紀)
工芸	木村定三コレクション M2486 杉木普斎 茶杓 銘「カチカチ山」 江戸時代前期(17世紀)
工芸	木村定三コレクション M2489 原叟宗左 (覚々斎) 茶杓 銘「亀齢」 江戸時代中期(18世紀)
工芸	木村定三コレクション M2835 天然宗左 (如心斎) 茶杓 銘「ヨコ笛」 江戸時代中期(18世紀)

工芸	木村定三コレクション M2490 久田宗也 茶杓 銘「寒山拾得」 江戸時代中期(18世紀)
----	--

前室2

素描	占部史人 作者蔵 APMoA Project, ARCH 割れた製塩土器 2014年
----	---

素描	占部史人 作者蔵 APMoA Project, ARCH 航海図 (7つの夜の海) 2014年
----	--

素描	占部史人 作者蔵 APMoA Project, ARCH 夜の海 2014年
----	---

彫刻・立体	占部史人 作者蔵 APMoA Project, ARCH 高床の家 2013年
-------	--

絵画	中西夏之 寄託作品 韻 1959年
----	----------------------

絵画	中西夏之 2013年度 新収蔵作品 韻 1960年
----	------------------------------

彫刻・立体	工藤哲巳 無限の糸の中のマルセル・デュシャンプログラム された未来と記録された記憶の間での瞑想 1977年
-------	--

彫刻・立体	佐藤丑蔵 木村定三コレクション M1613 こけし 1943年
-------	------------------------------------

彫刻・立体	佐藤秀一 木村定三コレクション M1613 こけし 1941年
-------	------------------------------------

彫刻・立体	佐藤友晴 木村定三コレクション M1613 こけし 制作年不詳
-------	------------------------------------

彫刻・立体	青野文昭 平成25年度 新収蔵作品 なおす・代用・合体・侵入(震災後宮古で 収集した衣料店床面/テーブル)2011 2011年
-------	---

ロビー

彫刻・立体	オーギュスト・ロダン 展示期間: 2014年12月16日 ～2015年1月12日 歩く人 1900年
-------	--

彫刻・立体	エミール=アントワーン=ブルデル 展示期間: 2014年12月16日 ～2015年1月12日 ペネロープ 1909年
-------	--

彫刻・立体	エミール=アントワーン=ブルデル 展示期間: 2014年12月16日 ～2015年1月12日 自由 1916年
-------	---

ビデオテーク

映像	ダニエル・シュミット 愛知芸術文化センター オリジナル映像作品第4弾 KAZUO OHNO 1995年
----	---

10階屋上庭園 (レストラン脇)

彫刻・立体	アルナルド・ポモドーロ 財団法人日本宝くじ協会寄贈 飛躍の瞬間 1984年
-------	--

屋外展示スペースI (12階屋上)

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女 1983年
-------	----------------------------

彫刻・立体	加藤昭男 大地 1986年
-------	------------------

彫刻・立体	小田 襄 円柱の構造 1988年
-------	---------------------

屋外展示スペースII (10階)

彫刻・立体	今井瑾郎 大地 1992年
-------	------------------

12階アートスペースロビー

彫刻・立体	舟越保武 花を持つ少女 1966年
-------	----------------------

2014年度第5期コレクション展展示作品リスト〔2015年2月3日(火)ー4月5日(日)〕

展示室4では、現代における「グロテスク」な表現を見せるさまざまな作品を紹介した。展示室5では、西洋の20世紀の名品を紹介した。展示室7及び前室2では、鬼頭鍋三郎の新収蔵の作品15点と既収蔵の5点を合わせて特集展示した。展示室8では、木村定三コレクションから新年や春の訪れを寿ぐ時節にちなみ、鶴亀や龍・鳳凰などの吉祥文様や、七福神や雛人形など「おめでたい」モチーフの佳品を紹介した。

前室1			絵画	アンリ・マティス 待つ	中部電力(株) 寄贈 1921-22年	彫刻・立体	ジョージ・シーガル ロバート&エセル・スカルの肖像	1965年
絵画	エドワード・ジョン・ポインター 世界の若かりし頃	1891年	絵画	エミール・ノルデ 静物L(アマゾン、能面等)	1915年	彫刻・立体	ジム・ダイン 芝刈機	1962年
絵画	山本芳翠 月下の裸婦	1882-86年頃	絵画	グスタフ・クリムト 人生は戦いなり(黄金の騎士)	トヨタ自動車株式会社からの寄附金による購入 1903年	素描	クリスト 包まれた旧ドイツ帝国国会議事堂、 ベルリンのためのプロジェクト	1986年
展示室4 グロテスク・モデルヌ			絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物	1912年	展示室6 APMoA Project, ARCH vol.13 伊東宣明「アート」		
版画	パウル・クレー 喜劇役者(インヴェンション4)	1904年	彫刻・立体	ヴァイルヘルム・レームブルック 立ち上がる青年	1913年	映像	伊東宣明 アート	作者蔵 2015年
絵画	パウル・クレー 回心した女の墮落	1939年	絵画	ピエール・ボナール にぎやかな風景	1913年頃	展示室7 新収蔵 鬼頭鍋三郎		
絵画	岸田劉生 鯨坊主	豊田市美術館蔵 1922年	絵画	ジャック・ヴィヨン 存在	1920年	絵画	鬼頭鍋三郎 青年像/画家の像	2013年度 新収蔵作品 鬼頭伊佐郎氏寄贈 1923年
絵画	北川民次 メキシコ三童女	1937年	絵画	フランティシェク・クプカ 灰色と金色の展開	1919年	絵画	鬼頭鍋三郎 閑日前庭図	2013年度 新収蔵作品 鬼頭伊佐郎氏寄贈 1925年
絵画	福沢一郎 餓鬼のわるだくみ	1972年	絵画	ポール・デルヴォー こだま(あるいは「街路の神秘」)	1943年	絵画	鬼頭鍋三郎 アコーディオンを持つ女	2013年度 新収蔵作品 鬼頭伊佐郎氏寄贈 1926年頃
絵画	坂本夏子 Painters	2009年	絵画	マックス・エルンスト ポーランドの騎士	1954年	絵画	鬼頭鍋三郎 静物	2013年度 新収蔵作品 鬼頭伊佐郎氏寄贈 1926年頃
絵画	山田強一 現代餓鬼草子 太郎と花子 No.3	大竹勇氏寄贈 1969年	絵画	ジョアン・ミロ 絵画	1925年	絵画	鬼頭鍋三郎 風景	2013年度 新収蔵作品 鬼頭伊佐郎氏寄贈 1926年頃
水彩画	谷川晃一 ベリカン反射	1965年	絵画	フェルナン・レジェ 緑の背景のコンポジション(葉のあるコンポジション)	カニエプロバン株式会社からの寄附金による購入 1931年	絵画	鬼頭鍋三郎 窓際の静物	2013年度 新収蔵作品 鬼頭伊佐郎氏寄贈 1928年
素描	池田龍雄 家来もしくは忠誠	1956年	絵画	サム・フランシス 消失に向かう地点の青	1958年	絵画	鬼頭鍋三郎 手鏡を持つ裸婦	2013年度 新収蔵作品 1930年
素描	池田龍雄 顔	1956年	絵画	アド・ラインハート No.114	1950年	絵画	鬼頭鍋三郎 黄衣の半裸婦	2013年度 新収蔵作品 鬼頭伊佐郎氏寄贈 1931年
素描	近藤文雄 M氏の肖像	1966年	絵画	ニコラ・ド・スタール コンポジション	1948年	絵画	鬼頭鍋三郎 秋果	2013年度 新収蔵作品 鬼頭伊佐郎氏寄贈 1931-32年
素描	近藤文雄 さらしもの(3)	1964年	絵画	アントニ・タピエス コンポジション	1977年	絵画	鬼頭鍋三郎 男	2013年度 新収蔵作品 鬼頭伊佐郎氏寄贈 1932年
日本画	中村正義 おねえちゃん	1968年	絵画	モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61年	絵画	鬼頭鍋三郎 新聞を読む女	2013年度 新収蔵作品 鬼頭伊佐郎氏寄贈 1937-38年
彫刻・立体	浜田知明 情報過多の人間	木村定三コレクション M168 1984年	絵画	アンディ・ウォーホル レディース・アンド・ジェントルメン	1975年	絵画	鬼頭鍋三郎 浴後	作者寄贈 1938年
展示室5 20世紀の美術			版画	シェパード・フェアリイ Power, HPM	寄託作品 2011-12年	絵画	鬼頭鍋三郎 室内	作者寄贈 1948年
絵画	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	(株) 東海銀行寄贈 1902年	版画	ロバート・ラウシェンバーグ プレヴェュー(白霜エディション)	ギャルリーユマニテ寄贈 1974年	絵画	鬼頭鍋三郎 マドモアゼル M	1954年
絵画	ラウル・デュフィ サンタドレスの浜辺	1906年	彫刻・立体	イヴ・クライン アルマン	1962年	絵画	鬼頭鍋三郎 黒衣のM嬢	2013年度 新収蔵作品 鬼頭伊佐郎氏寄贈 1954年

絵画	鬼頭鍋三郎 巴里の街	2013年度 新収蔵作品 鬼頭伊佐郎氏寄贈	1954年
絵画	鬼頭鍋三郎 シャルトル	2013年度 新収蔵作品 鬼頭伊佐郎氏寄贈	1954年

展示室8 木村定三コレクション めでたきもの

工芸	青木木米 交趾釉龍鳳凰文三足香炉	木村定三コレクション M1527	江戸時代(19世紀)
日本画	山本梅逸 蓬萊山水図	木村定三コレクション M1806	1837 (天保8) 年
日本画	伊藤若冲 菊に双鶴図	木村定三コレクション M2028	江戸時代中期 (18世紀後半)
工芸	白磁亀水滴	木村定三コレクション M2331	朝鮮時代 (18-19世紀)
日本画	英一蝶 旭日鶴図	木村定三コレクション M1906	江戸時代前期・中期(18世紀前半)
日本画	平福百穂 老松・秋菊	木村定三コレクション M1743	1926-30年頃
日本画	白隠慧鶴 寿老人図	木村定三コレクション M1986	江戸時代中期 (18世紀)
日本画	白隠慧鶴 布袋図	木村定三コレクション M1989	江戸時代中期 (18世紀)
日本画	伊藤若冲 伏見人形図	木村定三コレクション M2030	江戸時代中期(18世紀後半)
日本画	富岡鉄斎 大國大神神影	木村定三コレクション M1776	1924年
日本画	吉川靈華 宝船	木村定三コレクション M1876	1928年頃
工芸	黄瀬戸七福神宝船香合	木村定三コレクション M1516	江戸時代(19世紀)

日本画	富田溪仙 西王母像	木村定三コレクション M1951	制作年不詳
日本画	幸野楳嶺 南天鶴図	木村定三コレクション M1996	1892年頃
日本画	渡辺清 乙御前図	木村定三コレクション M2168	江戸時代後期 (19世紀前半)
日本画	渡辺清 玩具尽くし図	木村定三コレクション M2167	1859 (安政6) 年
日本画	青木蒲堂 雛人形図	木村定三コレクション M1755	1859 (安政6) 年
工芸	堆朱模牡丹文香合	木村定三コレクション M1396	江戸時代前期(17世紀)
工芸	三彩寿老人角鉢	木村定三コレクション M1604	江戸時代 (19世紀)
工芸	永楽保全 色絵吉祥文茶碗	木村定三コレクション M788	1843(天保14)-1848(弘化4)年

前室2

映像	伊東宣明 芸術家 (模範)	作者蔵 APMoA Project, ARCH	2014年
絵画	中西夏之 K.T像・オレンヂドア	作者寄贈 2013年度 新収蔵作品	1966年
絵画	中西夏之 K.T像・グリーンドア III	作者寄贈 2013年度 新収蔵作品	1966年
彫刻・立体	工藤哲巳 無限の糸の中のマルセル・デュシャン—プログラムされた未来と記録された記憶の間での瞑想		1977年
彫刻・立体	加納光於 アララットの船あるいは空の蜜 (Ep.2)	寄託作品	1971/72年
彫刻・立体	ジャーコモ・マンズー 踊りのステップ	株式会社名鉄総合企業寄贈	1953年

絵画	鬼頭鍋三郎 機銃分隊習作	2013年度 新収蔵作品 鬼頭伊佐郎氏寄贈	1942年
絵画	鬼頭鍋三郎 二人のパレリーナ	作者寄贈	1952年
絵画	鬼頭鍋三郎 春装譜	作者寄贈	1965年

ビデオテーク

映像	森田浩彰 Clockwise		2008年
----	-------------------	--	-------

10階屋上庭園 (レストラン脇)

彫刻・立体	アルナルド・ポモドーロ 飛躍の瞬間	財団法人日本宝くじ協会寄贈	1984年
-------	----------------------	---------------	-------

屋外展示スペースI (12階屋上)

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女		1983年
彫刻・立体	加藤昭男 大地		1986年
彫刻・立体	小田 襄 円柱の構造		1988年

屋外展示スペースII (10階)

彫刻・立体	今井瑾郎 大地		1992年
-------	------------	--	-------

12階アートスペースロビー

彫刻・立体	舟越保武 花を持つ少女		1966年
-------	----------------	--	-------

コレクション企画

「あなたのリアル、わたしのリアル。」

会 期：2014年6月20日（金）－7月21日（月・祝）

会 場：愛知県美術館 展示室1－3

担当学芸員：大島徹也

内 容：「リアル」とは何かという問題をさまざまな角度から所蔵作品を通して考察した。

入 場 者 数：6,731人（28日間）・・・1日平均240.4人

記念講演会：6/28（土）13：30－15：00 86名

講 師：村松 和明氏（岡崎市美術博物館 学芸員）

演 題：「どちらがリアル？リアリズムとシュルレアリスム」

展示説明会：（ギャラリートーク）：

6/21（土）11：00－11：40 32名

6/27（金）18：30－19：10 22名

友の会特別鑑賞会：

6/26（木）10：30－12：00 26名

17：30－19：00 52名



特集展示

「日本の写真史を飾った写真家の「私の1枚」 —フジフィルム・フォトコレクションによる—」

会 期：2014年8月1日－9月28日

会 場：愛知県美術館 展示室4

内 容：企画展「これからの写真」に合わせて、富士フィルム株式会社蔵の日本の写真作品を展示した。



APMoA Project, ARCH

この事業の大きな特徴として、愛知県美術館の学芸員と作家が展覧会を行う点があげられる。それを通して、美術館が作家の表現活動をサポートするだけでなく、企画全体が作家、美術館、鑑賞者の架け橋となることが意図されている。プロジェクト名「ARCH」とは、こうした思いが込められたものである。

また、作家の選択については、各学芸員が当館で今、取り上げるべき作家を推薦し、それを美術館全体で議論して決定するかたちをとる。そのため、本企画は、作家、学芸員、画廊等にとって大きな刺激となり、中部圏における現代美術の交流、発信に寄与するものと期待される。

vol.9 山内崇嗣「くるみの部屋」

会 期：2014年4月17日（木）－6月8日（日）

会 場：展示室6ほか

主 催：愛知県美術館

担当学芸員：副田一穂

内容と結果：山内崇嗣（1975年、石川県生まれ）は、1998年武蔵野美術大学油絵学科卒業後、灰塚アースワークプロジェクトやオペラシティアートギャラリーでのproject N、VOCA2008など、東京を拠点にしつつ各地で活躍している。

山内は明治期の洋画における西洋的な技法と描かれる日本の文物との齟齬について継続的に関心を寄せており、特に脂派的なマチエールを自分の制作にも意識的に用いながら、それをアナクロニスティックに抽象的な表現へと接続している。本企画では、胡桃という山内が近年リサーチしているテーマ（美術史的な重要性があるわけではない、恣意的な対象）に即して、胡桃にまつわるペインティングから工芸品、調査記録、子どもの絵、標本や書籍、くるみパンのような食物に至るまで、胡桃のヴンダーカンマーを展示室内に展開した。山内の試みは、美術館における作品収集への一種の批評でもあり、また美術史への一種の批評でもあるが、同時に自然科学的な関心に基づいた調査の端的な成果でもある。胡桃をめぐるサイクルのなかに、鑑賞者自身も組み込まれながら、展示室外の身近な自然へと目を向けるように誘われる。また、コレクション展の各所に、くるみに関連する作品や脂派的な日本近代洋画を配し、本企画とあわせて有機的に展示を体験できるよう試みた。

会場においては、特に子どもを含む幅広い層の鑑賞者が楽しむ姿が見られ、領域越境的な山内の試みがいわゆる美術ファンという枠を超えて広く伝わった手ごたえを感じさせた。

パンフレット：

B4判 二つ折り4ページ（2,000部）+B5判
2ページ（挟み込み）

テキスト：副田一穂「誤解と恣意性の美術史」

山内崇嗣「くるみの暮らしと生き物

愛知県 東谷山地図」

デザイン：伊藤敦志（AIRS）

展示風景撮影：林育正

発行：愛知県美術館

関連事業：

○アーティスト・トーク&記念座談会「くるみ会議」

日 時：2014年4月26日（土）15：00～17：00

会 場：愛知芸術文化センター12階アートスペースEF

登壇者：北山克己（守山リス研究会会長）、

川端健夫（木工）、山内崇嗣（本展作家）

司 会：副田一穂

参加者数：16名

○山内崇嗣「日本の洋風美術についてのタベ」

日 時：2014年6月7日（土）18：00～21：00

会 場：長者町プラットフォーム

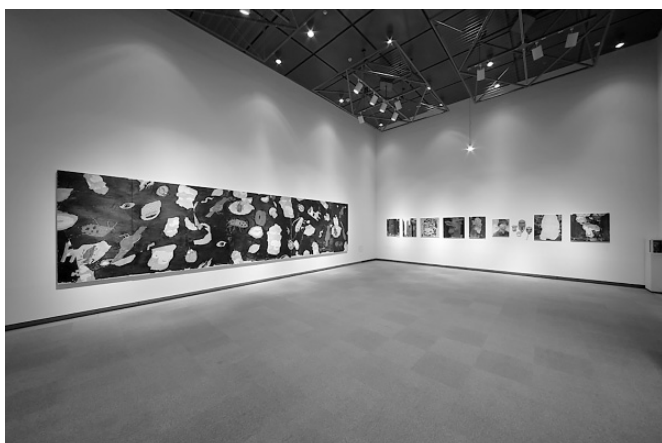
講 師：山内崇嗣

進 行：副田一穂

主 催：長者町アートアニュアル

参加者数：30名

関連記事：牧野俊吾「REVIEW APMoA Project, ARCH vol.9 山内崇嗣「くるみの部屋」」『芸術批評誌REAR』32号、2014年8月



展示風景



アーティスト・トーク & 記念座談会

vol.10 丹羽康博「詩としての行為」

会 期：2014年6月20日（金）－7月21日（月・祝）

会 場：展示室6ほか

主 催：愛知県美術館

担当学芸員：中西園子

内容と結果：大学では彫刻科に身を置きつつ、詩や哲学に関心をもち続けてきた丹羽は、作品の形式に拘ることなく、日常生活あるいは美術作品の鑑賞における認識について問いかけるような作品を制作してきた。様々なかたちで実現されつつも、言葉を作品の重要な要素とする丹羽の作品は、一見1960年代後半以降のコンセプチュアル・アートを思わせるが、美術制度への批判が核にあった歴史的なそれとは異なっている。そのテーマは、自らの行為や認識そのものへの挑戦に向けられており、「美術」の枠を越え出ていく可能性をはらむ。本展は、〈詩としての彫刻〉シリーズから新作に至るまでの作品を通して、丹羽というアーティストの振る舞いに触れ、そこから人間の行為や認識について思考を巡らせる場を作り出すことを目指した。

愛知県立芸術大学大学院の修了制作であった〈詩としての彫刻〉シリーズ（2007-2009）から、展示空間を活用した新作のインスタレーションまで、様々なタイプの作品を展示することにより、作家の関心を多角的に紹介した。展覧会はメディアの関心も惹きつけ、複数の新聞で取り上げられた。また、アーティスト・トークにも多くの人が集まり、作家への関心の高さがうかがえた。ARCHでは珍しいコンセプチュアルなスタイルの作家であったが、展示作品のコンセプトや作家の姿勢が伝わった手応えを感じることができた。

パンフレット：

B4判 二つ折り4ページ（2,000部）

テキスト：中西園子「丹羽康博とレディ・メイドとしての自然」

デザイン：小島久弥（こじませいさくしよ）

展示風景撮影：小寺克彦

発行：愛知県美術館

関連事業：

○アーティスト・トーク（作家による展示説明会）

日 時：2014年7月5日（土）14：00～15：30

会 場：愛知芸術文化センター12階アートスペースEF

作 家：丹羽康博

参加者数：38名

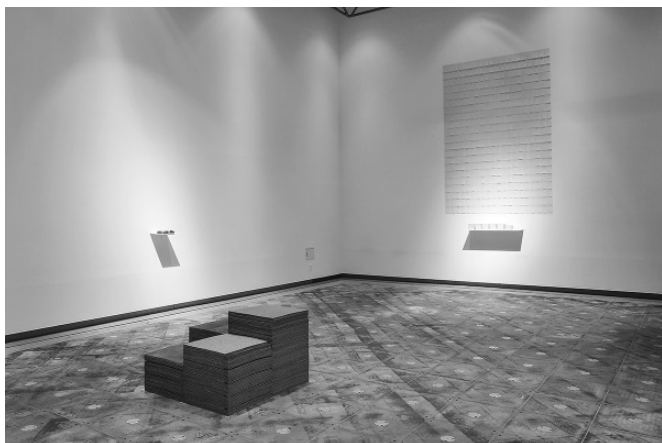
関連記事：

高橋綾子「創：丹羽康博『詩としての行為』」『朝日新聞』2014年6月25日朝刊

宮川まどか「美術：丹羽康博一詩としての行為」『中日新聞』2014年7月2日朝刊

小田香緒里「独自のアート 名古屋で個展」『岐阜新聞』2014年7月12日朝刊

都筑正敏「APMoA Project, ARCH vol.10 丹羽康博『詩としての行為』」『REAR』33号、2014年、p.135。



展示風景



アーティスト・トーク

vol.11 末永史尚「ミュージアムピース」

会 期：2014年8月1日（金） - 9月28日（日）

会 場：展示室6ほか

主 催：愛知県美術館

協 力：See Saw gallery + cafe

担当学芸員：副田一穂

内容と結果：末永史尚（1974年、山口県生まれ）は、1999年東京造形大学絵画専攻卒業後、東京を拠点に精力的に作品の発表を行っており、また並行して、自身の制作のためのスタジオ「Remasta. (リマスタ)」を用いて、他の作家を紹介する展示を不定期に開催している。

末永の関心は一貫して、印刷物や映像等を通して得られる絵画体験を、自らの絵画制作にフィードバックすることで、イメージの「見え」について反省的に考察する、という点に向けられている。本展のために描かれた新作は、愛知県美術館が所蔵する複数の絵画作品を、それぞれ額縁を含めたサイズでキャンバスに写し取るというものだが、そこでは本来注目すべき作品の画面がモノクロームの色面に変換され、単純化された額縁だけが再現されている。

本企画とゆるやかに連動するかたちで、前室2では木村定三コレクションから表装に着目した特集展示を、また展示室8では末永が取材した作品を中心にセレクトしたモダンマスターの展示を展開した。また、ロビーのポスター掲示板を用いて、末永のポスター形式の作品を展開した。このように、コレクション展全体を連動させるかたちで、作品およびその鑑賞が成立するための、さまざまな物理的基盤や条件を鑑賞者がおのずと理解できるような仕掛けを生み出すことに成功した。紙面での展評は得られなかったが、ウェブ上では多数の好意的な反応が得られた。

パンフレット：

B4判 二つ折り4ページ (2,000部)

テキスト：副田一穂「額縁考」

デザイン：川村格夫

展示風景撮影：城戸保

発行：愛知県美術館

関連事業：

○アーティスト・トーク（作家による展示説明会）

日 時：2014年9月13日（土）13：30～15：00

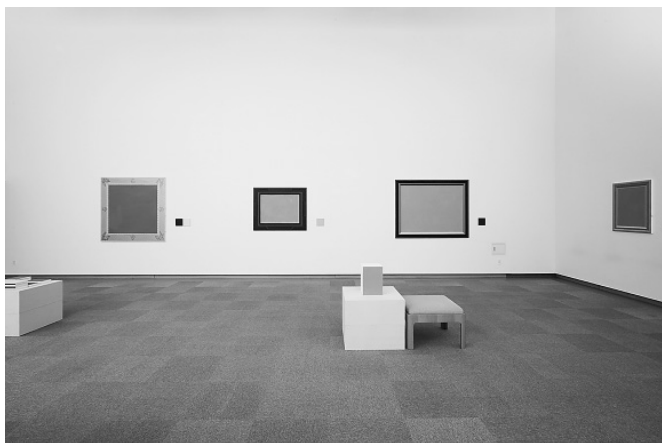
会 場：愛知芸術文化センター12階アートスペースEF

作 家：末永史尚

参加者数：25名

関連記事：村田真「artscapeレビュー：末永史尚「ミュージアムピース」」 artscape、2014年10月15日号

(http://artscape.jp/report/review/10104097_1735.html)



展示風景



展示風景

vol. 12 占部史人「7つの夜の海」

会 期：2014年10月9日（金） - 2015年1月12日（日）

会 場：展示室6ほか

主 催：愛知県美術館

担当学芸員：塩津青夏

内容と結果：占部史人は、海に浮かぶ「島」を作り出し、その想像力によって美術館の展示室を海の風景へと変化させるようなインスタレーション作品を発表した。

その海に浮かぶのは流木で作られた「舟」で、どこか遠くの場所から流れてきたその流木は、占部の手によって、かつて私たちの祖先が乗っていたであろう舟をイメージした形を与えられている。そして舟はまさに流木で出来ているために、彼の手を離れて、いずれは作品としての形を失い、朽ち果てていくものであることをほのめかしている。占部の海は、ほとんど無限に長い時間の中にある海である。あらゆるものが「誰のものでもなくなる」ことを仮定し、あらゆるものが「誰のものでもなかった」ことを想起させるその態度は、近代的な合理主義の考え方ではなく、東洋の仏教的な世界観に沿うものである。

まさに展示室を海の風景に見立てるようにして鑑賞することが可能なこの作品は、現代美術の愛好者だけでなく、子どもや一般の美術ファンの来館者も強く惹きつけるものとなった。

パンフレット：

B4判 二つ折り4ページ (2,000部)

テキスト：塩津青夏「7つの夜の海への案内」

デザイン：平井秀和 (Peace Graphics)

展示風景撮影：怡土鉄夫、瀧岡健太郎

発行：愛知県美術館

関連事業：

○アーティスト・トーク（作家による展示説明会）

日 時：2014年11月9日（土）14：30～15：30

会 場：愛知芸術文化センター12階アートスペースEF

作 家：塩津青夏

参加者数：25名

関連記事：

[匿名]「next arts 通信」APMoA Project, ARCH vol. 12 占部史人「7つの夜の海」『名古屋シネマテーク通信』No. 390、2015年1月号。

宮川まどか「占部史人「7つの夜の海」」『中日新聞』2015年1月7日朝刊。

井上隆生「東海の陶芸展「七つの夜の海 占部史人展」」『陶説』第744巻、2015年3月号。



展示風景



展示風景

vol.13 伊東宣明「アート」

会 期：2015年2月3日（火）－4月5日（日）

会 場：展示室6ほか

主 催：愛知県美術館

担当学芸員：中村史子

内容と結果：伊東宣明（1981年、奈良生まれ）は主に映像を用いて、生と死、身体と精神、そして表現行為の本質など、人間として表現者にとって極めて根源的な問題を扱う若手作家である。しかし、作品の多くは往々にして諧謔性やユーモアに満ちており、重いテーマを表現として消化させる独特の力をもった作家である。

ARCHのために作られた新作《アート》（2015年）は、作家自身が愛知県美術館を含む日本各地の美術に関連のある場所で自分自身の姿を撮影し、それを繋げて作った動画の作品である。次々と場所を変えながらカメラに向かって語り続ける伊東の姿は、SNSに投稿される自撮り写真（セルフィー）や、YouTubeなどに投稿されるアマチュア動画等を彷彿とさせる。そして、この動画の中で伊東が語るのは「アートとは何か」という大きな問いである。しかし、彼のたたみかけるような口調は、この問題に捉われた人間のおかしみを逆説的に浮かび上がらせるようにも見える。また、そこで語られている事自体も、伊東の本心なのか、それとも一種の芸術観のパロディなのか、判然としない。

インターネットを介して膨張、拡大する承認欲求と、アートの本質を追求する近代的な芸術家像。それら二つを自ら担い作家としてカメラの前に立った本作は、非常に見る者の感情を揺さぶる側面があったものと思われる。アートとは何か、という疑問を鑑賞者がそれぞれ鑑賞後に持ち帰ったのであれば幸いである。なお、本作は愛知県美術館での発表の後、イメージフォーラムフェスティバル2015への招待作品となった。



展示風景

パンフレット：

B4判 二つ折り4ページ（2,000部）+B5判
2ページ（挟み込み）

テキスト：中村史子「殉教か、道化か」

デザイン：伊藤敦志（AIRS）

発行：愛知県美術館

関連事業：

○アーティスト・トーク

日 時：2015年2月22日（日）14：00～15：30

会 場：愛知芸術文化センター12階アートスペースEF

登壇者：伊東宣明（本展作家）

司 会：中村史子

参加者数：30名

○伊東宣明《芸術家》上映会

日 時：2015年2月22日（日）19：00～20：30

会 場：バルル

講 師：伊東宣明

進 行：中村史子

主 催：バルル

参加者数：40名

関連記事：

- ・宮川まどか「伊東宣明展 レビュー」『中日新聞』朝刊、2015年3月4日
- ・天野一夫「APMoA Project, ARCH vol.13 伊東宣明『アート』」『REAR』35号、2015年
- ・五十嵐太郎レビュー、artscape, 2015年3月15日号、(http://artscape.jp/report/review/10108085_1735.html)
- ・中井康之「『伊東宣明《アート》』「てくてく現代美術世界一周」「京都市立芸術大学作品展」」artscape, 2015年4月15日号、(http://artscape.jp/report/curator/10088446_1634.html)



作品より抜粋

移動美術館

名称：愛知県美術館・愛知県陶磁美術館 平成26年度 移動美術館

「夏のおもいで—えがかれた景色とどうぶつたち」

会期：2014年7月19日（土）～7月21日（月・祝） 3日間

会場：茶白山 高原の美術館

主催：愛知県美術館、愛知県陶磁美術館、一般財団法人 茶白山高原協会、豊根村、豊根村教育委員会

担当：藤島美菜（愛知県美術館）
長久智子（愛知県陶磁美術館）

休館日：なし

観覧料：無料

出品点数：愛知県美術館（油彩画4点、水彩・素描3点、版画7点、計14点）

愛知県陶磁美術館（陶磁器8点）

入場者数：272人（1日平均90人）

内容と結果：

愛知県美術館では、1994（平成6）年度から年に1度、県内各地で移動美術館を開催している。

豊根村は県内で最も遠隔地であり、移動美術館の主旨にふさわしい場所での開催となった。豊根村は、夏には避暑地として観光客が訪れる地でもあることから、展示作品は、夏休みの時期に合わせたテーマで構成した。会場となった美術館は、山の植物や動物の写真を常設していたが、全スペースを移動美術

館として使用した。結果的に、従来の展示方法とは異なる美術館スペースの活用の仕方を見せることにもなり、今後の活動を考慮する上において、美術館運営側にもまた村民にも好評であった。3日間という短期間での開催であったが、村民のほか観光客の来館もあり、一日平均90人の来館者を記録した。



関連事業：展示説明会（ギャラリートーク）

場所：茶白山 高原の美術館

日時：7月19日（土）11：00～

講師：村田眞宏（愛知県美術館館長）

参加人数：30人



愛知県美術館・愛知県陶磁美術館 平成26年度 移動美術館「夏のおもいで—えがかれた景色とどうぶつたち」 出品リスト

	作者	作品名	技法・材質	制作年	寸法 (cm)	所蔵
1	黒田清輝 (1866-1924)	花と猫	油彩、画布	1906年	60.6×45.1	愛知県美術館
2	伊藤康 (1898-1983)	エトルタ風景	油彩、画布	1928-30年	45.5×60.7	愛知県美術館
3	大沢鉦一郎 (1893-1973)	女子海水浴下絵I	墨、紙	1932年	58.5×76.0	愛知県美術館
4	北川民次 (1894-1989)	牛	木版、紙	1937年頃	8.0×11.0	愛知県美術館
5	熊谷守一 (1880-1977)	百日草	油彩、画布	1958年	31.8×41.0	愛知県美術館 (木村定三コレクション)
6	小林研三 (1924-2001)	『小林研三 銅版画集 小さな旅』	エッチング、手彩色、紙	1970年	7.1×10.1 他	愛知県美術館 (木村定三コレクション)
7	北川民次 (1894-1989)	太ったバツ	エッチング、紙	1971年	14.3×17.8	愛知県美術館
8	小林研三 (1924-2001)	鳥のとまる木	油彩、画布	1972年	45.5×53.0	愛知県美術館 (木村定三コレクション)
9	尾崎良二 (1934-)	旦の小舟 (志摩)	水彩、エンピツ、クレヨン	1975年	64.5×49.8	愛知県美術館 (木村定三コレクション)
10	鬼頭鍋三郎 (1899-1982)	祇園祭の頃『版画集 舞妓六撰』	木版、紙	1976年	39.0×33.2	愛知県美術館
11	井上公三 (1937-)	かもめ	シルクスクリーン、紙	1980年	37.2×53.3	愛知県美術館 (木村定三コレクション)
12	斎藤吾朗 (1947-)	鉤万燈 (貝吹町長門寺山)『版画集 西尾のまつり』	シルクスクリーン、紙	1982年	31.5×40.7	愛知県美術館
13	斎藤吾朗 (1947-)	万燈流し (米津町矢作川)『版画集 西尾のまつり』	シルクスクリーン、紙	1982年	31.5×40.7	愛知県美術館
14	須田剋太 (1906-1990)	甲子園高校野球	グアッシュ、コンテ、コラーージュ、紙	1988年	54.0×67.0	愛知県美術館 (木村定三コレクション)
	作者	作品名	制作地	制作年	最大寸 (cm)	所蔵
1	濱田庄司 (1894-1978)	鉄絵さとうきび文壺	益子	1935-44年頃	高36.1	愛知県陶磁美術館
2	石黒宗麿 (1893-1968)	黒釉野牛文皿	京都	1949年頃	口径32.3	愛知県陶磁美術館 (川崎音三氏寄贈)
3	河井寛次郎 (1890-1966)	花卉文黄釉辰砂扁壺	京都	1950-59年頃	高22.0	愛知県陶磁美術館
4	塚本快示 (1912-1990)	白瓷牡丹文輪花鉢	土岐	1978-81年頃	口径24.0	愛知県陶磁美術館
5	宮下善爾 (1939-2012)	遙	京都	1988年	高54.0	個人蔵 (愛知県陶磁美術館寄託)
6	三浦小平二 (1933-2006)	青磁飾り壺《アフガン 水汲み》	東京	1992年	高24.5	愛知県陶磁美術館 (三浦竹子氏寄贈)
7	加藤卓男 (1917-2005)	ラスター彩 山の実蝶文陶筒	多治見	1994年	胴径26.8	愛知県陶磁美術館
8	宮下善爾 (1939-2012)	翔風 II	京都	2001年	高62.0	個人蔵 (愛知県陶磁美術館寄託)

サテライト展示

名称：「愛知県美術館サテライト展示 創作のヒミツ」

会場：大口町歴史民俗資料館

会期：2014年7月19日（土）～9月15日（月・祝）

主催：大口町歴史民俗資料館

休館日：毎週月曜・火曜日（祝日開館）

観覧料：無料

出品点数：所蔵作品10点

入場者数：1,200人

番号	作家名	作品名	制作年
1	山田純嗣	SURFACE	2008年
2	森田浩彰	CLOCKWISE	2005-08年
3	設楽知昭	ドーム画	2003年
4	設楽知昭	ドーム	2003年
5	白髪一雄	作品	1963年
6	浅野弥衛	作品（フロッタージュ）	1983年
7	染谷亜里可	Decolor Level 3	2001年
8	多和圭三	泉－想	2002年
9	北山善夫	言葉が輝く時	1987年
10	クリスト	包まれた旧ドイツ帝国国会議事堂、ベルリンのためのプロジェクト	1986年



展示風景

名称：「愛知県美術館サテライト展示『愛知曼陀羅 東松照明の世界』」

会場：田原市博物館

会期：2014年7月19日（土）～8月31日（日）

主催：田原市博物館

休館日：毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）

観覧料：無料

出品点数：所蔵作品 25点

入場者数：1,695人

番号	作家名	作品名	制作年
1	東松照明	傷痕軍人・名古屋2	1951年
2	東松照明	水害と日本人・一色2	1953年
3	東松照明	水害と日本人・一色4	1953年
4	東松照明	水害と日本人・一色5	1953年
5	東松照明	水害と日本人・一色9	1953年
6	東松照明	水害と日本人・一色10	1953年
7	東松照明	水害と日本人・一色15	1954年
8	東松照明	潮騒・神島1	1957年
9	東松照明	潮騒・神島4	1957年
10	東松照明	潮騒・神島5	1957年
11	東松照明	潮騒・神島7	1957年
12	東松照明	潮騒・神島8	1957年
13	東松照明	潮騒・神島11	1957年
14	東松照明	潮騒・神島13	1957年
15	東松照明	潮騒・神島15	1957年
16	東松照明	再建・名古屋城	1958年
17	東松照明	駅前・名古屋	1958年
18	東松照明	敗戦の記憶・豊川海軍工廠跡3	1959年
19	東松照明	敗戦の記憶・豊川海軍工廠跡7	1959年
20	東松照明	水害と日本人・名古屋2	1959年
21	東松照明	水害と日本人・名古屋4	1959年
22	東松照明	石油コンビナート・四日市4	1960年
23	東松照明	東名高速道路・浜名湖周辺	1967年
24	東松照明	農家・渥美半島	1968年
25	東松照明	バス停・渥美半島	1968年



展示風景

愛知県陶磁美術館における長期展示

2008年以降、愛知県陶磁美術館常設展で長期展示を行っている。2014年は、17点を公開した。

入場者数：1066人

番号		
1	楽長次郎	黒茶碗銘苔志水（木村定三コレクション）
2	美濃	志野茶碗銘鵬（木村定三コレクション）
3	漳州窯	呉州染付花文花入（木村定三コレクション）
4	太田垣蓮月	亀香合（木村定三コレクション）
5		肩霰菊花散真形釜（木村定三コレクション）
6		車軸形釜（木村定三コレクション）
7		霰線口丸釜（木村定三コレクション）
8	信楽	信楽三足水指（木村定三コレクション）
9	朝鮮半島	釘彫伊羅保茶碗（木村定三コレクション）
10	七世如心斎宗左	赤茶碗銘陽鳥（木村定三コレクション）
11	七世如心斎宗左	黒茶碗銘蔵六（木村定三コレクション）
12	クメール	灰釉建水銘撃竹一声（木村定三コレクション）
13	瀬戸	染付龍竹の節蓋置（木村定三コレクション）
14		炉縁澤栗滝本坊伝来（木村定三コレクション）
15	漳州窯	呉須赤絵甲鉢（木村定三コレクション）
16	ベトナム	安南染付蜻蛉文輪花鉢（木村定三コレクション）
17		白釉輪花鉢（木村定三コレクション）

2 企画展

企画展の入場者数（1992年度から2014年度・展覧会別）

年度	展覧会タイトル	会期	日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)	
92年度	フォーヴィスムと日本近代洋画	92/10/30	92/12/20	45	41,343	919
	近代の日本画－西洋との出会いと対話	93/01/05	93/02/11	33	26,166	793
	20世紀 愛知の美術	93/02/19	93/03/21	27	11,585	429
	年度合計			105	79,094	753
93年度	パウル・クレーの芸術	93/04/02	93/05/23	45	103,239	2,294
	小川芋銭展	93/06/04	93/07/04	27	26,106	967
	現代の陶芸1950-1990展	93/07/16	93/08/22	33	13,153	399
	安田靉彦展	93/09/03	93/10/17	39	43,003	1,103
	リール市美術館所蔵－バロック・ロココの絵画	93/10/29	94/01/16	63	47,042	747
	戸張孤雁と大正期の彫刻	94/01/25	94/03/06	36	7,996	222
	色彩の宇宙 クプカ展	94/03/18	94/05/08	45	33,652	748
	年度合計			288	274,191	952
	累 計			393	353,285	899
94年度	杉本健吉展	94/05/14	94/06/02	17	19,568	1,151
	シカゴ美術館展－近代絵画の100年－	94/06/10	94/07/24	38	89,204	2,348
	レジェ展	94/08/05	94/09/11	33	22,793	691
	聖なるかたち 後期ゴシックの木彫と板絵－アーヘン市立ズエルモント＝ルードヴィヒ美術館所蔵	94/09/23	94/11/03	37	27,976	756
	没後20年 香月泰男展	94/11/18	95/01/16	46	27,164	591
	アンドリュー・ワイエス展－アメリカの郷愁 心の風景を描く	95/02/03	95/04/02	51	120,177	2,356
	年度合計			222	306,882	1,382
	累 計			615	660,167	1,073
95年度	ウィーンのジャポニスム	95/04/11	95/05/14	30	27,803	927
	フランツ・ゲルチュ	95/05/26	95/07/02	33	22,392	679
	還流－日韓現代美術展	95/07/14	95/09/03	45	25,072	557
	ウィンザー城王立図書館所蔵 レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図	95/09/15	95/10/15	27	68,439	2,535
	表現主義彫刻	95/10/27	96/01/15	64	12,428	194
	リチャード・マイヤーとフランク・ステラ－建築と絵画の接点	96/02/02	96/04/07	57	16,599	291
年度合計			256	172,733	675	
	累 計			871	832,900	956
96年度	大英博物館所蔵イタリア素描展	96/04/19	96/05/26	33	30,973	939
	抽象表現主義展－アメリカ黄金期の絵画	96/07/26	96/09/16	46	19,005	413
	富岡鉄斎展－理想郷を語る	96/09/27	96/11/10	39	25,680	659
	北川民次展－愛と人間をえがく	96/11/22	97/01/26	51	28,789	565
	カンディンスキーとミュンター 愛と創造の日々 1901-1917	97/02/08	97/03/16	32	22,891	715
	没後50年 ボナール展	97/03/28	97/05/18	45	54,094	1,202
年度合計			246	181,432	738	
	累 計			1,117	1,014,332	908
97年度	理智と幻想のシュルレアリスト 北脇 昇展	97/05/30	97/07/13	39	15,951	409
	モダンデザインの父 ウィリアム・モリス展	97/07/25	97/08/31	33	54,835	1,662
	20世紀美術の冒険－セザンヌ、ファン・ゴッホから現在まで－アムステルダム市立美術館コレクション展	97/09/12	97/11/03	46	31,750	690
	イタリア美術 1945-1995－見えるものと見えないもの	97/11/14	98/01/15	48	16,739	349
	近代美術の100年－愛知県美術館コレクションの精華－	98/01/30	98/03/08	33	17,985	545
	川合玉堂展－めぐりゆく季節－	98/03/20	98/05/05	41	70,936	1,730
年度合計			240	208,196	868	
	累 計			1,357	1,222,528	901
98年度	久野真・庄司達展－鉄の絵画と布の彫刻－	98/05/15	98/06/07	21	10,236	487
	ナイアガラの虹を越えて…オルブライト＝ノックス美術館展 名画への誘い	98/06/19	98/08/02	39	66,342	1,701
	生誕100年記念 佐伯祐三展	98/08/16	98/09/27	37	39,972	1,080
	アルトゥング	98/10/09	98/12/13	57	18,845	331
	没後50年 松本竣介	99/01/08	99/02/21	39	24,551	630
	ブッサンとラファエッロ 借用と創造の秘密	99/03/05	99/04/11	33	13,387	406
	年度合計			226	173,333	767
	累 計			1,583	1,395,861	882

年度	展覧会タイトル	会期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)
99年度	魔法の庭…詩とかたちのフーガ「ファウスト・メロッティ展」	99/04/23	99/06/13	45	13,614	303
	前田寛治の芸術 -詩情と造形-	99/07/02	99/08/22	45	14,851	330
	危機の時代と絵画 1930-1945	98/09/03	98/10/17	39	8,379	215
	生誕100年 関根正二展	99/10/29	99/12/12	39	22,719	583
	セザンヌ展	00/01/05	00/03/12	59	171,060	2,899
	年度合計			227	230,623	1,016
	累計			1,810	1,626,484	899
00年度	レンブラント・フェルメールとその時代 アムステルダム国立美術館所蔵17世紀オランダ美術展	00/04/07	00/06/18	63	104,226	1,654
	田中恭吉展	00/07/15	00/08/27	38	22,788	600
	加納光於展	00/09/15	00/11/05	45	11,606	258
	アメリカン・ドリームの世紀展	00/11/23	01/01/28	52	25,390	488
	岸田劉生展	01/02/09	01/04/01	45	38,752	861
	年度合計			243	202,762	834
	累計			2,053	1,829,246	891
01年度	メルツバッハー・コレクション展	01/04/13	01/05/27	39	47,245	1,211
	ロダンと日本	01/06/22	01/08/19	51	57,339	1,124
	バックミンスター・フラー展	01/09/14	01/11/04	45	10,962	244
	世界遺産 ポンペイ展	02/02/08	02/04/07	51	101,367	1,988
	年度合計			186	216,913	1,166
	累計			2,239	2,046,159	914
02年度	開館10周年記念 大英博物館所蔵フランス素描展	02/04/26	02/06/30	57	25,638	450
	開館10周年記念 韓国の色と光	02/07/26	02/09/23	52	10,652	205
	開館10周年記念 ミロ展	02/10/04	02/12/01	51	83,084	1,629
	開館10周年記念 中西夏之展	02/12/20	03/02/23	51	14,525	285
	年度合計			211	133,899	635
	累計			2,450	2,180,058	890
03年度	菱田春草展	03/04/11	03/05/18	33	53,578	1,624
	戸谷成雄 森の襲の行方	03/06/06	03/07/27	45	12,934	287
	レオン・スビリアルト	03/08/05	03/09/23	43	15,674	365
	空海と高野山	03/10/10	03/11/24	40	109,612	2,740
	中村彝の全貌	04/01/06	04/02/29	48	20,004	417
	年度合計			209	211,802	1,013
	累計			2,659	2,391,860	900
04年度	ベン・ニコルソン展	04/04/09	04/05/23	39	10,855	278
	野見山暁治展	04/06/04	04/07/19	40	7,310	183
	国吉康雄展	04/08/06	04/09/26	45	24,702	549
	木村定三コレクションによる熊谷守一展	04/10/08	04/12/05	51	17,555	344
	自然をめぐる千年の旅 山水から風景へ	05/03/11	05/05/08	51	63,052	1,236
	年度合計			226	123,474	546
	累計			2,885	2,515,334	872
05年度	アジアの潜在力 -海と島が育んだ美術-	05/05/24	05/07/10	42	8,109	193
	ゴッホ美術館、クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品による ゴッホ展 -孤高の画家の原風景-	05/07/26	05/09/25	54	423,745	7,847
	生誕100年記念 吉原治良展	05/12/16	06/02/26	57	12,651	222
	江戸絵画 -小世界を愉しむ- 木村定三コレクションの近世絵画	06/03/10	06/05/07	63	14,260	226
	年度合計			216	458,765	2,124
	累計			3,101	2,974,099	959
06年度	愛知曼陀羅-東松照明の原風景-	06/06/02	06/07/23	45	18,181	404
	愉しき家	06/08/04	06/10/01	51	13,831	271
	ベルシャ文明展	06/10/13	07/12/10	51	62,194	1,219
	ルソーの見た夢/ルソーに見る夢	06/12/20	07/02/12	42	35,389	842
	年度合計			189	129,595	685
	累計			3,290	3,103,694	943
07年度	プライスコレクション 若沖と江戸絵画	07/04/13	07/06/10	52	92,852	1,786
	20世紀美術の森	07/06/29	07/08/26	51	13,964	274
	サイクルとりサイクル	07/09/07	07/11/04	51	11,595	227
	ロートレック展	07/11/13	08/01/14	49	50,042	1,021
	年度合計			261	168,453	645
	累計			3,551	3,272,147	921

年度	展 覧 会 タ イ ト ル	会 期	日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)	
08年度	杉本健吉展	08/04/04	08/06/01	51	16,721	328
	誌上のユートピア -近代日本の絵画と美術雑誌 1889~1915-	08/06/14	08/07/27	38	9,545	251
	ライオネル・ファイニンガー	08/10/17	08/12/23	58	12,693	219
	アンドリュー・ワイエス 創造への道程	09/01/04	09/03/08	55	62,245	1,132
	年度合計			202	101,204	501
	累 計			3,753	3,373,351	898
09年度	アヴァンギャルド・チャイナ〈中国当代美術〉二十年	09/04/03	09/05/24	45	11,051	245
	生活と芸術 アーツ&クラフツ展 ウィリアム・モリスから民芸まで	09/06/12	09/08/16	57	35,338	619
	あいちトリエンナーレ2010 プレイベント 放課後のほらっば 櫃田伸也とその教え子たち	09/08/28	09/10/25	51	13,702	268
	日本の自画像 写真が描く戦後 1945~1964	09/11/06	09/12/13	33	10,580	320
	大ローマ展	10/01/06	10/03/22	65	128,496	1976
	年度合計			251	199,167	793
	累 計			4004	3,572,518	892
10年度	小川芋銭と珊瑚会の画家たち	10/04/09	10/05/23	39	8,607	220
	あいちトリエンナーレ2010	10/08/21	10/10/31	65	300,878	4,628
	レンバツハハウス美術館所蔵 カンディンスキーと青騎士	11/02/15	11/04/17	54	22,647	419
	年度合計			165	332,132	2,013
	累 計			4,169	3,904,650	937
11年度	麻生三郎	11/04/29	11/06/12	39	9,532	244
	棟方志功 祈りと旅	11/07/09	11/09/04	50	51,966	1,039
	島田章三展	11/09/16	11/10/30	39	10,881	279
	生誕100年 ジャクソン・ポロック展	11/11/11	12/01/22	58	42,531	733
	年度合計			186	114,910	618
	累 計			4,355	4,019,560	923
12年度	魔術/美術	12/04/13	12/06/24	63	26,637	423
	マックス・エルンストーフィギュア×スケープ	12/07/13	12/09/09	51	18,148	356
	生誕150年記念クリムト 黄金の騎士をめぐる物語	12/12/21	13/02/11	41	82,214	2,005
	円山応挙展	13/03/01	13/04/14	39	73,022	1,872
	年度合計			194	200,021	1,164
	累 計			4,549	4,219,581	1,043
13年度	ブーシキン美術館展	13/04/26	13/06/23	52	123,915	2,383
	あいちトレエンナーレ2013	13/08/10	13/10/27	72	175,672	2,440
	印象を超えて一点描の画家たち	14/02/25	14/04/06	39	78,666	2,017
	年度合計			163	378,253	6,840
	累 計			4,712	4,597,834	975
14年度	シャガール展	14/04/17	14/06/08	47	82,328	1,752
	これからの写真	14/08/01	14/09/28	51	16,440	322
	デュフィ展	14/10/09	14/12/07	52	39,068	751
	ロイヤル・アカデミー展	15/02/03	15/04/05	54	41,919	776
	年度合計			204	179,755	3,601
	累 計			4,916	4,777,589	972

企画展の開催状況(平成26(2014)年度)

シャガール展

- 会 期**：2014年4月17日(木)～6月8日(日)
- 主 催**：愛知県美術館、中日新聞社、北海道新聞社
- 後 援**：在日フランス大使館＝アンスティチュ・フランセ日本、愛知県・岐阜県・名古屋市各教育委員会
- 協 賛**：トヨタ自動車
- 特別協力**：メレット・メイヤー、マルク・シャガール国立美術館、マルク・シャガール国立美術館友の会、パリ国立オペラ座
- 担 当**：石崎尚、古田浩俊
- 休 館 日**：毎週月曜日(ただし、4月28日[月]、5月5日[月・祝]は開館)、5月7日(水)
- 観 覧 料**：一般1,400(1,200)円、高大生1,100(900)円
中学生以下無料
()内は前売り、及び20名以上の団体料金
- 出品点数**：242点
- 入 場 者 数**：82,328人
- 展覧会巡回先**：北海道立近代美術館
2013年6月29日～8月25日(118,449人)
宮城県美術館
2013年9月3日～10月27日(62,705人)
広島県立美術館
2013年11月3日～12月25日(55,340人)
静岡市美術館
2014年1月2日～3月30日(57,591人)

内容と結果：

これまで美術史的な研究の焦点が当てられてこなかったシャガールの晩年の作品、とりわけ公共事業に関連する作品群を特集した独創的な内容の企画展で、パリのシャガール美術館と



展示風景

シャガールの遺族が所蔵する作品を中心に、下絵やスケッチなど多数の作品を展示した。第二次世界大戦後には既に名声を得ていたシャガールが、新たなる領域に踏み込んだ劇場や礼拝堂に設置されるモニュメント作品、あるいは陶芸や彫刻、タピスリーなど、20世紀を代表する画家の多面的な活動を紹介した。

一般的に美術館の展覧会場で、下絵などを展示しながら大規模なモニュメント作品のスケール感を十全に伝えることは難しいが、愛知会場では特に他会場よりも大型の4面スクリーンで映像を上映することで、現地で見える臨場感を再現した。この映像上映はBGMの効果もあり、アンケートなどでも非常に好評を博した。

同時期にシャガール版画展を開催したメナード美術館との共同企画も行った。また「愛知県芸術劇場連携事業」として、朗読会、コンサートなどを開催した。

展覧会カタログ：

- A4変形(27.6 x 21.1cm) 362ページ
- 編集 北海道立近代美術館(柴勤、佐藤幸宏)
キュレーターズ(水野昌美、ユリス・エック＝コキール)
辺見海
- 制作 アベイズム
- 発行 北海道新聞社

関連事業：

- 1 記念講演会(参加人数120名)
場 所：アートスペースA(愛知芸術文化センター12階)
日 時：2014年4月19日(土)13:30-15:00
講 師：佐藤幸宏(北海道立文学館学芸主幹、本展企画者)
演 題：「シャガール—モニュメント作品を巡る旅」
- 2 スライドトーク(学芸員による展示説明会)
第1回(参加人数 62名)
場 所：アートスペースEF(愛知芸術文化センター12階)
日 時：2014年4月26日(土)11:00-11:40
講 師：古田浩俊(愛知県美術館企画業務課長)
第2回(参加人数 32名)
場 所：アートスペースEF(愛知芸術文化センター12階)
日 時：2014年5月9日(金)18:30-19:10
講 師：古田浩俊(愛知県美術館企画業務課長)
第3回(参加人数 58名)
場 所：アートスペースEF(愛知芸術文化センター12階)
日 時：2014年5月25日(日)11:00-11:40
講 師：古田浩俊(愛知県美術館企画業務課長)
- 3 友の会会員のための特別鑑賞会
場 所：アートスペースEF(愛知芸術文化センター12階)
日 時：2014年4月24日(木)

午前の部 10:00-11:30 (参加人数26名)

午後の部 17:30-19:00 (参加人数48名)

担当: 古田浩俊 (愛知県美術館企画業務課長)

4 先生方との鑑賞学習交流会 (参加人数50人)

日時: 2014年4月27日 (土) 13:30-15:00

主催: アートスペースEF (愛知芸術文化センター12階)

講師: 古田浩俊 (愛知県美術館企画業務課長)

5 メナード美術館との共同事業

(1) コラボ☆トーク

担当: 石崎尚 (愛知県美術館学芸員)、門田彩 (メナード美術館学芸員)

第1回 (参加人数65名)

場所: メナード美術館展示室

日時: 2014年5月17日 (土) 14:00-14:30

第2回 (参加人数40名)

場所: 愛知県美術館展示室

日時: 2014年5月24日 (土) 14:00-14:30

(2) スイーツタイムコンサート (参加人数310名)

シャガールラブソニー～色と音を感じて～

場所: 宗次ホール

日時: 2014年5月25日 (日) 13:30～

演奏者: 天野武子 (チェロ)

鈴木謙一郎、渡辺理恵子 (ピアノ)

解説: 石崎尚 (愛知県美術館学芸員)、

門田彩 (メナード美術館学芸員)

6 愛知県芸術劇場連携事業

(1) シャガールコンサート～パリ・オペラ座の天井画

(参加人数905名)

場所: 愛知県芸術劇場コンサートホール

日時: 2014年4月23日 (水) 18:45-20:30

出演: 時任康文 (名古屋フィルハーモニー交響楽団)、

井上さつき (音楽評論家)、石崎尚 (愛知県美術館学芸員)

(2) KITO Akira Brass Band!

～シャガール、クレズマー、色とりどりのうた

(参加人数254人)

場所: 愛知県芸術劇場小ホール

日時: 2014年5月14日 (水) 19:00-21:00

参加人数: 254人

(3) 朗読「語りと音で誘うシャガール」(144名)

場所: 愛知県美術館展示室

出演: 榎原忠美 (劇団クッセACT)、



橋本知久 (パフォーマー)

第1回 (参加人数123名) 日時: 2014年5月17日 (土)

第2回 (参加人数144名) 日時: 2014年5月22日 (木)

関連記事:

- ・石崎尚「多彩なシャガールを横断的に紹介」『AAC』Vol.79 2014年3月、pp.1-2
- ・戸川祐馬「シャガール 魅力解説」『中日新聞』朝刊 2014年4月20日
- ・石崎尚「シャガール展 (上) パリのオペラ座」『中日新聞』朝刊 2014年4月22日
- ・石崎尚「シャガール展 (中) ダヴィデの塔」『中日新聞』朝刊 2014年4月23日
- ・石崎尚「シャガール展 (下) 天蓋の花嫁」『中日新聞』朝刊 2014年4月24日
- ・宮川まどか「荘厳な色彩の調べ」『中日新聞』夕刊 2014年4月25日
- ・丹羽のり子「哀愁のメロディー 音色多彩」『朝日新聞』夕刊 2014年5月2日
- ・小川敦生「愛知県美術館「シャガール展」音楽から生まれた絵画が奏でる豊かな「響き」」『日本経済新聞社』web版 2014年5月27日
- ・(無記名)『中日新聞』朝刊 「シャガール展 入場者5万人」 2014年5月26日

これからの写真展

会 期：2014年8月1日（木）～9月28日（日）
主 催：愛知県美術館、朝日新聞社
後 援：愛知県・岐阜県・名古屋市各教育委員会、岐阜新聞・ぎふチャン
協 力：株式会社サンテック 国際照明株式会社 シーシーエス株式会社、セントラル画材株式会社
担 当：中村史子、塩津青夏
休 館 日：毎週月曜日（ただし、9月15日（月・祝）は開館）、9月16日（火）
観 覧 料：一般1,100（900）円、高大生800（600）円
中学生以下無料
（ ）内は前売り、及び20名以上の団体料金

出 品 点 数：約150点

入 場 者 数：16,440人（1日平均322人）

内容と結果：

国内外で活躍する写真家、芸術家9名の作品を個展形式で紹介する企画展。カメラで撮影され紙にプリントされた写真作品のみならず、ダゲレオタイプといった古典的な写真技法を用いた作品、写真の在り方を多角的に検証する立体作品、映像作品等を一堂に展示した。写真という言葉が特定の技術としての輪郭を失いつつある現在、写真概念がいかなる多義性をはらんでいるか、その一端を探ることができたものと考え。

また、具体的な展示の試みに関しては、2室の天井の高い空間から展示をスタートさせ、最後に映像作品を展示することで、メリハリのついた展示構成とした。さらに、各作家が1つの空間を使う個展形式とし、結果的に、新作、旧作のいずれであれ、作家の思いのこもった充実した展示空間となった。

ちなみに、名古屋のみで開催した企画展ということもあり、写真や現代アートに関心のある層が愛知県外からも多く来館した。また、通常と比べると年齢層が比較的若く、インターネットを介して展覧会について知った来館者も多くいたのが特徴的

であった。

なお、出展作家とは当然のこと、美術館、愛知芸術文化センターそして新聞社とも密な協議のもと、企画を実行した。そのため、一部の作品が、わいせつ物の陳列にあたり警察からの撤去指導が出るという不測の事態にも、最善の対処をすることができた。作家との協議や報道対応など、今後も今回の経験を活かしていきたい。

展覧会カタログ：

A4変形（18.3 x 26.5cm） 134ページ

編集 愛知県美術館（中村史子、塩津青夏）

発行 愛知県美術館、朝日新聞社

関連事業：

1 記念講演会

日 時：2014年8月2日（土）13：30～15：30

場 所：アトスペースA（愛知芸術文化センター12階）

タイトル：「表現と距離」

パネリスト：畠山直哉、鷹野隆大、田代一倫（本展出品作家）

司 会：中村史子（愛知県美術館学芸員）

参加人数：220名

2 ギャラリートーク（学芸員による展示説明会）

第1回

日 時：2014年8月9日（土）11：00～11：40

場 所：美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）

講 師：中村史子（愛知県美術館学芸員）

参加人数：20名

第2回

日 時：2014年9月6日（土）11：00～11：40

場 所：美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）

講 師：中村史子（愛知県美術館学芸員）

参加人数：20名

第3回

日 時：2014年9月12日（金）18：30～19：10

場 所：美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）

講 師：中村史子（愛知県美術館学芸員）

参加人数：30名

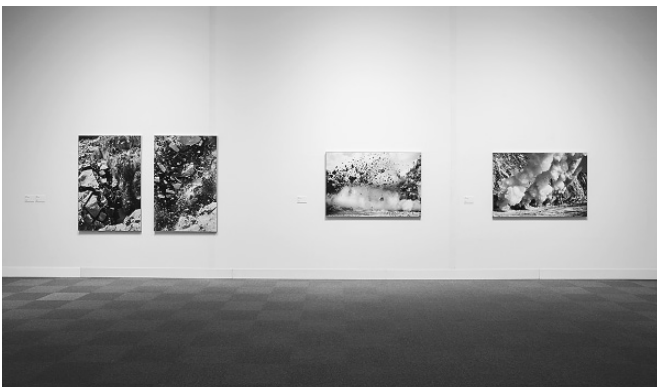
第4回

日 時：2014年9月13日（土）11：00～11：40

場 所：美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）

講 師：中村史子（愛知県美術館学芸員）

参加人数：30名



展示風景

3 友の会特別鑑賞会

日 時：2014年8月7日（木）

＜昼の部＞10：00-11：30

＜夜の部＞17：30-19：00

場 所：アートスペースE・F(愛知芸術文化センター12階)

講 師：中村史子(愛知県美術館学芸員)

参加人数：＜昼の部＞20人

＜夜の部＞30人

4 先生方との鑑賞学習交流会

日 時：2014年8月2日（土）10：30-11：10

場 所：アートスペースEF(愛知芸術文化センター12階)

講 師：中村史子(愛知県美術館学芸員)

参加人数：30人

関連記事：

新聞紙面

- ・楠本亜紀「表現 あたな地平」『朝日新聞』朝刊 2014年7月30日（木）
- ・（無記名）「芸術家と写真家 新たな表現探る」『朝日新聞』朝刊 2014年8月5日
- ・（無記名）「美術館展示写真 県警「わいせつ」」『朝日新聞』朝刊 2014年8月13日（水）
- ・和田憲二、山田泰生「男性ヌード写真 県警指導で覆う」『毎日新聞』夕刊 2014年8月13日（水）
- ・（無記名）「裸の写真「わいせつ」」『読売新聞』朝刊 2014年8月14日（木）
- ・（無記名）「展示品「わいせつ」 県警が撤去要請」『中日新聞』朝刊 2014年8月14日（木）
- ・（勝祐美子）「目耳録 東北の日常」『中日新聞』夕刊 2014年8月28日
- ・山田泰生「わいせつ判断に抗議署名」『毎日新聞』朝刊 2014年9月2日（火）
- ・（無記名）「撤去要請に有志抗議」『中日新聞』朝刊 2014年9月2日（火）
- ・（無記名）「美博ノート specious notion_09」『朝日新聞』夕刊 2014年9月3日（水）
- ・窪田直子「表現の豊かさを再認識」『日経新聞』朝刊 2014年9月3日（水）
- ・小林裕子 「「公権力介入」の跡を会場に」『朝日新聞 東海版』朝刊 2014年9月3日（水）*ほぼ同じ内容の記事が9月10日（水）の全国版、9月22日（月）の関西版にも掲載される。
- ・岸桂子、山田泰生「警察の「指導」も展示」『毎日新聞』夕刊 2014年9月4日（木）

これからの写真



新井卓 加納俊輔 川内倫子 木村友紀 鈴木崇 鹿野隆大 田代一倫
田村友一郎 高山直哉

光源は いくつもある

愛知県美術館
AICHI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

2014年
8月1日 金曜日
9月28日 日曜日

Photography 野田 邦

愛知県美術館
AICHI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

愛知県美術館
AICHI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

- ・Tomohiro Osaki, "Art with naked men veiled to parry censorship", *JAPANTIMES*, Sep.5, 2014
- ・（無記名）「美博ノート シリーズはまゆりの頃に」『朝日新聞』夕刊 2014年9月10日（水）
- ・（無記名）「美博ノート 上野町から掘り出された腕時計／長崎原爆資料館のための多焦点モニュメント、マケットNo.1」『朝日新聞』夕刊 2014年9月17日（水）
- ・出田阿生「抑圧社会 強まる懸念 権力介入の事実見せる」『東京新聞』朝刊 2014年9月24日（水）
- ・木下直之「時評 愛知県美術館の裸体写真」『静岡新聞』朝刊 2014年10月1日（水）
- ・西井淳「公の場 規制に賛否」『読売新聞』朝刊 2014年10月5日（日）
- ・（無記名）「芸術と展示 表現の幅、広く尊重を」『朝日新聞』朝刊 2014年10月5日（日）
- ・窪田直子「美術館に自主規制の波」『日本経済新聞』夕刊 2014年10月6日（月）
- ・杉藤貴浩、鈴木龍司、宮川まどか「警察介入、難しい芸術性判断」『中日新聞』朝刊 2014年10月7日（火）
- ・山田泰生「議会で「わいせつ」写真論戦」『毎日新聞』朝刊 2014年12月9日（火）

- ・大西若人「回顧平成26 不自由さを超えて」『朝日新聞』夕刊 2014年12月17日（水）
- ・（無記名）「検索の現代 表現の自由」『京都新聞』朝刊 2015年3月20日

定期刊行物

- ・島貫泰介「写真の未来が見えてくる？」『美術手帖』2014年8月号 美術出版社、pp.146-147
- ・「写真ではなくPhotographを撮っている」『AAC』vol.80、2014年夏号、愛知芸術文化センター、p.5
- ・土屋誠一「ポルノである、同時に、芸術でもある」『美術手帖』2014年10月号、美術出版社、pp.154-157
- ・「ホンマタカシの今日の写真」『アサヒカメラ』2014年10月号、朝日新聞出版、pp.205-209
- ・「流行写真通信」『COMMERCIAL PHOTO』2014年10月、玄光社、pp.96-97
- ・木下直之「股間著聞集」『芸術新潮』2015年1月号、新潮社、pp.84-91
- ・村田真宏・高橋秀治・中村史子「鷹野隆大作品の展示変更に関する経緯」
中村史子「褥としての鷹野隆大《おれと with KJ#2 (2007)》」『愛知県美術館研究紀要』第21号、2015年3月
- ・「諏訪敦×鷹野隆大」「木下直之インタビュー」『月刊アートコレクターズ』2015年5月号、pp.22-33
- ・「話題の写真2014」「2014写真ベスト3」「森本悟郎の展評8展」『日本写真年鑑2015』日本写真協会、2015年5月、pp.50-58, p.163, p165, p179

ウェブサイト

- ・新井卓「愛知県美「これからの写真」展 愛知県警の介入に抗議します」TAKASHI ARAI PHOTOGRAPHY JOURNAL、2014年8月13日（水）配信
- ・駒井憲嗣「撤去しなければ検挙するといわれ、やむなく展示変更となった愛知県美術館展示について写真家・鷹野隆大さんに聞く」webDICE 2014年8月17日（日）配信
- ・「愛知県美術館における鷹野隆大の作品展示について」YUMIKO CHIBA ASSOCIATES、2014年8月22日（金）配信
- ・能勢陽子「学芸員レポート これからの写真」artscape 2014年9月1日号
- ・飯沢耕太郎レビューartscape、2014年9月15日号
- ・浅田彰「前谷開一カプセルホテルの穴居人」REALKYOTO 2014年10月7日
- ・影山虎徹「更新されゆくもの、流動と生成—愛知県美術館「こ

- れからの写真」展のあとに」NEONEO、2014年10月12日
- ・村田真レビューartscape、2014年10月15日号
- ・五十嵐太郎レビューartscape、2014年10月15日号
- ・福住廉「美術の展開平成26（3）」artscape、2014年11月1日号
- ・遠藤みゆき「写真の展開平成26」artscape、2015年4月1日号

デュフィ展

会 期：2014年10月9日（木）～12月7日（日）
主 催：愛知県美術館、中日新聞社、CBC
後 援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

特別協賛：東海東京証券
協 賛：トヨタ自動車、大伸社

担 当：森美樹、中西園子

休 館 日：毎週月曜日（ただし、10月13日〔月・祝〕、11月3日〔月・祝〕、11月24日（月・振休）は開館）、10月14日（火）、11月4日（火）、11月25日（火）

観 覧 料：先方前売ペアチケット2,200円（一般2枚、切り離し使用可）
一般1,400（1,200）円、高大生1,100（900）円
中学生以下無料
（ ）内は前売り、及び20名以上の団体料金

出品点数：159点

入 場 者 数：39,068人

展覧会巡回先：Bunkamura ザ・ミュージアム
2014年6月7日～7月27日（83,410人）
あべのハルカス美術館
2014年8月5日～9月28日（65,404人）

内容と結果：

マティスやピカソと同じ時代を生きた、フランスの画家ラウル・デュフィの回顧展。デュフィは南仏の風景や社交界の人々などを、明るい色彩と軽快な筆さばきで描くという独自のスタイルを築いた。油彩画の代表作をはじめ、これまで日本ではあまり紹介されることのなかった版画やテキスタイル、陶器、家具など、多彩な作品を展示し、デュフィの魅力を紹介した。特にファッションの展示に力を入れ、パリのブティックをイメージして作り込み、女性の関心を大きくひきつけた。

できるだけ若い層を開拓できるよう、広報展開を充実させた。



展示風景

単にチラシやポスターを制作するだけではなく、開催前からSNS上で様々なイベントを立ち上げたり、美術館のキャラクター「ポワワン」を登場させたりしながら、一般の方々を巻き込むような展開を行った。

展覧会カタログ：

A4変形（28.2 x 23cm） 227ページ

編集 愛知県美術館、Bunkamura ザ・ミュージアム、あべのハルカス美術館、中日新聞社

制作 印象社

発行 中日新聞社

関連事業：

1 記念講演会（参加人数 111名）

場 所：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

日 時：2014年10月19日（日）13：30～15：00

講 師：朝倉三枝（神戸大学准教授）

演 題：「ラウル・デュフィ 絵画とモードをつないだ画家」

2 スライドトーク（学芸員による展示説明会）

第1回（参加人数 34名）

場 所：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）

日 時：2014年10月18日（土）11：00～11：40

講 師：森美樹（愛知県美術館学芸員）

第2回（参加人数 40名）

場 所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター12階）

日 時：2014年10月31日（金）18：30～19：10

講 師：森美樹（愛知県美術館学芸員）

第3回（参加人数 42名）

場 所：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）

日 時：2014年11月8日（土）11：00～11：40

講 師：森美樹（愛知県美術館学芸員）



展示風景

第4回 (参加人数 56名)

場 所：アートスペースE・F(愛知芸術文化センター12階)

日 時：2014年11月23日(日) 11:00-11:40

講 師：森美樹(愛知県美術館学芸員)

3 友の会会員のための特別鑑賞会

場 所：アートスペースE・F(愛知芸術文化センター12階)

日 時：2014年10月16日(木)

午前の部 10:00-11:30(参加人数20名)

午後の部 17:30-19:00(参加人数40名)

担 当：森美樹(愛知県美術館学芸員)

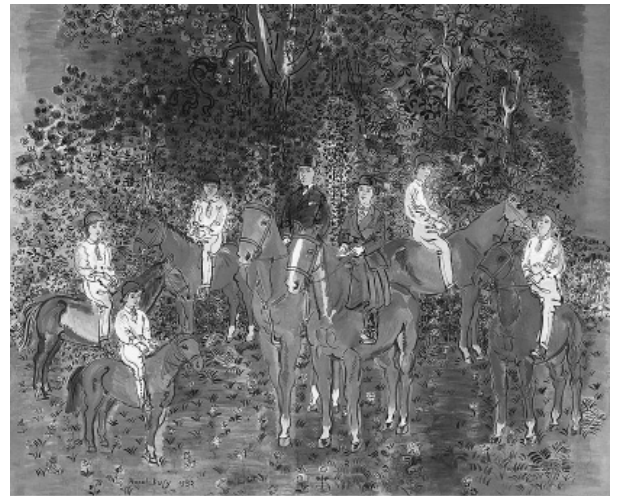
4 先生方との鑑賞学習交流会(参加人数36人)

日 時：2014年10月18日(土) 13:30-15:00

主 催：アートスペースE・F(愛知芸術文化センター12階)

関連記事：

- ・「計算された巧妙さという魔法『デュフィ展』『サンケイエクスプレス』2014年5月26日
- ・「『美し国』の豊かな暮らし』『サライ』2014年6月号
- ・池上英洋「デュフィ展』『クロワッサン』2014年6月25日号
- ・渋谷和彦「美の扉 デュフィ展 個性が輝く『青の色彩』『産経新聞』2014年6月22日
- ・池上英洋「池上先生の絵ほどこき デュフィの巻』『東京新聞』2014年6月24日
- ・「美の履歴書『馬に乗ったケスラー家』『朝日新聞』夕刊 2014年6月25日
- ・「色彩はうたう ラウル・デュフィ』『新日曜美術館』NHK 2014年7月13日
- ・「デュフィの配色』『美術の窓』2014年7月号
- ・森美樹「生活を彩る装飾としてのアート『デュフィ展』『ミセス』2014年7月
- ・「坪内祐三の美術批評 デュフィ展 目は行動する』『週刊ポスト』平成7月4日号
- ・「デュフィ展』『中日新聞』朝刊 2014年10月7日
- ・日比野克彦「鑑賞能力引き出す画家』『中日新聞』朝刊 2014年10月7日
- ・「油彩や木版画150点』『中日新聞』朝刊 2014年10月7日
- ・「デュフィ展開幕』『中日新聞』朝刊 2014年10月9日
- ・「デュフィ 回顧展にちなみ講演会』『中日新聞』朝刊 2014年10月20日
- ・「コント集団『ザ・ニューズペーパー』デュフィ展の作品を鑑賞』『中日新聞』朝刊 2014年10月31日
- ・佐藤航「デュフィ作品題材に服デザイン 東原さんグランブ



- ・「『中日新聞』朝刊 2014年11月6日
- ・千葉真智子「デュフィ展 モード界での活動 詳らかに』『日本経済新聞』夕刊 2014年11月6日
- ・「デュフィ柄題材に』『中日新聞』夕刊 2014年11月8日
- ・小林裕子「デュフィ回顧展 愛知県美術館で』『朝日新聞』朝刊 2014年11月12日
- ・深井晃子「パリジェンヌはデュフィの花柄を着た』『中日新聞』夕刊 2014年11月14日
- ・緒川たまき「デュフィ展 ニースの窓辺』『中日新聞』朝刊 2014年10月15日
- ・井上道義「デュフィ展 黄色いコンソール』『中日新聞』朝刊 2014年10月16日
- ・吉谷桂子「デュフィ展 アネモネとチューリップ』『中日新聞』朝刊 2014年10月17日
- ・「通風筒』『中日新聞』朝刊 2014年11月20日
- ・浅野和生「デュフィ展 新たな全体像つかむ』『中日新聞』朝刊 2014年11月25日
- ・「グラフ デュフィ展 純粋に力強く 個性保つ青』『中日新聞』夕刊 2014年10月24日
- ・新居理絵「[展覧会レビュー] デュフィ展』『Fashion Talks... / 服飾研究』(京都服飾文化財研究所) 第1号 2015年5月31日

ロイヤル・アカデミー展

会 期：2015年2月3日（火）～4月5日（日）
主 催：愛知県美術館、中日新聞社、ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ
後 援：プリティッシュ・カウンシル
協 賛：大日本印刷
協 力：東京富士美術館、J R東海、近畿日本鉄道
担 当：石崎尚、古田浩俊、小野寺奈津
休 館 日：毎週月曜日
観 覧 料：一般1,300（1,100）円、高大生1,000（800）円
中学生以下無料
（ ）内は前売り、及び20名以上の団体料金

出品点数：96点

入場者数：43,505人

展覧会巡回先：石川県立美術館

2014年8月1日～31日（19,297人）

東京富士美術館

2014年9月17日～11月24日（130,021人）

静岡市美術館

2014年12月6日～2015年1月25日（16,034人）

内容と結果：

イギリス美術の殿堂ともいえるロンドンのロイヤル・アカデミー・オブ・アーツは、1768年の創設以来、約250年にわたり絵画、彫刻、建築分野において指導的な役割を担い、芸術家を育成する最高レベルの教育機関として活動を繰り返してきた。

この展覧会では、多岐にわたるこのロイヤル・アカデミーのコレクションから、アカデミー初代会長のレノルズをはじめとして、レノルズと人気を二分したゲインズバラ、イギリス風景画の二大巨匠ターナーとコンスタブル、ヴィクトリア朝時代のミレイ、ウォーターハウス、そしてジャポニズムの影響を受けたサージェントにいたるまで、18世紀後半の創設時から20世紀初頭までの約150年にわたるイギリス美術を代表する画家の作

品を一堂に展覧した。

この展覧会は、オーストラリアを皮切りに、日本国内4会場で開催された巡回展で、当館が最後の会場であった。他の国内巡回館とは異なり、当館では最後の章にあたる第5章の「アーティスト教育」の部分を3章と4章の間に挿入し、資料的な作品で終わるのではなく絵画作品で終わる展示構成をとった。

展覧会カタログ：

A4変形（28.5 x 22.5cm） 191ページ

編集 東京富士美術館、静岡市美術館、東京新聞

制作 リーヴル

発行 東京新聞

関連事業：

1 記念講演会

第1回（参加人数 220名）

場 所：アトスペースA（愛知芸術文化センター12階）

日 時：2015年2月21日（土）13：30～15：00

講 師：河村錠一郎（一橋大学名誉教授）

演 題：「ロイヤル・アカデミーとシェイクスピア、そしてターナー」

第2回（参加人数 144名）

場 所：アトスペースA（愛知芸術文化センター12階）

日 時：2015年2月27日（金）13：30～15：00

講 師：小林章夫（上智大学教授）

演 題：「華麗なる英国王室 その過去と現在」

2 ギャラリートーク（学芸員による展示説明会）

第1回（参加人数 55名）

場 所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター11階）

日 時：2015年2月13日（金）18：30～19：10

講 師：小野寺奈津（愛知県美術館学芸員）

第2回（参加人数 48名）

場 所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター11階）



展示風景



展示風景

日 時：2015年2月15日（日）11：00－11：40

講 師：古田浩俊（愛知県美術館企画業務課長）

第3回（参加人数 40名）

場 所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター11階）

日 時：2015年2月28日（土）11：00－11：40

講 師：小野寺奈津（愛知県美術館学芸員）

第4回（参加人数 53名）

場 所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター11階）

日 時：2015年3月7日（土）11：00－11：40

講 師：古田浩俊（愛知県美術館企画業務課長）

3 友の会会員のための特別鑑賞会

場 所：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）

日 時：2015年2月12日（木）

午前の部 10：30－11：30（参加人数33名）

午後の部 17：30－21：00（参加人数51名）

担 当：小野寺奈津（愛知県美術館学芸員）

4 先生方との鑑賞学習交流会（参加人数66人）

日 時：2015年2月14日（土）12：45－13：10

場 所：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

担 当：小野寺奈津（愛知県美術館学芸員）

関連記事：

新聞紙面

- ・「近代英国美術の名品紹介」『中日新聞』朝刊 2014年4月8日（木）
- ・堀井聡子「来月開幕の展覧会とコラボ」『中日新聞』朝刊 2015年1月30日（金）
- ・野村由美子「最大のクーポン作品注目」『中日新聞』朝刊 2015年1月31日（土）
- ・「英国が誇る美の殿堂」『中日新聞』朝刊 2015年2月3日（火）
- ・「英美術史彩る代表作一堂に」『中日新聞』朝刊 2015年2月4日（水）
- ・石崎尚「ロイヤル・アカデミー展 上 人魚」『中日新聞』朝刊 2015年2月10日（火）
- ・石崎尚「ロイヤル・アカデミー展 中 「ヴェローナの二紳士」より」『中日新聞』朝刊 2015年2月11日（水）
- ・小林裕子「150年の英国美術史たどる」『朝日新聞』朝刊 2015年2月11日（水）
- ・石崎尚「ロイヤル・アカデミー展 下 1875年度の出品審査会」『中日新聞』朝刊 2015年2月12日（木）

華麗なる英国美術の殿堂・ターナーからラファエル前派まで
ロイヤル・アカデミー展
Genius and Ambition: The Royal Academy of Arts, London 1768-1918

2015.2.3 (火) → 4.5 (日) 愛知県美術館 [愛知芸術文化センター10階]

- ・「ロイヤル・アカデミー展講演会」『中日新聞』朝刊 2015年2月17日（火）
- ・「華麗な英国王室の歩み紹介」『中日新聞』朝刊 2015年2月21日（土）
- ・「アカデミー会員作品の魅力紹介」『中日新聞』朝刊 2015年2月22日（日）
- ・野村由美子「英国美術の美しき物語」『中日新聞』夕刊 2015年3月6日（金）
- ・「ロイヤル・アカデミー展」『聖教新聞』2015年3月20日（金）
- ・林望「ロイヤル・アカデミー展に寄せて」『中日新聞』夕刊 2015年3月20日（金）
- ・「入場3万人、幸運は米沢さん」『中日新聞』朝刊 2015年3月25日（水）

定期刊行物

- ・「英国美術にみるミューズの系譜をたどる」『AAC』Vol.82、2014年冬号、愛知芸術文化センター、pp.1-2
- ・「英国美術がやって来る ヤァ！ヤァ！ヤァ！～ロイヤル・アカデミー展～」『ぴあ×starcat』vol.57、2015年2月号、ぴあ株式会社、pp.4-7
- ・「英国美術史を語る」『美術の窓』2015年2月号、生活の友社、p.43

3 映像事業

1920年代に起こったアヴァンギャルド映画を源流とする、映像表現の可能性を拡張するような実験的な動向に着目し、上映会の開催やオリジナル映像作品制作などの事業を行った。

・コレクション上映会「フィルムからデジタルへ」

「これからの写真」展開催に合わせ、石田尚志『フーガの技法』(2001年)、大山慶『HAND SOAP』(2008年)、船橋淳『放射能』(2013年)などを上映した。

8月24日(日)

会場：アートスペースA

入場者：40名

・第19回アートフィルム・フェスティバル

「ドキュメンタリーの現在」、「オーバーハウゼン国際短編映画祭」セレクション、「映像アートの軌跡 Since 1964」の特集プログラムを実施。オリジナル映像作品の最新作である、三宅唱『THE COCKPIT』(2015年、シリーズ第23弾)を初公開。

2014年11月23日(日)～12月7日(日) *12日間開催

会場：アートスペースA

入場者：610名(延べ)

トーク：①11月28日(金)『みんなのアムステルダム国立美術館へ』

上映終了後

古田浩俊(愛知県美術館企画業務課長) × 越後谷卓司(愛知県美術館主任学芸員)

入場者41名

②12月7日(日)『THE COCKPIT』初公開終了後

三宅唱(映画監督) × 松井宏(プロデューサー)

入場者73名



三宅唱監督によるトーク

・愛知県美術館オリジナル映像作品の制作

山城知佳子を担当作家に選出し、シリーズ通算第24作の制作を行った。

『創造の発端—アブダクション／子供—』

2015年、18分、デジタル・ビデオ

監督・脚本・撮影：山城知佳子

出演：川口隆夫

サウンド・デザイン：高木 創

編集：平田竜馬

企画：愛知芸術文化センター

制作：愛知県美術館

エグゼクティブ・プロデューサー：越後谷卓司

4 教育普及

教育普及事業の実施状況（2014（平成26）年度）

美術館では、社会の多様なニーズに応えるため、教育普及事業の充実に努めてきた。講演会や作品解説会については、館内で行うギャラリートークなどのほか、県内市町村へ出向いて講演会などを開催する県政お届け講座の一環として「出前講座」を実施した。また、教育現場との連携では、「鑑賞学習交流会」のほか、「鑑賞学習ワーキンググループ（研究会）」を開催した。鑑賞学習ワーキンググループの教員と協力して、夏休み子ども鑑賞会を開催した。また、教員を対象に、外部講師による特別講演会を開催した。友の会との連携では、会員向け特別鑑賞会などを開いた一方、友の会からは、企画展の広報や所蔵作品の保存備品作成作業、モニター協力などの支援を受けた。

出版・発行

企画展に関するもの

カタログ

○シャガール展

A4変形（27.6 x 21.1cm） 362ページ

編集 北海道立近代美術館（柴勤、佐藤幸宏）

キュレーターズ（水野昌美、ユリス・エック＝コキール）
辺見海

制作 アベイズム

発行 北海道新聞社

カタログ内容

イメージの伽藍 — シャガールのモニュメント 佐藤幸宏
図版

第1章：祝祭の空間—色彩の交響

天空の花束—パリ・オペラ座の天井画 佐藤幸宏

リンカーン・センター内、メトロポリタン・オペラハウスの大壁画について 穂積利明

イシスとシャガール 福地大輔

「ダフニスとクロエ」の物語 穂積利明

バレエ「ダフニスとクロエ」について ユリス・エック＝コキール

「ダフニスとクロエ」の舞台衣装—オペラ座と芸術家たち
クリスティーン・ヴァーガス

バレエ「火の鳥」小川かい

サーカス—祝祭空間としての夢 佐藤幸宏

第2章：精神の光—祈りの造形

シャガールとステンドグラス シルヴィ・フォレストイエ

マルク・シャガール：下絵からモニュメンタルなスケールの作品へ アンブル・ゴーチエ

シャガールとアトリエ・シモン＝マルク プノワ・マルク
プラトー・ドゥ・アッシイの慈悲聖母教会について ジェ
ローム・プーシェ

物語としての旧約聖書 小檜山祐幹

第3章：南仏での安息—晩年の境地

シャガール、空と海との間で シルヴィ・フォレストイエ
シャガールと陶器、不服従の情熱 サンドリース・コワ
ニャール

タピスリー《平和》のモチーフと世界観 松田弘

マルク・シャガールとタピスリー、イヴェット・コキール
＝フランスとの対話 ユリス・エック＝コキール

ニース大学法学部に寄贈されたマルク・シャガールによる
モザイク壁画誕生についての回想

コレット・ボナヴィア＝パリアンテ

資料編

マルク・シャガール略歴 メレット・メイヤー

出品リスト

テーマ、グループ、素材別リスト

関連施設紹介

シャガールのモニュメント作品

参考文献

シャガールが関わった主な舞台美術 小川かい

鑑賞ガイド（作家作品解説） A3二つ折り8頁



カタログ



鑑賞ガイド

○これからの写真展

A4変形（18.3 x 26.5cm） 134ページ

編集 愛知県美術館（中村史子、塩津青夏）

発行 愛知県美術館、朝日新聞社

「光源はいくつもある—写真の多義性をめぐって—」中村史子

「発見のための写真」甲斐義明

図版

参考文献

写真関連年表 写真をめぐる日本の動向1994-2014

出展作品リスト

鑑賞ガイド(作家作品解説) A3二つ折り



カタログ



鑑賞ガイド

○デュフィ展

A4変形(28.2x23cm) 227ページ

編集 愛知県美術館、Bunkamura ザ・ミュージアム、あべのハルカス美術館、中日新聞社

制作 印象社

発行 中日新聞社

デュフィの風景画 ソフィ・クレプス

第1章 1900-1910年代—造形的革新のただなかで

第2章 木版画とテキスタイル・デザイン

[コラム] ギョーム・アポリネール『動物詩集あるいはオルフェウスとそのお供たち』

のための挿絵制作 森 美樹

[コラム] デュフィとボワレーモードを作り出すこと 森 美樹

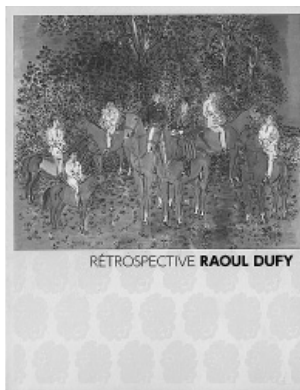
第3章 1920-1930年代—様式の確立から装飾壁画の制作へ

[コラム] デュフィの陶芸 森 美樹

[コラム] 家具「パリ」ジェラルド・レミ

第4章 1940-1950年代—評価の確立と画業の集大成

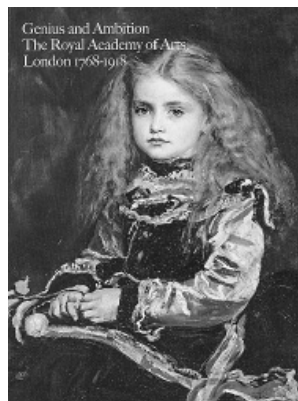
現代の美を描く画家ラウル・デュフィ ブリジット・ブリアン



カタログ



鑑賞ガイド



カタログ



鑑賞ガイド

「非売品」—デュフィのアトリエに残された素描群 クリスティアン・ブリアン

ラウル・デュフィ 描く喜び—同一主題の二つのヴァージョンとその制作プロセス

《森の旗手たちと馬に乗ったケスラー一家》を中心に 森 美樹
ラウル・デュフィ年譜 [クリスティアン・ブリアン編]

美術評論選集 (1903-1953) [ジャクリーヌ・ムンク 編]

主要日本語文献

Bibliographie (selection)

出品作品リスト

鑑賞ガイド(作家作品解説) A3二つ折り

○ロイヤル・アカデミー展

A4変形(28.5x22.5cm) 191ページ

編集 東京富士美術館、静岡市美術館、東京新聞

制作 リーヴル

発行 東京新聞

ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ1768-1918 マリアン・ステイーヴンス

ロイヤル・アカデミー・スクール1768-1918 ヘレン・ヴァレンタイン、アネット・ウィッカム

世界に開くアカデミーの窓—1768-1918年のロイヤル・アカデミーのライブラリー

ニコラス・サヴィッジ

ロイヤル・アカデミーの多層性 河村錠一郎

I 設立：名声への道、1768-1837

II 国家的地位の確立、1837-1867

III 名声と繁栄、1867-1895

IV モダンの受容：黙認と妥協、1865-1918

V アーティスト教育

関連地図

出品作家リスト

主要参考文献

出品リスト

APMoA Project,ARCHに関するもの

パンフレット

Ovol.9 山内崇嗣「くるみの部屋」

B4判 二つ折り4ページ(2,000部)+B5判 2ページ(挟み込み)

テキスト:副田一穂「誤解と恣意性の美術史」
山内崇嗣「くるみの暮らしと生き物
愛知県 東谷山地図」

デザイン:伊藤敦志(AIRS)

展示風景撮影:林育正

発行:愛知県美術館



パンフレット

コレクション展に関するもの

○コレクション展 作品リスト

- 第1期 展示作品リスト A3二つ折り
- 第2期 展示作品リスト A3二つ折り
 (「あなたのリアル、わたしのリアル。」展含む)
- 第3期 展示作品リスト A3二つ折り
- 第4期 展示作品リスト A3二つ折り
- 第5期 展示作品リスト A3二つ折り

○所蔵作品展 美術館案内(児童生徒用)

増刷:「美術館へようこそ!」 四つ折り(210×395mm)

Ovol.10 丹羽康博「詩としての行為」

B4判 二つ折り4ページ(2,000部)

テキスト:中西園子「丹羽康博とレディ・
メイドとしての自然」

デザイン:小島久弥(こじませいさくしよ)

展示風景撮影:小寺克彦

発行:愛知県美術館



パンフレット

○研究紀要・年報

愛知県美術館研究紀要第21号 B5判64頁

愛知県美術館年報 第22号 A4判56頁



研究紀要



年報

Ovol.11 末永史尚「ミュージアムピース」

B4判 二つ折り4ページ(2,000部)

テキスト:副田一穂「額縁考」

デザイン:川村格夫

展示風景撮影:城戸保

発行:愛知県美術館



パンフレット

木村定三コレクションに関するもの

○研究紀要・研究報告書

愛知県美術館研究紀要第21号 木村定三コレクション編

B5判126頁



研究紀要

Ovol.12 占部史人「7つの夜の海」

B4判 二つ折り4ページ(2,000部)

テキスト:塩津青夏「7つの夜の海への案内」

デザイン:平井秀和(Peace Graphics)

展示風景撮影:怡土鉄夫、瀧岡健太郎

発行:愛知県美術館



パンフレット

Ovol.13 伊東宣明「アート」

B4判 二つ折り4ページ(2,000部)

+B5判 2ページ(挟み込み)

テキスト:中村史子「殉教か、道化か」

デザイン:伊藤敦志(AIRS)

発行:愛知県美術館



パンフレット

講演会・シンポジウム・展示説明会・関連イベント等 企画展に関するもの

○「シャガール展」

記念講演会

2014年4月19日（土）13：30～15：00 120名
場 所：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）
講 師：佐藤幸宏 氏（北海道立文学館学芸主幹）
演 題：「シャガールーモニュメント作品を巡る絵」



記念講演会

展示説明会（スライドトーク）

2014年4月26日（土）62名
5月25日（日）32名
5月9日（金）58名
解 説：古田浩俊（愛知県美術館企画業務課長）

メナード美術館との共同事業

コラボ☆トーク
2014年5月17日（土）14：00～14：30
メナード美術館 65名
5月24日（土）14：00～14：30
愛知県美術館 40名

スイーツタイムコンサート

2014年5月25日（日）13：30～ 310名
題 目：シャガールラブソディー～色と音を感じて～
演奏者：天野武子（チェロ）鈴木謙一郎、
渡辺理恵子（ピアノ）
解 説：石崎尚（愛知県美術館学芸員）、
門田彩（メナード美術館学芸員）
場 所：宗次ホール

愛知県芸術劇場連携事業

シャガールコンサート～パリ・オペラ座の天井画

2014年4月23日（水）18：45～20：30 905名
出 演：時任康文（名古屋フィルハーモニー交響楽団）、井上
さつき（音楽評論家）、石崎尚（愛知県美術館学芸員）

場 所：愛知県芸術劇場コンサートホール

KITO Akira Brass Band！ ～シャガール、クレズマー、 色とりどりのうた

2014年5月14日（水）19：00～21：00 254名
場 所：愛知県芸術劇場小ホール

朗読「語りと音で誘うシャガール」

2014年5月17日（土）123名
5月22日（木）144名
出 演：榊原忠美（劇団クッセACT）、橋本知久（パフォーマー）
場 所：愛知県美術館展示室

○「これからの写真」展

記念シンポジウム

2014年8月2日（土）13：30～15：00 220名
場 所：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）
パネリスト：畠山直哉、鷹野隆大、田代一倫（出品作家）
司 会：中村史子（愛知県美術館学芸員）
演 題：「表現と距離」

展示説明会（ギャラリー）

2014年8月9日（土）
解 説：中村史子（愛知県美術館学芸員）20名
9月6日（土）解 説：中村史子（愛知県美術館学芸員）20名
9月12日（金）解 説：中村史子（愛知県美術館学芸員）30名
9月13日（土）解 説：中村史子（愛知県美術館学芸員）30名

○デュフィ展

記念講演会

2014年10月19日（日）13：00～15：00 111名
場 所：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）
講 師：朝倉三枝（神戸大学准教授）
演 題：「ラウル・デュフィ 絵画とモードをつないだ画家」



記念講演会

展示説明会（スライドトーク）

10月18日（土）34名

10月31日（金）40名

11月8日（土）42名

11月23日（日）56名

解説：森美樹（愛知県美術館学芸員）

コレクション展に関するもの

○「わたしのリアル あなたのリアル。」展

記念講演会

2014年6月28日（土）13：30～15：00 86名

演題：「どっちがリアル？リアリズムとシュルレアリスム」

講師：村松和明氏（岡崎市美術博物館 学芸員）



講演会

○ロイヤル・アカデミー展

記念講演会

第1回

日時：2015年2月21日（土）13：30～15：00 220名

場所：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

講師：河村錠一郎（一橋大学名誉教授）

演題：「ロイヤル・アカデミーとシェイクスピア、そしてターナー」



記念講演会

第2回

日時：2015年2月27日（金）13：30～15：00 144名

講師：小林章夫（上智大学教授）

演題：「華麗なる英国王室 その過去と現在」

展示説明会（スライドトーク）

2015年2月13日（金）55名

2月15日（日）48名

2月28日（土）40名

3月7日（土）53名

解説：古田浩俊（愛知県美術館企画業務課長）

小野寺奈津（愛知県美術館学芸員）

展示説明会（ギャラリートーク）延べ54名

2014年6月21日（土）11：00～11：40 32名

6月27日（金）18：30～19：10 22名

解説：大島徹也（愛知県美術館主任学芸員）



ギャラリートーク

APMoA Project, ARCHIに関するもの

○アーティストトーク

・2014年4月26日（土）15：00～17：00 16名

アーティスト・トーク&記念座談会「くるみ会議」

北山克己（守山リス研究会会長）、川端健夫（木工）、山内崇嗣
司会進行：副田一穂（愛知県美術館学芸員）

・2014年7月5日（土）14：00～15：30 38名

丹羽康博 司会進行：中西園子（愛知県美術館学芸員）

・2014年9月13日（土）13：30～15：00 25名

末永史尚 司会進行：副田一穂（愛知県美術館学芸員）

・2015年2月22日（日）14：00～15：30 40名

伊東宣明 司会進行：中村史子（愛知県美術館学芸員）

○展示説明会（コレクショントーク）

- ・2014年4月27日（土）11：00～11：40 21名
中野悠（愛知県美術館学芸員）「日本人美術家たちとヨーロッパ」
- ・2014年9月6日（土）13：00～13：40 22名
中村史子（愛知県美術館学芸員）「螺旋海岸—誰かと作品と作るということ」
- ・2014年10月11日（土）13：00～13：40 18名
大島徹也（愛知県美術館主任学芸員）「原裕治の平面と立体」
- ・2015年2月14日（土）11：00～11：40 41名
深山孝彰（愛知県美術館美術課長）「鬼頭鍋三郎の画業」



コレクショントーク

- (5) 2015年2月14日（土）「ロイヤル・アカデミー展」解説 66名
小野寺奈津（愛知県美術館学芸員）



鑑賞学習交流会
研修風景

○鑑賞学習ワーキンググループ

- (1) 2014年4月26日（土）「今年度の活動計画」 12名
- (2) 2014年6月21日（土）「夏プログラム準備・話し合い」11名
- (3) 2014年8月2日（土）「夏プログラム検討・準備」 12名
- (4) 2014年10月18日（土）「今後の研修会のあり方について」18名
- (5) 2015年2月14日（土）「鑑賞学習の実例紹介・意見交換会」
46名

担 当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）

各種教育プログラム

○鑑賞学習交流会（小・中・高教員向け展示説明会および研修）

- (1) 2014年4月26日（土）「シャガール展」解説 50名
石崎尚（愛知県美術館学芸員）
小川裕紀（愛知県陶磁美術館学芸員）「愛知県陶磁美術館の鑑賞普及事業について」
藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）「愛知県美術館鑑賞学習補助ツール あいパックの使い方」
- (2) 2014年6月21日（土）「あなたのリアル、わたしのリアル」
展解説 20名
大島徹也（愛知県美術館主任学芸員）
藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）、鑑賞学習ワーキンググループ教員「展示室でのコレクション研修」
- (3) 2014年8月2日（土）「これからの写真」展解説 18名
中村史子（愛知県美術館学芸員）「展示室での夏のプログラム案研修」
藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）、鑑賞学習ワーキンググループ教員
- (4) 2014年10月18日（土）「デュフィ展」解説 36名
森美樹（愛知県美術館学芸員）「展示室でのコレクション研修」
藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）、鑑賞学習ワーキンググループ教員



鑑賞学習ワーキンググループ

○教員向け講演会

- 日 時：2015年2月14日（土）13：30～15：00 100名
- 場 所：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）
- 講 師：岡田京子（国立教育政策研究所教育課程教育センター
研究開発部教育課程調査官、文部科学省初等中等教育
局教育課程課 教科調査官）
- 演 題：「子どもの姿から考える表現と鑑賞～美術館との連携」

幼児、児童、生徒を対象とした鑑賞教育の実施

○夏休み子ども鑑賞会（鑑賞会・ワークショップ）

- ・高校生向けプログラム

8月16日（土）10：00～15：00 24名

- ・小学生・中学生向けプログラム「マイ・アルバム」

8月19日（火）10：30～正午、14：00～15：30 31名

小学1～2・小3～4

8月22日（金）10：30～正午、14：00～15：30 10名

小学5～6・小1～2

8月23日（土）10：30～正午、14：00～15：30 27名

小学3～4・中学生

担 当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）、鑑賞学習ワーキンググループ教員、学生アシスタント



夏休み子ども鑑賞会
高校生



夏休み子ども鑑賞会
中学生



夏休み子ども鑑賞会
小学生

視覚に障がいのある人を対象とした鑑賞会

○視覚に障がいのある方への鑑賞プログラム

実施日時・対象・参加者数

2014年5月22日（木）13：30～15：00 6名

5月29日（木）13：30～15：00 5名

12月4日（木）10：30～12：30 8名

協 力：ボランティアガイドグループ「アートな美」

担 当：深山孝彰（愛知県美術館美術課長）、藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）

各種団体による鑑賞への対応

	小	中	高	大	専門	養護	一般	合計
総人数	720	1,321	344	691	506	0	749	4,331
総件数	14	43	18	13	5	0	24	117
学芸対応件数	13	12	6	7	5	0	20	63
学芸対応人数	714	433	140	250	506	0	651	2,694

美術館研修生の受け入れ指導

- ・博物館学芸員資格課程の取得に係る実習を行い、下記大学から学生を受け入れた。

所属大学：尾道市立大学、金沢美術工芸大学、九州産業大学、名古屋大学、名古屋芸術大学、立命館大学

- ・教育普及事業の補助を中心とした実務の研修を行い、下記大学から学生を受け入れた。

所属大学：愛知教育大学、愛知県立芸術大学、静岡文化芸術大学

美術館友の会との協力

（1）友の会 特別鑑賞会

10：00～11：30・17：00～19：00

シャガール展

2014年4月24日（木）

昼 古田浩俊（愛知県美術館企画業務課長） 26名

夜 古田浩俊（愛知県美術館企画業務課長） 48名

あなたのリアル、わたしのリアル。

6月26日（木）

昼 大島徹也（愛知県美術館主任学芸員） 26名

夜 大島徹也（愛知県美術館主任学芸員） 52名

これからの写真

8月7日（木）

昼 中村史子（愛知県美術館学芸員） 20名

夜 中村史子（愛知県美術館学芸員） 30名



特別鑑賞会（あなたのリアル、わたしのリアル。展）

（3）会報『空中回廊』の発行

2014年9月 39号：デュフィ展紹介、会員ベスト10作品、会員活動紹介、コレクション紹介

2015年3月 40号：『月映』展紹介、APMoA Project ARCH、会員活動紹介、コレクション紹介

デュフィ展

10月16日（木）

昼 森美樹（愛知県美術館学芸員） 20名
夜 森美樹（愛知県美術館学芸員） 40名

ロイヤル・アカデミー展

2015年2月12日（木）

昼 小野寺奈津（愛知県美術館学芸員） 33名
夜 小野寺奈津（愛知県美術館学芸員） 51名

（2）講演、講座

2014年7月12日（土）

20周年記念連続講座

高橋秀治（愛知県美術館副館長） 38名

「ジム・ダイン《芝刈機》」

8月2日（土）

20周年記念連続講座

古田浩俊（愛知県美術館企画業務課長） 33名

「グスタフ・クリムト《人生は戦いなり（黄金の騎士）》」

9月6日（土）

20周年記念連続講座

村田真宏（愛知県美術館館長） 44名

「熊谷守一《雨滴》《白仔猫》」

11月29日（土）

西洋美術史連続講座 第一回 行間を読む「西洋美術史」

江本菜穂子（名古屋造形大学・大学院教授） 60名

12月20日（土）

西洋美術史連続講座 第二回 行間を読む「西洋美術史」

江本菜穂子（名古屋造形大学・大学院教授） 52名

2015年3月1日（日）

西洋美術史連続講座 第三回 行間を読む「西洋美術史」

江本菜穂子（名古屋造形大学・大学院教授） 48名

所蔵作品に関すること

○深山孝彰

- ・「鈴木其一《林檎図》木村定三コレクション」『空中回廊』39号、2014年9月

○大島徹也

- ・「吉川民仁の絵画」『吉川民仁—rain or shine— 鎌倉画廊、2014年6月

○森美樹

- ・「ポール・ゴーギャンの《木靴職人》について」『鹿島美術研究』年報第31号別冊、2014年11月

○石崎尚

- ・「木村定三と熊谷守一」『守一のいる場所』求龍堂、2014年9月

○副田一穂

- ・（編集）『愛知県美術館研究紀要 木村定三コレクション編』第21号、2015年3月

○中野悠

- ・（編集）『愛知県美術館研究紀要』第21号、2015年3月

展覧会等に関すること

○村田眞宏

- ・「『これからの写真』展に関する報告」『愛知県美術館研究紀要』第21号、2015年3月

○森美樹

- ・（企画展）「章解説」「作品解説」「ギョーム・アポリネール『動物詩集あるいはオルフェウスとそのお供たち』のための挿絵制作」「デュフィとボワレーモードを作り出すこと」「デュフィの陶芸」「ラウル・デュフィ 描く喜び—同一主題の二つのヴァージョンとその制作プロセス《森の騎手たち》と《馬に乗ったケスラー一家》を中心に」『デュフィ展』2014年6月
- ・（企画展）（翻訳）クリスティアン・ブリアン編「ラウル・デュフィ年譜」『デュフィ展』2014年6月
- ・（企画展）「生活を彩る装飾としてのアート『デュフィ展』」『ミセス』平成26年7月
- ・（企画展）「デュフィ展鑑賞ガイド」2014年10月

○中村史子

- ・（企画展）「光源はいくつもある—写真の多義性をめぐって—」『作家解説』『これからの写真』2014年8月
- ・（企画展）「『これからの写真』展鑑賞ガイド」2014年8月
- ・（APMoA Project, ARCH）「殉教か、道化か」『APMoA Project, ARCH vol.13 伊東宣明 アート』2015年3月
- ・（企画展）「鷹野隆大作品の展示変更に関する経緯」「褥としての鷹野隆大《おれとwithKJ#2（2007）》」『愛知県美術館研究紀要』第21号、2015年3月

○石崎尚

- ・（企画展）「シャガール展鑑賞ガイド」2014年4月
- ・（企画展）「ロイヤル・アカデミー展鑑賞ガイド」2015年2月

○副田一穂

- ・（APMoA Project, ARCH）「誤解と恣意性の美術史」『APMoA Project, ARCH vol. 9 山内崇嗣 くるみの部屋』2014年4月
- ・（APMoA Project, ARCH）「額縁考」『APMoA Project, ARCH vol. 11 末永史尚 ミュージアムピース』2014年8月

○中西園子

- ・（APMoA Project, ARCH）「丹羽康博とレディ・メイドとしての自然」『APMoA Project, ARCH vol.10 丹羽康博 詩としての行為』2014年6月

○塩津青夏

- ・（APMoA Project, ARCH）「7つの夜の海への案内」『APMoA Project, ARCH vol.12 占部史人 7つの夜の海』2014年10月

教育普及活動に関すること

○藤島美菜

- ・（研修会）「あいバックについて」『名古屋市緑区教育振興会』緑区扇台中学校、2014年5月7日
- ・（研修会）「鑑賞学習補助ツール『あいバック』の活用法」『幸田町教育研究会』愛知芸術文化センター、2014年8月5日
- ・（研修会）「愛知県美術館鑑賞学習補助教材ツール「あいバック」の活用法」『愛知県総合教育センター10年目経験者研修』愛知芸術文化センター、2014年8月22日
- ・（実践）「視覚に障がいのある生徒への鑑賞学習の授業実践」愛知県立名古屋盲学校高等部、2014年10月20日
- ・（研修会）「愛知県美術館鑑賞学習補助教材ツール「あいバック」の活用法」『安城市造形教育研究会造形部会研修会』安城市役所西会館、2015年1月28日

作品の保存等に関すること

○長屋菜津子

- ・(発表)「身近なところから学ぶ温湿度」『ミュージアムIPM 支援者研修(技術編)』九州国立博物館、2014年11月5日
- ・「施設と環境に応じた施設管理」『第4回文化財IPMコーディネータ資格取得講習会テキスト』文化財虫菌害研究所、2014年11月
- ・(発表)「施設と環境に応じた施設管理」文化財虫菌害研究所主催『第4回文化財IPMコーディネータ資格取得講習会』九州国立博物館、2014年12月10日
- ・「文化財の保存分野にIPMプログラムが導入されてきた背景」『ZENBI』7号、2015年1月

美術館運営に関すること

○村田眞宏

- ・(発表)「愛知県～災害への備え—まずできることから—」『これからの文化財防災—災害への備え』東京文化財研究所、2014年12月
- ・(発表)「愛知県美術館における防災の取り組み」『平成26年度地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業「みんなでまもるミュージアム」第3回全体会議』九州国立博物館、2015年1月
- ・「愛知県～災害への備え—まずできることから—」『これからの文化財防災—災害への備え』東京文化財研究所、2015年3月

○長屋菜津子

- ・「石巻文化センター：保存修復担当者による被災文化財の応急処置についての報告3」『全文化財レスキュー事業記録集』2014年

○副田一穂

- ・(発表)「シミュレーションミーティングと防災訓練」『平成26年度地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業「みんなでまもるミュージアム」第3回全体会議』九州国立博物館、2015年1月
- ・「シミュレーションミーティングと防災訓練」『平成26年度地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業「みんなでまもるミュージアム」報告書』2015年3月

映像事業に関すること

○古田浩俊

- ・(講演)ウケ・ホーヘンダイク監督『みんなのアムステルダム国立美術館へ』上映終了後トーク アートスペースA 2014年11月28日(採録「『みんなのアムステルダム国立美術館へ』～先行上映後のトークより～」『名古屋シネマテーク通信』No.390、2015年1月号)

○越後谷卓司

- ・「映像で、さまざまなアートを楽しんでみよう」『第19回アートフィルム・フェスティバル』リーフレット 2014年11月
- ・「美術館の日常切り取る オランダの記録映画を観て」朝日新聞 2014年11月19日朝刊(「第19回アートフィルム・フェスティバル」上映作品、ウケ・ホーヘンダイク監督『みんなのアムステルダム国立美術館へ』紹介)
- ・「愛知芸術文化センターにおける上映会活動について」『愛知県美術館研究紀要』第21号、2015年3月

その他

○村田眞宏

- ・「人間と絵画の本質を求めて」『小川博史画集・アーカイヴ』株式会社2029、2014年8月

○高橋秀治

- ・「REVIEW はしもとみお展 動物たちからの手紙」『芸術批評誌REAR』32号、2014年8月
- ・(講演)「アメリカと国吉」『ヤスオ國吉 岡山展』岡山シティミュージアム、2014年11月2日
- ・「アンドリュー・ワイエスの制作地—ペンシルヴェニアの場合」『愛知県美術館研究紀要』第21号、平成27年3月

○越後谷卓司

- ・「東北記録映画三部作 - 濱口竜介試論」『芸術批評誌REAR』32号、平成26年8月
- ・「クリス・マルケルはメディア・アーティストか?」『クリス・マルケル 遊動と闘争のシネアスト』森話社、2014年11月
- ・「空間の封鎖と透過 - 『連茎する現代アート』を観て-」『REN-CON ART PROJECT 連茎する現代アート』展記録誌、2015年3月

○大島徹也

- ・“Jackson Pollock's 'My Painting'.” In *Jackson Pollock: The Figure of the Fury*. Ed. Sergio Risaliti with Francesca Campana Comparini. Exh. cat. Florence and Milan: Giunti Arte Mostre Musei, 2014 (イタリア語版: “Jackson Pollock: La mia pittura.” Trans. Lidia Filippone and Paolo Piazzesi. In *Jackson Pollock: La figura della furia*. Ed. Sergio Risaliti with Francesca Campana Comparini. Exh. cat. Florence and Milan: Giunti Arte Mostre Musei, 2014)
- ・「久米亮子の絵画」『久米亮子—もうひとつの花』名古屋画廊、2014年5月
- ・(共同執筆)「いわき市立美術館」『全国美術館会議東日本大震災総合調査報告』全国美術館会議東日本大震災総合調査分科会編、全国美術館会議、2014年5月
- ・「コレクションはいま」『ZENBI』6号、2014年8月
- ・(講演)「デ・ターニングと戦後アメリカ美術」ブリヂストン美術館、2014年11月22日
- ・「1980年代の日本の抽象絵画」『美術フォーラム21』30号、2014年11月
- ・「ポロックをポロックとして見る—ジャクソン・ポロックのオールオーバーのボード絵画」『「かたち」再考—開かれた語りのために』東京文化財研究所編、平凡社、2014年
- ・「デ・ターニングを見つめ直す」『読売新聞』2014年12月4日朝刊
- ・(作家作品解説)「平野泰子」『VOCA展2015 現代美術の展望—新しい平面の作家たち』「VOCA展」実行委員会・上野の森美術館編、「VOCA展」実行委員会・上野の森美術館、2015年
- ・「バーネット・ニューマンの〈十字架の道行き〉」『バーネット・ニューマン：十字架の道行き—レマ・サバクタニ』MIHO MUSEUM編、MIHO MUSEUM、2015年

○中村史子

- ・「さわひらき展レビュー 箱と映像と私の在りか」『美術手帖』4月号、美術出版社、2014年4月
- ・(座談会)「予言と矛盾のアクロバット アートプロジェクトの摩擦と緊張」京都芸術センター、2014年4月13日
- ・「東海ブロック報告」『全国美術館会議機関誌 ZENBI』Vol.6、全国美術館会議、2014年8月
- ・「REVIEW 荒木経惟 往生写真—顔・空景・道」『芸術批評誌REAR』32号、2014年8月
- ・(座談会)加納俊輔×田村友一郎「HARD PROCESS」パルル、2014年9月27日
- ・(ギャラリートーク)「鈴木崇KONTRAPUNKT出版記念トー

ク&展示」MEDIA SHOP、2014年11月1日

- ・(ギャラリートーク)「写真をつむぐ #01クロストーク」ブルーム・ギャラリー、2014年2月15日
- ・「表現と社会の関係に粘り強く向き合う」『キュレーションの現在』フィルムアート社、2014年3月

○副田一穂

- ・(発表)「バルテュスとシュルレアリスム」『名古屋大学大学院文学研究科人類文化遺産テクスト学研究センター公開シンポジウム「バルテュスとその境界」』2014年6月
- ・(展覧会リーフレット)「ホワイトキューブの呪われた場所と、不完全な魔法／ごっこ遊びと大人の事情—ネクロマンサーとしての山下拓也」『弱弱様』2014年7月
- ・(ギャラリートーク) 和多利浩一×副田一穂×山下拓也「TALIONの子 | TALION's Child」TALION GALLERY、2014年7月
- ・(ギャラリートーク)「反復するデルヴォー」『ポール・デルヴォーとベルギー近代絵画』ヤマザキマザック美術館、2014年8月
- ・「REVIEW ファン・デ・ナゴヤ美術展2014 虹の麓—反射するプロセス—」『芸術批評誌REAR』32号、2014年8月
- ・(再録)「ごっこ遊びと大人の事情—ネクロマンサーとしての山下拓也」『東アジアの夢—BankART Life IV Under 35 山下拓也』2014年8月
- ・「モダニズム絵画における『オーバーレイ効果』に関する研究」『鹿島美術研究』年報第31号別冊、2014年11月
- ・「REVIEW イタヅクシ It a Zoo Kushi」『芸術批評誌REAR』33号、2014年12月

○中西園子

- ・「REVIEW 夏休み子どものプログラム2014 こじまひさや—あっち？こっち？どっち？」『芸術批評誌REAR』33号、2014年12月

○塩津青夏

- ・「年譜」[参考文献]『バーネット・ニューマン：十字架の道行き—レマ・サバクタニ』MIHO MUSEUM編、MIHO MUSEUM、2015年

防 災

防災の取組状況（2014（平成26）年度）

1 館内の体制

(1) 防災担当

a 2013年度より、従来の正担当1名、副担当2名という体制から、来館者等の「人」に対する正担当1名及び副担当1名、作品等の「物」に対する正担当1名と、担当内容を区分し明確化している。

(2) 内容とその方法

a 「人」に対する防災体制

2012年度には案内監視員用の退館誘導マニュアル、2013年度には案内監視員用の避難誘導マニュアル、東海地震発生時の美術館職員行動マニュアル（大規模地震共通）と、近年は主に大規模地震を想定した取り組みを重視してきた。本年度は、2013年度の企画展において国家補償制度適用申請の過程で指摘を受けた火災発生時の対応やハロン消火設備に関する使用計画等の未設定部分について、シミュレーションミーティングおよびブラインドトレーニングを通じて得られた知見を盛り込んだかたちで、「愛知県美術館災害時初動活動実施要領」改訂を行った。

b 「物」に対する防災体制

急務である「人」に対する防災体制への取り組みを優先し、「物」に対する防災体制への取り組みは先送りした。

2 愛知芸術文化センターの防災体制

(ア) 愛知芸術文化センター防災会議

2014年度より、美術館を除くセンターの大部分が指定管理者制度を導入した。初年度である本年は、特に管理部と指定管理者である愛知県文化振興事業団との防災に関する役割分担の明確化を行いながら、美術館がこれまで積み上げてきた防災体制をどのように位置づけるのかについて模索した。

(イ) 防災訓練

防災訓練については、指定管理導入以前と同様に、劇場部門と美術館とがそれぞれ年に1回ずつシナリオを設定し、計2回開催された。美術館が担当したシナリオでは、10階展示室3で火災が発生し、初期消火に失敗したという設定で、来館者の避難誘導およびハロン消火装置起動の訓練を行った。

3 愛知県の危機管理体制

2012年度に愛知芸術文化センターがボトルネックとして指摘した「愛知県の文化財に対する危機管理体制」の問題が、県全体の防災計画の中でどのように扱われることになるのか、愛知芸術文化センター防災会議で議論しつつ、全体の動きを注意深く見守った。また、それに関連して愛知県教育委員会との連携も模索した。

4 東日本大震災に関すること

(1) 全国美術館会議東日本大震災復興対策委員会及び救援・支援対策本部への参加

2011年度、東日本大震災復興対策委員会と対策本部（のちに「救援・支援対策本部」と改称）が全国美術館会議内に設置された。設置当初より前者の副委員長を当館館長が、及び2012年度より後者の委員を当館学芸員1名が務め、全国美術館会議による復興対策活動に参画している。

(2) 『全国美術館会議東日本大震災文化財レスキュー事業記録集』の編集

2012年度、全国美術館会議東日本大震災救援・支援対策本部のもとに東日本大震災文化財レスキュー事業記録集分科会が設置され、その幹事を当館学芸員1名が務めている。同分科会は『全国美術館会議東日本大震災文化財レスキュー事業記録集』の編集を現在まで進めてきている。この記録集は、全国美術館会議の文化財レスキュー事業をドキュメントとして残し、今後の災害対策に資することを目的としたものである。

5 その他

(1) 全国美術館会議東海ブロック本部館としての活動

2011年度から引き続き、2014年度も全国美術館会議の「大災害時における連絡網実施要領」に基づく東海ブロック内での連絡訓練を、同ブロック本部館である当館が中心になって3月11日に実施した。

(2) 愛知県博物館協会としての活動

2011年度以降、被災時に愛知県博物館協会として迅速かつ円滑に県内の被災館を救援できるネットワーク作りを進めている。2014年度は、愛知県博物館協会の実行委員に対し当館から「災害発生時における支援活動要領（暫定版）」を提示し、2014年度理事会で承認された。また、2015年度理事会における確定版承認に向け、さまざまな問題点の洗い出しを行った。

(3) 「みんなでももるミュージアム」事業への協力

2014年度、九州地方の文化財保護・博物館関係者による災害時の危機管理の在り方についての調査・検討を行う「みんなでももるミュージアム」事業に対する協力者として、視察の受け入れや事例発表を行った。なお、この事業は2014年度文化庁「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」に採択されたものである。

ギャラリー（貸館）

美術館ギャラリー利用状況（2014（平成26）年度）

1 展示室利用状況

（単位：日数）

区分 月別	日 利用 可能 数 a	利用 日数 b	利用 率 b/a	展示室別利用日数											
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	審査保管室	
				室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	第1
1	23	23	100.0	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	12	13
2	24	24	100.0	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	22	13
3	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	11	18
4	25	25	100.0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	22	22
5	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	14	14
6	21	21	100.0	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	5	13
7	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	6	12
8	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	7	25
9	25	25	100.0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	13	23
10	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	20	9
11	25	25	100.0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	4	12
12	18	18	100.0	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	15	7
計	295	295	100.0											151	181

2 展覧会種別利用状況及び入場者数

区分 月別	展覧会種別利用件数（件）									入場者数 （人）
	総合展	絵画展	彫刻展	工芸展	書道展	デザイン展	写真展	版画展	計	
26年1月	3	5	0	0	3	1	0	0	12	42,100
2月	2	0	0	0	1	1	0	0	4	61,472
3月	4	5	0	2	4	0	1	0	16	36,607
4月	4	9	1	1	5	0	0	1	21	36,935
5月	6	1	2	1	2	0	0	0	12	39,986
6月	7	4	0	0	2	0	1	0	14	32,391
7月	8	6	0	2	3	0	4	0	23	38,002
8月	7	1	0	2	3	0	2	0	15	35,154
9月	9	4	0	0	4	0	1	0	18	34,009
10月	6	4	0	1	1	0	1	1	14	30,582
11月	6	4	0	0	5	1	1	0	17	32,091
12月	4	4	0	2	3	1	0	0	14	23,517
計	66	47	3	11	36	4	11	2	180	442,846

備考 利用件数は、展覧会の初日が属する月で整理し、入場者数は、当該月で整理してある。

利用団体一覧(2014(平成26)年度)

平成26年展示室利用スケジュール(上半期)

		平成25年12月												平成26年1月												2月																							
		日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日												
		26第1週				26第2週				26第3週				26第4週				26第5週				26第6週				26第7週				26第8週																			
美術展示室	A	現代かな展																																															
	B	現代かな展																																															
	C	清華書道展																																															
	D	休																																															
	E	書典展																																															
	F	書典展																																															
	G1	BAK展																																															
	G2	181青年美術人展2014																																															
	H	清新美術展																																															
	I	道風展																																															
	J1	洋々会展																																															
	J2	アートフェスタ																																															
1西	10 勤労者美術展																																																
1東	12 日展東海展																																																
2北	8 水彩協会展																																																
2南	6 名古屋学芸大学デザイン学科 13 名古屋造形大学卒業 15 名古屋芸術大学卒業																																																
		3月												平成26年4月																																			
		日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日												
		26第9週				26第10週				26第11週				26第12週				26第13週				26第14週				26第15週				26第16週																			
美術展示室	A	15 名古屋芸術大学卒業																																															
	B	17 (176) 愛知芸大卒業																																															
	C	19 (166) 春季白土会展																																															
	D	20 (30) 新陶彫名古屋展																																															
	E	21 (119) 国際書画中部展																																															
	F	22 (6) 東海書作家協会展																																															
	G1	23 (42) 東方展																																															
	G2	24 (4) 楳人展																																															
	H	25 (25) 独立展																																															
	I	26 (16) 中部二科展																																															
	J1	27 (59) 写真公募展																																															
	J2	28 (109) 玄之会書展																																															
1西	29 (95) 牛刀書道展																																																
1東	30 (131) 主体中部作家展																																																
2北	31 (50) 中部二元展																																																
2南	32 (157) 青炎展																																																
		33 (106) 謹慎書道会中部展				34 (170) 中部行動展				35 (73) 東洋南画展				36 中日行動展				37 (91) 東海書道芸術院展				38 (98) 中部女流美術香罈会展				39 (63) 中部新制作絵画展				40 工芸美術波光会																			
		41 (94) 近代水墨画院展				42 (58) 創日展				43 (5) 公募ふぢなみ展				44 (79) グループ紅水彩画展				45 (13) パステル画展				46 (184) 水彩連盟展				47 中部一水会展																							
		48 (151) 書道専門展				49 (128) ミレー友好協会展				50 (18) 中部自由美術展				51 (100) 以文会展				52 (126) 版画五人展				53 (188) 彫形会彫刻展				54 光風会																							
		55 (69) 書玄展				56 日本現代工芸美術展				57 (112) 彩日会展				58 (152) 中部一陽展				59 白影書道展				60 (38) 東海かな展				61 (134) 美術集団8月展				62 (19) 青陽展名古屋展				63 (24) 星の輪会展				64 国展名古屋展											
		65 (111) NSG彫刻展				66 日本の書展				67 (161) 旺玄会名古屋展				68 (190) グループウム展				69 (84) 中日書道展				70 (122) 水彩連盟グループ水の会				71 (57) ちくさ美術展				72 (140) モダンアート展名古屋展				73 (168) 日本水墨画公募展				74 (36) 新美術展				75 (9) アートミラ'21展				76 示現会名古屋展			
		77 中産展				78 (148) 日府展				79 (139) 高年大学城域学園写真クラブOB会展				80 中部二紀展				81				82				83																							
1西	59 白影書道展																																																
1東	64 国展名古屋展																																																
2北	58 中部一陽展																																																
2南	54 光風会																																																

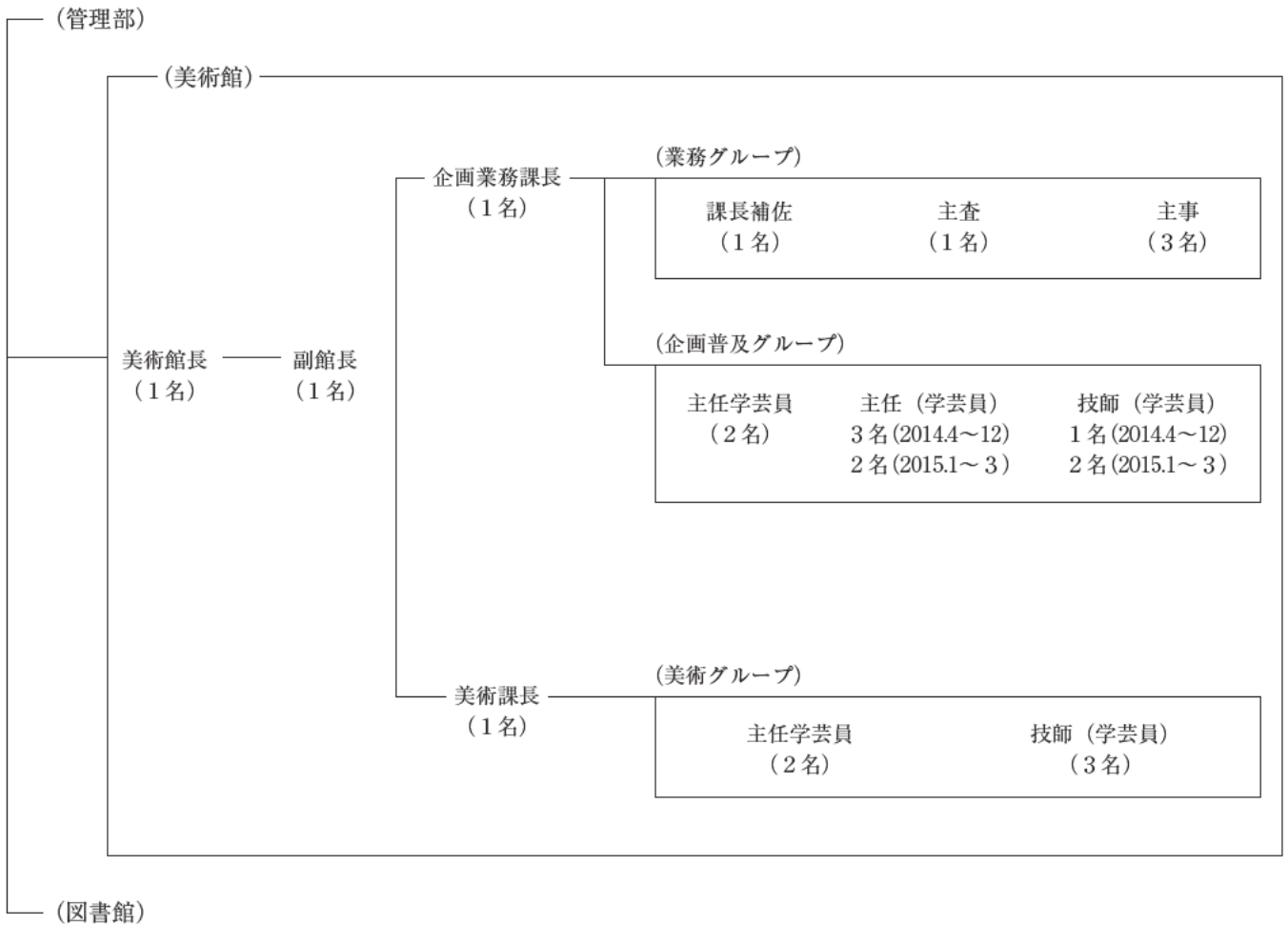
平成26年展示室利用スケジュール（下半期）

			7月															8月																																																										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31												
			土		日		月		火		水		木		金		土		日		月		火		水		木		金		土		日		月		火		水		木		金		土		日		月		火		水		木		金		土		日															
展示室			26第26週		26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																							
美術館展示室	A	80 (67) 日洋展	休	86 (55) 太平洋展	休	90 (97) 日本水彩展	休	95 (156) 第一美術展	休	99 (96) 美術文化展	休	103 (83) 現展	休	107 (107) 新象展	休	112 (187) 南風展	113 (28) 静養書展	休	116 (144) 毎日書道展	118 (165) 日本表現派展	145 (27) 中華書道展 公開	146 (99) ルナフロラ展	147 (32) 公募研究会展	148 (66) 中部新世紀展	149 (141) モダンアート 中部作家展	150 (175) 二紀展	151 (133) ポスター グランプリ	152 (162) ブラッシュアート 展	153 (81) 中部現展会員展	154 (153) 瀬戸造形集団展	155 (64) 新制作絵画展	156 (181) 青月書道会展	157 撫展展	158 (54) 清新美術会展	159 (77) 創画展日本画	160 (56) 中部太平洋展	161 (124) 最萌会展	162 (14) 二科写真部 愛知支部公募展	163 (90) 公募精華書道展	164 (72) 岳光書展	165 (23) 一線美術 名古屋巡回展	166 (78) 美術展博	167 (121) 一水会名古屋展	168 (110) 旭美展	169 (92) 道風展	170 (10) 新芸術展	171 (182) 草木染ビエンナーレ・ IN・あいち	172 (43) 現代かな展	173 (118) 洋々会展	174 (45) あかね会工芸展	175 (11) 中部寄席展年展	176 (71) 愛工デザイン卒展	177 (189) 隆盛会選抜書作展	178 (159) それぞれの現在展	179 (106) 市工芸デザイン卒展	180 (60) ザ・スペースショー	181 (141) モダンアート 中部作家展	182 (153) 瀬戸造形集団展	183 (90) 公募精華書道展	184 (72) 岳光書展	185 (23) 一線美術 名古屋巡回展	186 (78) 美術展博	187 (121) 一水会名古屋展	188 (110) 旭美展	189 (92) 道風展	190 (10) 新芸術展	191 (182) 草木染ビエンナーレ・ IN・あいち	192 (43) 現代かな展	193 (118) 洋々会展	194 (45) あかね会工芸展	195 (11) 中部寄席展年展	196 (71) 愛工デザイン卒展	197 (189) 隆盛会選抜書作展	198 (159) それぞれの現在展	199 (106) 市工芸デザイン卒展	200 (60) ザ・スペースショー
	B	81 (125) JPS展名古屋展																																																																										
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週		26第36週		26第37週		26第38週		26第39週		26第40週		26第41週		26第42週		26第43週		26第44週		26第45週		26第46週		26第47週		26第48週		26第49週		26第50週		26第51週																									
26第26週			26第27週		26第28週		26第29週		26第30週		26第31週		26第32週		26第33週		26第34週		26第35週																																																									

組織および職員構成

1 組織図

2015年3月31日現在



2 愛知県美術館職員名簿

館長	村田真宏	主任 (学芸員)	中村史子
副館長	高橋秀治	主任 (学芸員)	石崎尚 (育児休業2015年1月~3月)
企画業務課長	古田浩俊	技師 (学芸員)	中西園子
課長補佐	長尾弘子	技師 (学芸員)	小野寺奈津 (2015年1月~3月)
主査	岡本貴子	美術課長	深山孝彰
主事	西原全代	主任学芸員	長屋菜津子
主事	勝美芳	主任学芸員	大島徹也
主事	山本哲也	技師 (学芸員)	副田一穂
主任学芸員	越後谷卓司	技師 (学芸員)	塩津青夏
主任学芸員	藤島美菜	技師 (学芸員)	中野悠
主任 (学芸員)	森美樹		

関係委員会名簿

愛知県美術館専門委員会委員名簿

2015年3月31日

氏 名	所 属
○ 江 本 菜穂子	名古屋造形大学教授
垣 尾 良 平	中日新聞事業局局次長兼文化事業部長
加 藤 千 博	東海市立加木屋小学校長
小 林 克 敏	愛知県美術館友の会会長
高 北 幸 矢	清須市はるひ美術館長
丹 羽 康 雄	公益財団法人愛知県文化振興事業団 愛知県芸術劇場館長
野々川 房 子	日本メナード化粧品株式会社常務取締役 (メナード美術館アート・プロデューサー)
古 川 秀 昭	美術評論家 (前岐阜県美術館長)
◎ 松 村 公 嗣	愛知県立芸術大学長
三 浦 定 俊	公益財団法人文化財虫菌害研究所理事長
横 井 政 和	名古屋市美術館長
吉 田 俊 英	豊田市美術館長 (日本近世近代美術)

◎は委員長、○は委員長代理

(50音順)

美術館専門委員会ギャラリー部会委員名簿

2015年3月31日

氏 名	職名・団体名及び役職
今 井 瑾 郎	彫刻家
上 田 信 子	(公財) 愛知県文化振興事業団常務理事兼事務局長
河 原 裕 輝	(公財) 名古屋市文化振興事業団東文化小劇場館長市民ギャラリー矢田所長
神 崎 かず子	愛知県陶磁美術館副館長
◎ 高 北 幸 矢	清須市はるひ美術館長
阪 野 吉 雄	名古屋市博物館総務課長
山 田 美佐子	稲沢市荻須記念美術館長

◎は部会長

(50音順)

愛知県美術館美術品収集委員会委員名簿

2015年3月31日

氏 名	職 名 (所 属)
蔵 屋 美 香	東京国立近代美術館美術課長 (近・現代美術)
田 中 淳	東京文化財研究所企画情報部長 (日本近・現代美術)
村 上 博 哉	国立西洋美術館副館長兼学芸課長 (西洋美術)
毛 利 伊知郎	三重県立美術館長 (日本近代美術)
◎ 吉 田 俊 英	豊田市美術館長 (日本近世・近代美術)

◎は委員長

(50音順)

愛知県美術館年報2014年度版

編集
発行

2016(平成28)年2月発行
愛知県美術館
愛知県美術館
名古屋市東区東桜1-13-2
〒461-8525
Phone : 052-971-5511
Fax : 052-971-5604

表紙デザイン・本文レイアウト
印刷

株式会社石田大成社
株式会社石田大成社

Annual Report 2014, Aichi Prefectural Museum of Art
Edited by the Aichi Prefectural Museum of Art
Published by the Aichi Prefectural Museum of Art
1-13-2 Higashisakura, Higashiku, Nagoya 461-8525 Japan
Designed and layouted by ISHIDA TAISEISHA, Inc.
Printed by ISHIDA TAISEISHA, Inc.
©2016 Aichi Prefectural Museum of Art
Printed in Japan